

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 24	中 事 業	教育指導奨励費				
事業コード	002-001-002-00237	事 業 名	小中学校児童生徒体育及び文化活動補助金交付事業					
目的及び事業内容	<p>小・中学校の文化活動及び体育活動の充実を図るとともに、各種大会へ出場する際の交通費の一部助成等により保護者負担を軽減する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付（平成23年度から文化活動と体育活動を一体化） ・平成27年度に、補助金交付要綱を改正し、地区大会の補助対象者及び補助率を見直した。 ・平成29年度に、県大会及び東北大会50%、全国大会70%だった補助率を75%に改定した。 ・平成30年度から、地区大会と県大会以上とに分かれていた体育活動の補助金を一本化した。 							
取組実績	<p>補助金の交付</p> <p>音楽コンクール県大会以上に参加した小・中学校に対し交通費等の一部及び楽器輸送費を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県大会参加回数 10回（6校） ・東北大会参加回数 1回（1校） ・補助金交付額 726,640円 <p>体育活動各種大会に参加した中学校に対し、交通費等の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区大会参加回数 71回（17校） ・県大会参加回数 49回（17校） ・東北大会参加回数 14回（10校） ・全国大会参加回数 6回（5校） ・補助金交付額 24,450,615円 							
成 果	音楽コンクールにおける県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。							
	主な指標項目		H28	H29	H30			
補助対象校（補助件数）		6校（12件）	7校（10件）	6校（11件）				
補助金交付額		1,298,906円	780,790円	726,640円				
成 果	体育活動における県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。							
	主な指標項目		H28	H29	H30 (地区大会含む)			
補助対象校（補助件数）		20校（62件）	16校（54件）	17校（140件）				
補助金交付額		3,504,480円	6,143,009円	24,450,615円				
成果に係る評価	<p>平成28年度及び29年度と、平成30年度の補助件数及び補助金交付額の実績を比較すると、平成30年度の当該実績が増大しているが、これは、地区大会の実績を平成30年度から総合計画の対象としたことによるものである。</p> <p>地区大会を含む補助金交付額は、平成28年度20,203,346円、平成29年度22,928,421円、平成30年度25,177,255円であり、増加傾向である。この増加は、主にバス借上料の増加等によるものであることから、今後も、小・中学校の文化活動及び体育活動の充実を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減するため、本事業を継続して実施することが必要である。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	25,300,000	25,177,255				25,177,255		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																	
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																	
実施計画掲載ページ		P 26	中 事 業	奨学金資金費																				
事業コード	002-001-003-00230	事 業 名	奨学金貸与事業																					
目的及び事業内容	<p>石巻市奨学金貸与条例に基づき、経済的理由により修学困難な生徒及び学生に学費を貸与し、有能な人材の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨学金の貸与・償還 																							
取組実績	<p>1 奨学金の貸与</p> <p>(1) 奨学生の新規募集を行い、奨学生選考委員会で26名の新規採用者を決定した。平成27年度より大学生、専修学校専門課程、高等専門学校第4学年以上の貸与額を35,000円から45,000円に変更した。□</p> <p>(2) 貸与区分（月額）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">高校在学</td> <td rowspan="2">15,000円</td> <td>高専在学 第3学年まで</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td>第4学年以上</td> <td>45,000円</td> </tr> <tr> <td>大学在学</td> <td>45,000円</td> <td>専修学校在学（専門課程）</td> <td>45,000円</td> </tr> </table> <p>(3) 貸与者数 91名 (4) 貸与金額 46,395,000円</p>								区 分	貸与月額	区 分	貸与月額	高校在学	15,000円	高専在学 第3学年まで	15,000円	第4学年以上	45,000円	大学在学	45,000円	専修学校在学（専門課程）	45,000円		
区 分	貸与月額	区 分	貸与月額																					
高校在学	15,000円	高専在学 第3学年まで	15,000円																					
		第4学年以上	45,000円																					
大学在学	45,000円	専修学校在学（専門課程）	45,000円																					
成 果	<p>有能にも関わらず経済的理由で修学困難な生徒及び学生に教育の機会を与えた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> <tr> <td>奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)</td> <td>77名（28名）</td> <td>80名（27名）</td> <td>91名（26名）</td> </tr> <tr> <td>貸与金額</td> <td>34,020,000円</td> <td>39,000,000円</td> <td>46,395,000円</td> </tr> <tr> <td>滞納額</td> <td>64,318,600円</td> <td>66,779,000円</td> <td>65,311,600円</td> </tr> </table>								主な指標項目	H28	H29	H30	奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)	77名（28名）	80名（27名）	91名（26名）	貸与金額	34,020,000円	39,000,000円	46,395,000円	滞納額	64,318,600円	66,779,000円	65,311,600円
主な指標項目	H28	H29	H30																					
奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)	77名（28名）	80名（27名）	91名（26名）																					
貸与金額	34,020,000円	39,000,000円	46,395,000円																					
滞納額	64,318,600円	66,779,000円	65,311,600円																					
成果に係る評価	<p>奨学金の貸与を希望する生徒及び学生に対し、公平な審査を経たうえでニーズに対応できたと考えられる。今後も市報、ホームページへの掲載、管内学校への周知などにより募集を行い、希望者に対し施策を実施していくこととする。</p> <p>償還については、滞納者の所在確認及び催促強化により、前年度より滞納額を減らすことができた。引き続き相手の状況の把握や配慮などを行いながら効果的な滞納対策に努める。</p>																							
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	50,803,000	50,095,993				46,395,000 3,700,993																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																					
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																					
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																					
実施計画掲載ページ		P23	中 事 業		いじめ・生徒指導問題対策費																							
事業コード		002-001-002-00235	事 業 名		いじめ・生徒指導問題対策事業																							
目的及び事業内容		<p>いじめや不登校、その他の生徒指導に関する問題に組織的に対応するため、関係機関等との連携を推進するほか、教員や保護者対象の研修を通して「いじめを許さない風土づくり」を進め、いじめの未然防止及び早期解決を図る。</p> <p>1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策協議会の実施 2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決にかかる研修会、講演会の実施 3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 4 「S t o p いじめ！石巻市子どもサミット」の実施</p>																										
取組実績		<p>1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策協議会 市内のいじめの諸問題、生徒指導問題について、各3回の情報交換を行ったほか、有効な連携の在り方について協議した。</p> <p>2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決にかかる研修会の実施 (1) 生徒指導上の基本である学級づくり、人間関係づくりについての講演会を市内教職員を対象に実施した。 (2) 裁判における判例からいじめ問題を考える講演会を、市内教職員を対象に大学教授を招いて開催した。</p> <p>3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 いじめ防止標語（小・中・高）、いじめ防止メッセージ（中・高）を募集し、メッセージ集を作成して各学校や関係機関に配布し、意識啓発に努めた。</p> <p>4 「S t o p いじめ！石巻市子どもサミット」は、市内全中学校の代表が参加し、いじめの防止について話し合いを行った。</p> <p>5 いじめの重大事案に対応するため、石巻市いじめ問題対策調査委員会を設置し、情報交換、重大事態が起きた際の対応検討等を行った。</p>																										
成 果		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>いじめの件数</th> <th>解消件数</th> <th>解消率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小 学 校</td> <td>188件</td> <td>143件</td> <td>76.1%</td> </tr> <tr> <td>中 学 校</td> <td>66件</td> <td>42件</td> <td>63.6%</td> </tr> <tr> <td>高 校</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>254件</td> <td>185件</td> <td>72.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記は文部科学省実施の平成30年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査による。</p>							区 分	いじめの件数	解消件数	解消率	小 学 校	188件	143件	76.1%	中 学 校	66件	42件	63.6%	高 校	0件	0件	0%	計	254件	185件	72.8%
区 分	いじめの件数	解消件数	解消率																									
小 学 校	188件	143件	76.1%																									
中 学 校	66件	42件	63.6%																									
高 校	0件	0件	0%																									
計	254件	185件	72.8%																									
成果に係る評価		<p>いじめの認知件数については各学校において、意識を高くして児童生徒の見守りをし、組織的に早期発見、早期解決に向けて取り組んだ成果であると捉えている。解消率は低下しているが、学校が、安易に解決とすることなく、丁寧な見守りと指導を継続している結果であると捉える。今後も、未然防止に向けての取組が必要であり、いじめについては積極的に認知し、学校をあげて組織的に解決、解消に努めることが大切である。ネットトラブル等、目に見えにくい問題も懸念される。児童生徒同士の人間関係づくり（石巻市子どもの未来づくり事業の取組）の推進や道德教育の充実と全力で取り組むよう各学校に働き掛ける。また、これまで以上に教員のもつアンテナを高くしながら、子どもたちの様子等を把握していく必要がある。</p>																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	3,120,000	457,140	32,000			425,140																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()											
	1 項	教育総務費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		()											
	3 目	教育指導奨励費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()											
実施計画掲載ページ		P37	中 事 業		外国青年英語指導費													
事業コード		002-003-001-00225	事 業 名		国際理解教育推進事業													
目的及び事業内容		<p>幼稚園、小・中学校及び高等学校におけるALT（外国語指導助手）を活用しての授業や交流を通して外国語教育と国際理解教育の充実を図る。</p> <p>1 市立中学校、高等学校における外国語教育の充実 2 市立小学校における外国語活動の充実 3 市立幼稚園、こども園、けやき教室における国際理解教育の推進</p>																
取組実績		<p>1 市立中学校・高等学校 市立全ての幼・小・中・高を13のブロックに分け、それぞれに1名ずつALTを配置した。一学級のALT配置率は中学校で約30%、高校で約20%となっており、中学校では概ね4時間に1回の割合で英語教員とのTTが行われた。 4名のJET-ALTと9名の民間ALT（業務委託）を配置しており、JETプログラムのALTについては、部活動等課外活動にも意欲的に取り組み、授業以外の場でも生徒と積極的に接した。 また、学校での業務のほか、広域行政事務組合「おにぎり大使派遣事業」の英語事前研修の講師を務めるなど、広く地域の国際理解や国際交流に寄与している。</p> <p>2 市立小学校 中・高学年で行われている外国語活動の時間に合わせてALTを配置した。学校では学級担任や外国語担当教員がALTを活用し、児童が楽しみながらコミュニケーション能力の素地を養えるような授業づくりを行った。一学級のALT配置率は小学校中学年で約80%、高学年で約50%となっている。</p> <p>3 市立幼稚園・けやき教室 月1回程度の配置で、英語を使った活動等を行い、国際理解教育の充実を図った。</p> <p>※JETプログラム…「語学指導等を行う外国青年招致事業」の略称 外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図り、総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の協力の下に実施。</p>																
成 果		<p>ALTを幼稚園・こども園・小学校・中学校・高等学校・けやき教室に配置し、外国語活動や外国語教育、国際理解教育を推進することができた。引き続き概ね高い水準で授業を「楽しい」と感じる生徒の割合を維持できており、外国語や国際理解に関する学習に対するモチベーションを高めることに大いに貢献している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）</td> <td>81.3%</td> <td>82.9%</td> <td>78.1%</td> <td>82.3%</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H27	H28	H29	H30	ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）	81.3%	82.9%	78.1%	82.3%
主な指標項目	H27	H28	H29	H30														
ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）	81.3%	82.9%	78.1%	82.3%														
成果に係る評価		<p>毎回の授業にALTが配置されることが望ましいが、学校の規模や学級数に違いがあるため、毎回の配置は困難である。次期学習指導要領改訂による小学校高学年の英語の教科化と中学年の外国語活動実施を見据え、適切な配置が可能となるよう、配置ブロックの分割とALTの増員による配置時数増を目指していく。</p> <p>授業では担任教員とのTT（ティームティーチング）により、子どもたちが言葉や表現、文化の違いに触れ、外国の様々な文化や習慣への関心が高まるよう働きかけていくことで、国際理解教育の充実を図っていく。</p>																
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	60,429,170	59,047,879				59,047,879												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 23		中 事 業	子どもの未来づくり事業費			
事業コード		002-001-002-00232		事 業 名	石巻・子どもの未来づくり事業			
目的及び事業内容		<p>石巻市立小・中学校長会と連携し、児童生徒の学力の定着と向上を通じ、未来を生き抜く力の育成を図る。</p> <p>1 子どもの未来づくり推進委員会の設置 「教員の指導力の向上」、「児童生徒の学習習慣の形成」、「志を高める取組を小中連携により充実」の具体的方策について検討し、事業を行う。</p> <p>2 小・中学校長会との連携による「子どもの未来づくり推進地区連絡協議会」の設置 支会校長会ごとに本事業の目的達成のための計画を立て実践する。</p> <p>3 学習指導の改善を図る研修会の開催 モデル校を定め、大学教授を招いての学習指導の改善を図る研修会を実施する。</p>						
取組実績		<p>1 子どもの未来づくり推進委員会の設置取組 (1) 学力調査結果の分析等に基づき、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成の在り方等について検討し、中学校区ごとに家庭学習の進め方について、リーフレットを作成し働きかけた。 (2) 子どもの未来づくりフォーラムを1回、子どもの未来づくり講演会・実践報告会を1回実施し、児童生徒、保護者、教員がともに話し合い、意識を高めた。 (3) 家庭学習・生活習慣リーフレットの内容及び活用状況を検証し、内容を改善していくことを確認した。 (4) 子どもの未来づくり推進地区・実践校の取組状況や成果を「事業報告書、実践事例集」にまとめ活用を図った。 (5) 志を強くもって生き抜くための具体的な実践として、小・中学校が連携して運動会（体育祭）や体験活動の交流会等を実施した。</p> <p>2 小・中学校との連携及び子どもの未来づくり推進地区の取組 (1) 学力向上のため、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成等の実践研究を実施した。 (2) 地区内での情報共有や共同実践について話し合い、講演会や研修会を実施した。 (3) 実践成果発表会において、各地区の取組について発表し、情報を共有した。</p> <p>3 教員の指導力向上、学習指導の改善を図る取組 (1) 推進モデル校を2校定め、大学教授を招いての学習指導の改善を図る研修会を14回実施した。</p>						
成 果		<p>1 各校の小中連携主任が中心となり、それぞれの地域の実態に応じた小中の連携が図られた。</p> <p>2 8地区内での合同の研修会や授業参観を実施し、小中だけではなく、小小、中中の連携も図られ、地区内での共通理解が深まり、9年間を見通した指導が効果的になった。</p> <p>3 各地区や中学校区ごとに家庭学習カードなどを活用することにより、特に小学校低学年での家庭学習の習慣の定着率が向上した。</p> <p>4 学習指導の改善を図る研修会に基づく取組みは、市内の全ての小・中学校で実践され、子どもの未来づくり実践報告会では、モデル校の取組が発表され、各学校の参考になった。</p>						
成果に係る評価		<p>年14回実施している「学習指導の改善を図る研修会」の内容が全小中学校で実践され更に推進された。小・中学校で、教員が互いに授業参観や授業検討会等を実施し、子どもたちの主体的な学びを目指す授業改善が行われた。また、家庭学習カードの活用やリーフレット「5つのトライ」を小学校入学児童に配布し、家庭学習の習慣の形成についても、小中9年間を見通して地区ごとに実践し、児童生徒対象のアンケートでも家庭学習の定着率が向上している。</p> <p>人間関係づくりを基盤にした授業の改善は、児童生徒の学ぶ力の育成に効果的であり、実践報告会において、成果があった取組みを全小中学校で共有し、充実した実践に結びつける必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	5,300,000		4,532,079				1,000,000	3,532,079

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																	
実施計画掲載ページ		P 22		中 事 業	適応指導教室運営費																			
事業コード		002-001-002-00227		事 業 名	適応指導教室運営事業																			
目的及び事業内容		<p>不登校児童生徒個々の実態等に応じた生徒指導、学習指導、適応指導を行い、自立を促しながら学校への復帰を図る。</p> <p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 2 児童生徒の実態等に応じた学習指導 3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実</p>																						
取組実績		<p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 通所児童生徒や保護者との定期的教育相談や懇談会を行ったほか、機会を捉えての相談等も行い児童生徒の悩み等に対し、随時受容的に対応した。</p> <p>2 児童生徒の実態等に応じた学習指導 (1) 通所児童生徒一人ひとりの実態や学年を踏まえ、個に応じた指導・支援を行った。 (2) 在籍校との連携を深め、学級担任との連絡を密に行ったほか、適応指導教室での定期考査受験や学校で使用しているプリントでの学習などにより、帰属感の育成を図った。</p> <p>3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実 絵手紙教室、英会話教室、書道教室、調理実習、スポーツ教室、清掃活動等の体験活動を通して仲間とともに活動する楽しさや一体感の醸成が図られた。</p>																						
成 果		<p>個に応じた学習支援により、学習することの楽しさや自己有用感を味わい、様々な体験活動を通して他者とのコミュニケーション能力を高め、適応指導教室に通所することによって、自信をもつことができた児童生徒がいた。また、懇談会の開催で、保護者や学校と密に連携を図ることにより、児童生徒の些細な変化に迅速に対応することができた。適応指導教室の親身な相談活動によって、再登校の意欲を高め、部分登校や再登校（学校復帰）を果たした生徒もいた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数</td> <td>75件</td> <td>89件</td> <td>83件</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の再登校率</td> <td>14.3%</td> <td>12.5%</td> <td>15.8%</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)</td> <td>57.1%</td> <td>75.0%</td> <td>78.9%</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H28	H29	H30	不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	75件	89件	83件	通所児童生徒の再登校率	14.3%	12.5%	15.8%	通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)	57.1%	75.0%	78.9%
主な指標項目	H28	H29	H30																					
不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	75件	89件	83件																					
通所児童生徒の再登校率	14.3%	12.5%	15.8%																					
通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)	57.1%	75.0%	78.9%																					
成果に係る評価		<p>「石巻市子どものサポートハウス」との連携が効果的で、それぞれの役割を果たしながら対応できた。これまで家から外出できなかった児童生徒が体験通所に至るなど支援の効果が表れ、その結果として、通所人数が多くなってきており、相談件数も高い数値となっている。一方で、保護者の協力を得られず体験通所につなげることが難しいケースや適応指導教室に通所することで満足してしまっているようなケースへの対応が課題である。今後も心のサポーターによる訪問支援などの連携を継続し、きめ細やかな支援の強化と共に、適応指導教室から学校復帰に結びつける効果的な運用について、個に応じた対応を図って行く。</p>																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	5,279,000		5,254,731					5,254,731																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 23		中 事 業	特別支援教育事業費			
事業コード		002-001-002-00228		事 業 名	特別支援教育支援員配置事業			
目的及び事業内容		<p>通常の学級に在籍している発達障害がある児童生徒の日常生活支援及び学習指導補助を行うため、学校に特別支援教育支援員を配置する。</p> <p>1 小・中学校への特別支援教育支援員の配置 2 当該児童生徒への日常生活支援及び学習指導補助</p>						
取組実績		<p>1 支援員の配置状況 市内小・中学校 35校に82人配置（平成26年度 31校 55人、平成27年度 28校 55人、平成28年度 30校 76人、平成29年度 31校 79人） 石巻小、住吉小、湊小、釜小、山下小、蛇田小、渡波小、稲井小、向陽小、貞山小、開北小、万石浦小、大街道小、中里小、鹿妻小、飯野川小、大谷地小、二俣小、広瀬小、須江小、北村小、前谷地小、和瀬小、鹿又小、中津山第一小、中津山第二小、桃生小、北上小、石巻中、住吉中、湊中、蛇田中、青葉中、万石浦中、桃生中</p> <p>2 通常の学級における当該児童生徒への支援 配置された支援員は、通常の学級に在籍する、知的障害、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症、選択的緘黙等の子どもたちへの学習・生活支援を行うとともに、担任教員の指導を補助している。各学校では、日常的に打合せをもったり、学級や個人への支援のあり方について研修したりするなどして、支援員の意識の強化やスキルの向上を図り、支援体制の充実につなげている。</p> <p>3 特別支援教育支援員研修会の実施 支援員を対象に、宮城県立石巻支援学校教頭を講師として招聘し、「発達障害のある児童生徒への支援」という演題で研修会を開催した。また、分科会に分かれて、児童生徒への日常支援の様子や勤務上の悩み等について情報交換を行い、支援員のスキルアップを図った。</p>						
成 果		<p>発達障害等を理由に、通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒が年々増加している。平成30年度に支援員を新たに配置したのは小学校1校、中学校4校の計5校となり、配置を希望する中学校が増えている。各学校においては対象児童生徒の学習や生活支援を充実させることにより、学級全体の学習環境を整えてきた。そして、すべての児童生徒が互いに支え合い、高め合って学べるように校内体制を工夫しながら、学習保障に努めてきた。具体的には学校の教育的ニーズに応じた支援員配置を進め、学校課題が改善されるようにしてきた。</p> <p>その結果、配慮を要する児童生徒の実態に応じた学習や生活支援をきめ細やかに進められるようになり、能力の伸長を図ることができた。さらに対人トラブルが多くなりがちな児童生徒が落ち着いて生活できることで、学級全体が落ち着いてきている。また、事故が起きがちな休憩時間には、特別支援教育支援員が見守りを行うことで、教員が学習指導の準備にあたることができている。</p> <p>こうした効果により、校長及び保護者から特別支援教育支援員配置を望む声が多く寄せられている。</p>						
成果に係る評価		<p>障害の診断はないものの、学級集団の中で生活することに困難さをもつ児童生徒が増えている。それぞれに困難さの要因が異なることから、学級担任の一斉指導では個別の困難さに対応することは難しく、落ち着いて学習できる環境を維持することも難しい。また児童生徒のトラブルは担任が教室から離れた時に起きやすいことから、常に目が離せないケースも多い。</p> <p>このような状況の中、特別支援教育支援員が配置されることにより、学習場面でも休み時間でも見守りを手厚くすることができ、教員は授業準備や指導に専念することができ、児童生徒も安心して学習することができている。</p> <p>発達障害の特性が強く社会性に困難さのある児童生徒が増えており、保護者や学校からの支援員配置の要望が強くなっている。平成30年度の支援員配置希望に対する配置率は45.3%であるが、支援員の資質向上と校内体制の工夫によって、学校では大きな事故や怪我がなく年度を締めくくることができた。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	88,613,830		86,325,921					86,325,921

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																			
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																			
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																			
実施計画掲載ページ		P 24		中 事 業	定住外国人就学支援事業費																					
事業コード		002-001-002-00238		事 業 名	定住外国人就学支援事業																					
目的及び事業内容		<p>石巻市に転入し、就学を希望する外国籍の児童生徒を市立小中学校において円滑に受け入れるため、外国語を話すことができる就学支援員を必要とする学校に配置し、当該児童生徒の通訳及び言語習得や学校生活等のサポートを行う。</p>																								
取組実績		<p>支援を要する外国籍の児童生徒に対し、意志疎通が図れる外国人支援員（パート職員）を配置し、学校での通訳や簡単な日本語指導により、当該児童生徒の学習及び日常生活の支援を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>主な指標項目</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）</td> <td>4人（4校）</td> <td>6人（5校）</td> <td>7人（6校）</td> <td>7人（6校）</td> <td>7人（5校）</td> </tr> <tr> <td>配置した支援員数</td> <td>4人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>5人</td> <td>4人</td> </tr> </table> <p>支援を必要とする児童生徒の母語は、中国語、ベンガル語、モンゴル語である。 ベンガル語、モンゴル語に対応できる人材が見つからないため、ベンガル語には英語による支援を行い、モンゴル語へは校内の教職員の指導体制の工夫により対応した。</p>							主な指標項目	H26	H27	H28	H29	H30	支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	4人（4校）	6人（5校）	7人（6校）	7人（6校）	7人（5校）	配置した支援員数	4人	6人	6人	5人	4人
主な指標項目	H26	H27	H28	H29	H30																					
支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	4人（4校）	6人（5校）	7人（6校）	7人（6校）	7人（5校）																					
配置した支援員数	4人	6人	6人	5人	4人																					
成 果		<p>平成30年度は、市立幼稚園1人、小学校2人、中学校1人の計4人の児童生徒に対し、支援員4人を配置して学校生活におけるコミュニケーションの手伝いや簡単な日本語指導を行い、当該児童生徒及びその家族の不安を取り除くことができた。併せて、当該学校や担当教員への支援の役割も担った。</p>																								
成果に係る評価		<p>地域の外国人支援団体の協力もあり、英語や中国語に対応できる人材を確保することができたが、ベンガル語、モンゴル語を母語とする児童生徒への支援員の確保ができていないのが現状である。今後は宮城県国際化協会等の関係機関と連携を図り、また、ハローワークに求人を出すなどして人材確保に努める必要がある。</p>																								
（単位：円）																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																					
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	2,776,000		2,591,910					2,591,910																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()													
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()													
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と、確かな学力をはぐくむ		()													
実施計画掲載ページ		P24	中 事 業	学校図書館担当配置事業費																
事業コード		002-001-002-01076	事 業 名	学校図書館担当職員配置事業																
目的及び事業内容		<p>各校の図書館担当教諭と協働し、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資する。</p> <p>1 学校図書館担当職員（学校司書）の配置 2 学校図書館担当職員（学校司書）研修等の実施</p>																		
取組実績		<p>平成28年度から、学校司書の配置をモデル校において開始した。平成30年度は担当職員（学校司書）、配置校数を拡大し配置を行った。</p> <p>1 学校図書館担当職員（学校司書）の配置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>学 校 数</td> <td>6 (小4・中2)</td> <td>12 (小8・中4)</td> <td>24 (小15・中9)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 学校図書館担当職員（学校司書）研修等の実施 石巻市図書館司書を講師とした研修会や県図書館等講習会への参加により、技能向上に努めた。 内容：初任者研修2回（6日間）、全体研修（実技、情報共有等）1回（1日） 県等外部の講習会、研究会への参加4回（各1日）</p>							年 度	H28	H29	H30	人 数	3	6	12	学 校 数	6 (小4・中2)	12 (小8・中4)	24 (小15・中9)
年 度	H28	H29	H30																	
人 数	3	6	12																	
学 校 数	6 (小4・中2)	12 (小8・中4)	24 (小15・中9)																	
成 果		<p>学校図書館に対し求められる3つの役割「①読書活動の拠点となること（読書センター）」「②授業に役立つ資料を備え学習支援を行うこと（学習センター）」「③情報活用能力をはぐくむこと（情報センター）」が十分に果たせるよう、学校図書館の整理や絵本の読み聞かせ、調べ学習のコーディネーター役などをこなし、学校図書館の利活用の向上に繋がった。</p> <p>■図書貸出実績①（H28から配置開始6校の年間推移） H28 19,328 冊 H29 34,731 冊 H30 41,973 冊</p> <p>■図書貸出実績②（H29から配置開始6校の年間推移） H29 9,896 冊 H30 12,385 冊</p>																		
成果に係る評価		<p>未整理だった図書の分類整理をはじめ、図書カードの整備、定期的な壁面掲示物の更新や推奨本コーナーの設置等により図書館機能が向上し、児童生徒の利用、貸し出し数が増加した。 また、平成30年度から県等外部の講習会への参加についても取り組み、学校司書の資質向上につながった。 今後も学校司書の能力の向上を図るとともに配置校の拡大に努める。</p>																		
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	13,418,000		12,662,466					12,662,466												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	3 目	教育指導奨励費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P37	中 事 業	サイエンスラボ事業費				
事業コード		002-003-001-01138	事 業 名	サイエンスラボ事業				
目的及び事業内容		<p>児童生徒が科学への興味・関心を持ち、自ら自然を調べようとする態度や能力の育成を目指すとともに、教員の理科指導力の向上、石巻市の理科教育の充実を図る。</p> <p>1 科学巡回教室の実施 2 教材・教具の開発及び教員への提供 3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 4 「親と子の科学教室」の実施 5 企業や研究機関との連携</p>						
取組実績		<p>1 科学巡回教室の実施 「原子・分子の学習」、「宇宙の学習」、「科学実験」、「ものづくり」等を行い、市内25小学校、2中学校、2幼稚園、1こども園で実施した。</p> <p>2 教材・教具の開発及び教員への提供 原子・分子の模型の作製や太陽系の惑星の大きさを示す模型の作製を行い科学巡回教室で活用した。</p> <p>3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 「科学巡回教室」で学校を訪問した際に、担当教師と情報交換等を行った。また、「天体学習に関する研修会」を実施し、月の満ち欠け模型の作製を行った。</p> <p>4 「親と子の科学教室」の実施 生涯学習課「まちなか実験室」と連携し、4小学校において「原子・分子の学習」「宇宙の学習」を実施した。</p> <p>5 企業や研究機関との連携 (1) パナソニック㈱ 次世代育成プログラムとして、5小学校でLED工作教室を実施した。</p>						
成 果		<p>1 市内小学校に加え、中学校、幼稚園、こども園についても幅広く科学巡回教室を開催した。小・中学生に限らず、幼児向けのプログラムを作成し、楽しく分かりやすく伝えることができた。</p> <p>2 原子・分子の模型は、子どもたちにその世界をイメージさせるのに有効であった。</p> <p>3 太陽系の惑星の大きさを実物に例えた模型は、地球との距離をイメージさせるのに役立った。</p> <p>4 教員にとって指導が難しい「天体学習」について、教員向けに研修会を実施したことで、身近なものを工夫して模型を作製することやミニプラネタリウムの紹介をすることで、授業に生かすことができた。</p> <p>5 科学巡回教室の発展型として、10種類の分子の模型作りを行った。説明書付きのケースに入れて持ち帰れるという特典もあり、製作活動を通して空気中の分子に対する理解を深めることができた。</p> <p>6 LED工作教室では、毎年希望する学校が定着しており、オリジナルランづくりを通して、ものづくりの楽しさを実感するとともに、環境への意識を高めることができた。</p>						
成果に係る評価		<p>○本事業3年目となり、その趣旨や内容が各学校や関係機関に浸透し、各方面での活用が図られた。科学巡回教室では、小学校に加え、中学校や幼稚園・こども園で実施した。今後も内容やプログラムを検討・充実させていく必要がある。</p> <p>○2人のサイエンススーパーバイザーの体制で見通しを持って業務に従事できるようになった。教材教具の開発や教員への相談活動、研修会の実施については、引き続き事業内容の充実に向けていく。</p> <p>○企業や関係機関、他課との連携により、事業に広がりや深まりを持たせることができた。今後も継続して連携し、子どもたちに科学や自然の魅力を伝えるとともに、理科教育の充実を目指す取組を展開していく。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	5,573,000		4,998,242					4,998,242

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第 節		()	
	7 目	東日本大震災関係費		()		()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	学び支援コーディネーター等配置事業費			
事業コード			事 業 名	学び支援コーディネーター等配置事業			
目的及び事業内容		東日本大震災により、地域コミュニティの崩壊や仮設住宅居住など環境が変化し、教育環境、特に家庭学習の習慣形成が困難な状態になったため、学び支援コーディネーター等の配置を行い、児童生徒に基礎基本を確実に定着させ、学力の全体的な底上げを図るもの。					
取組実績		<p>1 「夏休み学び教室」の開催 【会場：宮城県石巻工業高等学校】</p> <p>(1) 開催日時 平成30年8月7日～9日、17日、20日 小学生：9:30～12:00 中学生：13:00～15:30</p> <p>(2) 参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生～中学3年生</p> <p>(3) 内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・児童生徒、保護者の希望者に学習相談を行った。</p> <p>2 「放課後学び教室」の開催 【会場：市内各小中学校の教室等（小学校18校、中学校12校）】</p> <p>(1) 開催日時 平成30年5月下旬～平成31年2月末 15:00～17:00 ※学校の実情に応じて計画を立てて学習支援を実施した。</p> <p>(2) 参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生～中学3年生</p> <p>(3) 内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。</p>					
成 果		<p>1 家庭学習が思うようにできないという児童生徒や保護者の思いに応えることができた。 ＜夏休み学び教室＞ 実施回数： 8回（小学生 4回、中学生 4回） ※台風の影響で8月9日は中止 参加者数： 250名（小学生 193名、中学生 57名 延べ人数） 学び相談員・支援員：120名 高校生ボランティア：5名（延べ人数） ＜放課後学び教室＞ 実施回数：1,245回（小学生 931回、中学生 314回） 参加者数：24,693名（小学生 20,851名、中学生 3,842名 延べ人数） 学び相談員・支援員：2,671名（延べ人数）</p> <p>2 夏休み学び教室は、参加した多くの児童生徒とその保護者に好評であり、「分かりやすく教えてもらってよかった」「苦手な所ができるようになり、嬉しかった」「来年も参加したい」という声が多く寄せられた。また、大学生の学び支援員や地元高校生のボランティアが参加したことで、児童生徒は気軽に質問などをしながら、意欲的に学習している姿が見られた。</p> <p>3 家庭では十分に学習できなかった児童生徒も、放課後学び教室に参加することで学習習慣が身に付き、学習への自信と意欲をもつようになってきている。アンケートでは参加した児童生徒のうち、8割以上が「勉強する習慣が身に付いた」「苦手な勉強も進んで勉強するようになった」と肯定的な回答をしている。</p> <p>4 学び相談員や支援員が児童生徒一人一人を理解し、温かく学習を見守り、困っている時には適切に対応したことで、児童生徒の自己肯定感を高めた。</p> <p>5 放課後学び教室は、小学校18校、中学校12校で開設した。昨年度との比較では、小学校が1校減、中学校が同数である。保護者アンケートや学校からの報告では、引き続き次年度以降も開催を希望する声が多数寄せられている。</p>					
成果に係る評価		<p>児童生徒アンケートや保護者アンケート、学校からの報告等からは、本事業が適切かつ効果的に実施され、成果を上げていることが読み取れた。今後も、本事業の趣旨を踏まえて実施することで、学校や児童生徒、保護者の要望や期待に応えることができるものとする。</p> <p>夏休み学び教室は、送迎等の課題があり参加を見送るケースもあるため、それを補う形で地区や学校において「夏休み学習会」を開催している。平成30年度は1地区6小学校5中学校で開催された。平成29年度と比較すると小学校で1校減、中学校で1校増となっており、中学校を中心に開催校が増加している傾向にある。</p> <p>課題となっていたへき地校への相談員の配置については、希望があった学校すべてに配置することができた。また、児童生徒の参加者が多い学校については、複数名の相談員を配置するようにし、約10名の児童生徒に対して1名の相談員という割合を基本にした。今後も中学校における相談員の確保や適切な配置は大きな課題となるが、市報による広報、相談員同士のネットワーク、学び支援コーディネーターによるアプローチ、各校による相談員の確保等、様々な手段を講じていく。</p>					
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳			
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
		9,486,000	7,369,049	7,369,000			49

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																										
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	未来の人を育てる																										
	7 目	東日本大震災関係費		()		(3)	子どものケアの実施																										
実施計画掲載ページ			P209	中 事 業	スクールカウンセラー配置事業費																												
事業コード		004-103-002-00525	事 業 名	スクールカウンセラー配置事業〔復興基金〕																													
目的及び事業内容		<p>カウンセラーの相談活動により、児童生徒・保護者・教職員の心理面における安定を図るとともに、児童生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 スクールカウンセラーの配置</p> <p>2 生徒・保護者・教職員・学区内小学生等の要望に応じたカウンセリングの実施</p> <p>3 カウンセラーを活用してのカウンセリング研修等の実施</p>																															
取組実績		<p>1 スクールカウンセラーの配置（任用は宮城県） 県外S Cや新規を含め、全小中学校に配置した。</p> <p>2 カウンセラーの配置状況 (1) 1人あたり 中学校各校年間20～40回、小学校各校年間12～40回 (2) 1回あたりの時間 6～8時間</p> <p>3 カウンセラーの活動内容 面談 カウンセリング研修等の実施 カウンセリングルームの環境整備 各学級巡回 各種ケース会議 おたよりの作成 等</p>																															
成 果		<p>スクールカウンセラーを配置することにより、児童生徒、保護者、教職員が相談できる体制が整備されつつある。それが相談につながっており、震災後の心のケアも含め、学校や家族の問題等の解決の一助としての役割を担っている。</p> <table border="1"> <tr> <td>主な指標項目</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>5,700件</td> <td>6,492件</td> <td>5,740件</td> <td>6,304件</td> <td>6,192件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>6,817人</td> <td>7,657人</td> <td>6,399人</td> <td>7,027人</td> <td>6,706人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">H30相談人数割合</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>58.0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>22.5%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>19.5%</td> </tr> </table>						主な指標項目	H26	H27	H28	H29	H30	相談件数	5,700件	6,492件	5,740件	6,304件	6,192件	相談人数	6,817人	7,657人	6,399人	7,027人	6,706人	H30相談人数割合		児童生徒	58.0%	教職員	22.5%	保護者	19.5%
主な指標項目	H26	H27	H28	H29	H30																												
相談件数	5,700件	6,492件	5,740件	6,304件	6,192件																												
相談人数	6,817人	7,657人	6,399人	7,027人	6,706人																												
H30相談人数割合																																	
児童生徒	58.0%																																
教職員	22.5%																																
保護者	19.5%																																
成果に係る評価		<p>平成29年度から全小中学校にスクールカウンセラーを配置している。相談活動のみならず、配置校内での情報交換やケース会議、教職員向けの研修会、相談しやすい環境づくり等も実施し、積極的な生徒指導に生かすことができた。諸問題の未然防止と早期対応、震災後の心のケアの面からも、スクールカウンセラーによる相談体制の充実と連携を図っていくことが引き続き重要である。ほとんどの学校から配置継続の要望が出ていることも受け、県に有資格者による継続配置を求めていく。</p>																															
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
		500,000	264,204			264,204																											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																														
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	未来の人を育てる																														
	7 目	東日本大震災関係費		()		(3)	子どものケアの実施																														
実施計画掲載ページ	P209		中 事 業	スクールソーシャルワーカー配置事業費																																	
事業コード	004-103-002-00525		事 業 名	スクールソーシャルワーカー配置事業																																	
目的及び事業内容	<p>小中学校及び高等学校における相談体制や関係機関との連携体制の充実を図り、不登校対応を中心に、暴力行為、児童虐待などの問題行動の早期対応や早期解決を図る。</p> <p>1 問題を抱える児童生徒が置かれた環境（家庭や学校等）に対して面談などの働きかけを行う</p> <p>2 児童相談所などの関係諸機関とのネットワークを構築し、連携や調整に努める</p> <p>3 市内小中学校及び高等学校において、校内で支援体制やチーム体制を整備することを支援する</p> <p>4 市内小中学校及び高等学校の教職員・保護者への相談や研修会等での啓発活動・情報提供に努める</p>																																				
取組実績	<p>1 スクールソーシャルワーカーについて（平成30年度6名配置）</p> <p>児童生徒や家庭の状況を踏まえ、ケースごとに児童相談所や市の相談機関などの関係機関と連携して対応している。また、震災後の児童生徒の心のケアについても、学校に配置されているスクールカウンセラーと連携することはもとより、児童精神科医とも連携しており、専門的な見地から適切な対応がなされるよう働きかけている。</p> <p>2 6名の配置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>拠点校</th> <th>勤務時間、日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>石巻小、二俣小、石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週3日</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>向陽小、青葉中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>渡波中、石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週1日</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>万石浦中、桃生中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>桜坂高校</td> <td>1日 6時間、週1日</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 勤務総日数延べ524日</p> <p>4 連携した機関：保健・医療の関係機関（162件）、児童家庭福祉の関係機関（112件）、教育支援センター等の学校外の教育機関（21件）等、合計377件</p>								拠点校	勤務時間、日数	1	石巻小、二俣小、石巻市教育委員会	1日 6時間、週3日	2	向陽小、青葉中	1日 6時間、週2日	3	渡波中、石巻市教育委員会	1日 6時間、週2日	4	石巻市教育委員会	1日 6時間、週1日	5	万石浦中、桃生中	1日 6時間、週2日	6	桜坂高校	1日 6時間、週1日									
		拠点校	勤務時間、日数																																		
1	石巻小、二俣小、石巻市教育委員会	1日 6時間、週3日																																			
2	向陽小、青葉中	1日 6時間、週2日																																			
3	渡波中、石巻市教育委員会	1日 6時間、週2日																																			
4	石巻市教育委員会	1日 6時間、週1日																																			
5	万石浦中、桃生中	1日 6時間、週2日																																			
6	桜坂高校	1日 6時間、週1日																																			
成 果	<p>1 スクールソーシャルワーカーの業務内容が学校及び関係機関に理解され、連携がスムーズになった。</p> <p>2 学校、適応指導教室、福祉部関係課、国府台病院児童精神科医師、関係団体等と連携を図ることにより、問題を抱える児童生徒等に対し、家庭訪問や巡回相談、支援関係者会議等で速やかにケース対応することができた。</p> <p>3 全ての学校にSSWを割り振り、継続的、定期的に巡回することで、教職員・家庭への認知度や信頼関係が高まり、ケースの掘り起こしを含め、丁寧に対応することができた。</p> <p>○相談後の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>問題が解決</th> <th>支援中で好転</th> <th>支援中</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30年度相談件数（計369件）</td> <td>52件</td> <td>119件</td> <td>187件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>14%</td> <td>32%</td> <td>51%</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○平成30年度活動の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">訪問回数</th> <th colspan="2">ケース会議</th> </tr> <tr> <th>学校</th> <th>家庭</th> <th>関係機関等</th> <th>教職員等</th> <th>関係機関等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>497回</td> <td>346回</td> <td>140回</td> <td>31回（27件）</td> <td>64回（43件）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対応学校数・・・要請のあった51校（小学校31校、中学校19校、高等学校1校）</p>								問題が解決	支援中で好転	支援中	その他	H30年度相談件数（計369件）	52件	119件	187件	11件	割合	14%	32%	51%	3%	訪問回数			ケース会議		学校	家庭	関係機関等	教職員等	関係機関等	497回	346回	140回	31回（27件）	64回（43件）
	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他																																	
H30年度相談件数（計369件）	52件	119件	187件	11件																																	
割合	14%	32%	51%	3%																																	
訪問回数			ケース会議																																		
学校	家庭	関係機関等	教職員等	関係機関等																																	
497回	346回	140回	31回（27件）	64回（43件）																																	
成果に係る評価	<p>相談件数のうち最も多いのは家庭環境（児童虐待を含む）であり、そのうち解決・好転は38%、次に多いのが不登校で、解決・好転は52%であった。関係機関との連携件数は377件のにのぼり、関係機関との連携が図られ、児童生徒及び家庭への適切な支援につながっていると考えられる。不登校対応を中心に、暴力行為、児童虐待などの問題の未然防止や早期解決のためにも今後も事業を継続する必要がある。</p>																																				
予算の執行状況	（単位：円）																																				
予算額	12,881,000	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																															
		12,400,055	12,400,055																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																												
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	未来の人を育てる																												
	7 目	東日本大震災関係費		()		(3)	子どものケアの実施																												
実施計画掲載ページ	P209		中 事 業	ハイスクールカウンセラー配置事業費																															
事業コード	004-103-002-00525		事 業 名	ハイスクールカウンセラー配置事業〔復興基金〕																															
目的及び事業内容	<p>カウンセラーによる相談活動を通して、生徒・保護者・教職員の精神的安定を図るとともに、問題行動等の未然防止や解決による生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 ハイスクールカウンセラーの配置</p> <p>2 生徒・保護者・教職員へのカウンセリングの実施</p> <p>3 学校におけるカウンセリング講座等の支援活動</p>																																		
取組実績	<p>1 ハイスクールカウンセラーの配置</p> <p>市立桜坂高等学校に1名配置</p> <p>2 生徒・保護者・教職員の要望に応じたカウンセリングの実施</p> <p>1日6時間、年間60日の勤務を原則とし、週2日（火・木）の勤務体制でカウンセリングを実施した。</p> <p>3 カウンセリング講座等の支援活動</p> <p>(1) 生徒を対象としたカウンセリング講話を各学年で実施</p> <p>(2) 教職員を対象とした事例検討会、カウンセリングマインドの技術の習得をねらいとした研修会の実施</p> <p>(3) 教育相談情報交換会・ケース会議（3回）の実施</p>																																		
成 果	<p>学校でも家庭でも相談をする相手がなく、一人で悩みを解決できずにいる生徒たちがカウンセリングを受けられることにより、カウンセラーとの関わりの中で、問題を解決する糸口や対処法を見つけ、学校生活を送れるようになっていくケースが多くあった。また、保護者の利用も多く、子どもへの接し方や、保護者自身の不安（経済的・時間的・精神的なゆとりが無い）などについて、カウンセラーと相談していく中でよい方向へ向かうケースもあった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>222件</td> <td>226件</td> <td>233件</td> <td>268件</td> <td>302件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>272人</td> <td>333人</td> <td>324人</td> <td>333人</td> <td>420人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30相談人数内訳</th> <th>生徒</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜坂高校</td> <td>156人</td> <td>259人</td> <td>5人</td> <td>420人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※生徒の相談内容は、多い順に「学校生活：45件」「友人・人間関係：41件」「家庭関係：39件」である。</p> <p>※教職員の相談件数141件の全てが「情報交換」である。</p> <p>※「震災関係」の相談はなかった。</p>							主な指標項目	H26	H27	H28	H29	H30	相談件数	222件	226件	233件	268件	302件	相談人数	272人	333人	324人	333人	420人	H30相談人数内訳	生徒	教職員	保護者	計	桜坂高校	156人	259人	5人	420人
主な指標項目	H26	H27	H28	H29	H30																														
相談件数	222件	226件	233件	268件	302件																														
相談人数	272人	333人	324人	333人	420人																														
H30相談人数内訳	生徒	教職員	保護者	計																															
桜坂高校	156人	259人	5人	420人																															
成果に係る評価	<p>平成30年度の相談内容についての生徒の傾向は、平成29年度と同様に「学校生活」、「友人・人間関係」、「家庭関係」が多かった。また、平成30年度は、平成29年度と比較して相談人数、相談件数ともに増えている。特に、生徒の相談人数は昨年と比較して40人増えている。カウンセラーと相談を行ったほとんどの生徒が、相談後は担任のサポートを受けながら、学校生活を続けていくことができおり、ハイスクールカウンセラー配置事業の効果は大きく、今後も継続が必要である。</p>																																		
予算の執行状況	（単位：円）																																		
予算額	1,881,000	決算額	決算額の財源内訳																																
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																													
		1,880,400				1,880,400																													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																											
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																											
	7 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援																											
実施計画掲載ページ		P174	中 事 業	震災奨学金給付事業費																														
事業コード		002-101-001-00355	事 業 名	震災奨学金給付事業																														
目的及び事業内容		東日本大震災により親が死亡又は行方不明となり、父母のない児童生徒に対して震災奨学金を給付することにより、安定した修学の機会を提供し、もって有能な人材を育成する。																																
取組実績		<p>1 対象者への給付 4月と9月に月額金、2月に中学校3年生と高校3年生に一時金を給付した。</p> <p>(1) 対象者 震災当時石巻市内に住所を有していた親が、震災により死亡又は行方不明となり、両親がいなくなった小・中・高校生。</p> <p>(2) 給付額 ア 月額（年額） 小学校等に在学する者 10,000円（120,000円） 中学校等に在学する者 20,000円（240,000円） 高等学校等に在学する者 30,000円（360,000円） イ 一時金 中学校3年生 300,000円 高校3年生 500,000円</p> <p>(3) 給付の期間 対象者が高等学校等を卒業するまで給付する。ただし、学校教育法に規定する修業年限内とする。</p>																																
成 果		<p>平成30年度は小学生3名、中学生6名、高校生10名の計19名の震災孤児に奨学金を給付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>3</td> <td>360,000 円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>6</td> <td>1,440,000 円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>10</td> <td>3,600,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19</td> <td>5,400,000 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>一時金として、中学生3名、高校生2名の震災孤児に給付をした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>3</td> <td>900,000 円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>2</td> <td>1,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5</td> <td>1,900,000 円</td> </tr> </tbody> </table>						区分	人数	給付額	小学生	3	360,000 円	中学生	6	1,440,000 円	高校生	10	3,600,000 円	合計	19	5,400,000 円	区分	人数	給付額	中学生	3	900,000 円	高校生	2	1,000,000 円	合計	5	1,900,000 円
区分	人数	給付額																																
小学生	3	360,000 円																																
中学生	6	1,440,000 円																																
高校生	10	3,600,000 円																																
合計	19	5,400,000 円																																
区分	人数	給付額																																
中学生	3	900,000 円																																
高校生	2	1,000,000 円																																
合計	5	1,900,000 円																																
成果に係る評価		<p>震災奨学金の給付により、対象となる全ての児童生徒に対し、修学の支援を行なうことができた。一時金は中学及び高校卒業時に給付しており、希望する進路選択の実現の支援を行なうことができた。</p> <p>震災奨学金の給付により、安定した修学の機会を継続して提供することができており、今後も給付事業を行っていくことが必要である。</p>																																
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	7,300,000	7,300,000			7,300,000																													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	未来の人を育てる
	7 目	東日本大震災関係費		()		(3)	子どものケアの実施
実施計画掲載ページ		P209	中 事 業	震災心のサポート事業費			
事業コード		004-103-002-00526	事 業 名	心のケア充実事業（震災心のサポート事業）〔復興基金〕			
目的及び事業内容		<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務 震災により、心に深い傷を受けた園児、児童生徒等に対し、医療専門家による巡回相談や健康実態調査を行い、よりきめ細やかな心のケアを実施する。</p> <p>2 震災心の支援室業務 震災により、死亡又は行方不明となった児童生徒の御遺族に対して、相談員、臨床心理士による個別相談等の支援活動を実施する。</p>					
取組実績		<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務 (1) 医療専門家による巡回相談の実施・・・震災直後から支援に入っている国立国際医療研究センター国府台病院（千葉県）の児童精神科の医師が定期的に来石し、要請に基づいて、問題を抱えた児童生徒やその保護者、教員に対する相談活動を行った。</p> <p>(2) 園児、児童生徒に対する健康実態調査の実施・・・市立幼稚園、小・中学校及び高等学校の全園児、児童生徒に対して震災直後から「健康実態調査」を行い、震災後の園児、児童生徒の心身の健康状態やトラウマに関するデータを集約した。結果については、すべての園・学校に個別に児童精神科医が説明をしながらフィードバックを行い、校内での支援・指導に役立てた。</p> <p>(3) 園児、児童生徒等の心のケアに携わる者が一体となった心の支援体制の確立・・・関係機関が集まり、児童精神科の医師がスーパーバイザーとなって問題を抱える子どもたちに対するケース会議を年7回7ケースについて行った。</p> <p>2 震災心の支援室業務 (1) 相談員・臨床心理士による個別訪問や電話、来室による相談 (2) 交流会の開催（2回） (3) 支援室だよりの発行 (4) 支援室会議、ケース会議を月1回開催</p>					
成 果		<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務 (1) 【巡回相談】5月、7月、9月、11月に1名の児童精神科の医師が石巻市に2日間滞り、要請のあった学校及び家庭等を訪問し、相談活動を行った。専門的な立場からアドバイスを受け、支援や指導に役立っていると同時に、適切な関係機関につながったケースもある。 平成30年度は、8日間にわたって、延べ44件の相談に対応した。</p> <p>(2) 【健康実態調査】児童精神科医が、平成23年度から継続して健康実態調査を行い、データに基づいた支援や指導のアドバイスをを行った。震災のトラウマについては、平成25年度以降で大きな変化が見られないことから全体としては落ち着いている状態である。フィードバックの際は、学校ごとに面談し、全体の傾向や配慮を要する児童生徒への対応についての助言があり、教員の指導に大いに生かされている。</p> <p>(3) 【子ども支援関係者会議】5月、7月、11月、1月、2月に計7回開催し、関係機関が出席して問題を抱える児童生徒のケース会議を行い、支援に役立っている。 (メンバー) 国府台病院児童精神科医師、精神科医師、ソーシャルワーカー、児童相談所、虐待防止センター、健康推進課等関係課、スクールソーシャルワーカー、学校教育課、当該学校職員等</p> <p>2 震災心の支援室業務 個別訪問、電話、来室による相談や交流会等を実施し、御遺族からお話をおうかがいすることができた。</p>					
成果に係る評価		<p>1 児童精神科医による巡回相談、ケース会議及び健康実態調査業務 各学校、園では、巡回相談、ケース会議及び健康実態調査の結果を児童生徒の対応に生かしている。特に、配慮を要する児童生徒の対応について、専門医の意見や助言を得ることができることから、児童生徒、保護者、教員にとってニーズの高いものであり、今後も事業の継続の方法を探っていくことが必要である。</p> <p>2 震災心の支援室業務 御遺族ごとに希望される支援も様々に変化している。今後も、引き続き相談活動や交流会等を実施し、御遺族に寄り添ったきめ細やかなサポートの継続が必要である。</p>					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,913,000	5,767,561			5,767,561		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる	
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	未来の人を育てる	
	3 7 目	教育指導奨励費 東日本大震災関係費		()		(3)	子どものケアの実施	
実施計画掲載ページ	P209		中 事 業	学校安全推進費、学校安全総合支援事業費、防災教育充実事業費				
事業コード	004-103-002-00528	事 業 名	防災教育充実事業〔復興基金〕					
目的及び事業内容	<p>地域ぐるみの防災教育の実践を通して、非常時においても地域との絆が生かされる基盤を形成し、子どもにとって安心、安全な地域環境づくりを進めるとともに、教材等の作成を通して、児童生徒が災害と向き合い、たくましく生きる災害対応力の育成を促進する。</p> <p>1 地域ぐるみの防災教育の推進 2 児童生徒の災害対応力を育成するための教材等の作成</p>							
取組実績	<p>1 学校防災推進会議の設置と協議 有識者、学校関係者、市担当部局、関係機関担当で構成する学校防災推進会議において、本市の学校防災の今後の在り方について協議を行った。また、学校防災について、より専門的に調査・研究するため、3つのワーキンググループを設置し、学校防災の推進に向けた活動を行った。 【取組内容】 「防災研修」：安全担当主幹教諭や防災主任を対象とした研修会の実施、学校防災フォーラムの開催、クロスロードゲーム石巻版児童生徒編の検討、復興・防災マップの広域化 「防災管理」：学校防災マニュアルの点検及び改善指導、大川小学校事故検証報告書の提言に関する取組状況調査の実施、地域防災連絡会設置の促進と充実 「防災教育」：防災合言葉の募集、防災教育副読本の改訂に向けた準備・検討</p> <p>2 緊急地震速報受信機を活用した避難訓練 児童生徒が災害から命を守り抜くための「主体的に行動する態度」を育成するため、緊急地震速報受信機を導入し、緊急地震速報を活用した避難訓練を実施した。</p> <p>3 防災教育副読本を活用した授業実践 本市の実態に即した防災教育推進のため、市内全ての小中学校で防災教育副読本を活用した防災教育を展開した。また、令和元年度版防災教育副読本を発行した。 ＜令和元年度版防災教育副読本発行部数＞ 小学校：1年生 1,200冊、4年生 1,200冊 中学校：1年生 1,300冊</p>							
成 果	<p>1 学校防災推進会議では、3つのワーキンググループごとに、具体的な事業を実践した。 「防災研修」では、学校防災上の課題を学校・地域・行政が連携して解決に向けて取り組むことの重要性を再確認することができた。また、復興・防災マップの作成を通じて、地域の災害履歴や防災に関する知識の育成を図ることができた。 「防災管理」では、学校防災マニュアルの点検及び改善の指導を行い、学校防災マニュアルの充実が図られた。また、地域防災連絡会の設置促進を図り、設置率は、平成28年度は80.3%、平成29年度は84.7%、平成30年度は93.1%と向上し、学校及び地域の防災力を強化することができた。 「防災教育」では、防災合言葉コンクールを開催し、優秀作品を市内の商業施設で展示を行い、市全体の防災意識の高揚を図ることができた。</p> <p>2 各学校では、立地条件や過去の災害状況等を踏まえた避難訓練が実施され、児童生徒らは円滑かつ迅速な避難行動をとることができている。また、緊急地震速報受信機を活用した避難訓練では、設置校31校において実践的な避難訓練が実施されており、児童生徒はより臨場感をもって訓練に取り組むことができた。</p> <p>3 防災教育副読本は全ての小中学校で活用されており、発達段階に応じた系統的な指導により、児童生徒に必要な知識や能力を身に付けさせることができた。また、防災学習の時間は、平均で小学校15.7時間、中学校16.2時間となっており、災害に対する知識や災害対応力が向上している。</p>							
成果に係る評価	<p>東日本大震災では、大規模災害時における「公助」の限界が明らかとなり、「自助」、「共助」の力を向上させる防災教育への関心が高まっている。 今後、震災を体験していない児童生徒及び教職員が増え、街の復興も進み、目に見える震災の被害が少なくなっていく中で、児童生徒らに震災の事実や教訓を語り継いでいく必要がある。 児童生徒が「自分の命を自分で守る」ことができるよう、主体的に行動する態度を育成するためには、今後も継続して防災教育副読本を活用した防災教育の推進と避難訓練の実施が不可欠である。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	3,970,000		3,471,610		648,000		1,819,210	1,004,400

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	復興計画	()																																					
	2 項	小学校費		第 1 節		個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	()																																				
	1 目	学校管理費		(3)		「生きる力」を持つ子どもたちを育成する 充実した教育を行える環境をつくる	()																																				
実施計画掲載ページ	P25		中 事 業	小学校管理費（教育総務課）																																							
事業コード	002-001-003-00217	事 業 名	遠距離通学支援事業（小学校）																																								
目的及び事業内容	<p>小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・スクールバス等の運行 ・遠距離通学費補助金の交付</p>																																										
取組実績	<p>小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施した。</p> <p>1 スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス等</td> <td>H29</td> <td>8校</td> <td>259人</td> <td>67,802,336 円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>9校</td> <td>362人</td> <td>96,479,783 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スクールボート (鮎川小学校)</td> <td>H29</td> <td>1校</td> <td>2人</td> <td>4,011,480 円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1校</td> <td>2人</td> <td>3,997,800 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スクールバス等対象校（H30） 稲井小学校、東浜小学校、飯野川小学校、二俣小学校、雄勝小学校、中津山第一小学校、桃生小学校、大原小学校、万石浦小学校</p> <p>2 遠距離通学費補助金の交付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">遠距離通学費補助金</td> <td>H29</td> <td>3校</td> <td>42人</td> <td>1,819,680 円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2校</td> <td>40人</td> <td>1,340,786 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※遠距離通学補助金対象校（H30） 大谷地小学校、二俣小学校</p>						区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	H29	8校	259人	67,802,336 円	H30	9校	362人	96,479,783 円	スクールボート (鮎川小学校)	H29	1校	2人	4,011,480 円	H30	1校	2人	3,997,800 円	区分	年度	学校数	対象人数	補助額	遠距離通学費補助金	H29	3校	42人	1,819,680 円	H30	2校	40人	1,340,786 円
区分	年度	学校数	対象人数	事業費																																							
スクールバス等	H29	8校	259人	67,802,336 円																																							
	H30	9校	362人	96,479,783 円																																							
スクールボート (鮎川小学校)	H29	1校	2人	4,011,480 円																																							
	H30	1校	2人	3,997,800 円																																							
区分	年度	学校数	対象人数	補助額																																							
遠距離通学費補助金	H29	3校	42人	1,819,680 円																																							
	H30	2校	40人	1,340,786 円																																							
成 果	<p>平成30年4月の万石浦小学校と萩浜小学校の学校統合により新たに路線を追加するなど、小学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった児童のため、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る保護者の負担額への助成を実施し、登下校中の安全・安心の確保が図られた。</p>																																										
成果に係る評価	<p>通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる児童の安全・安心の確保を図るため、地域の実情に配慮しながら、引き続き適正な通学支援を実施することが必要である。</p>																																										
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																						
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	104,023,925		101,818,369		14,906,725			86,911,644																																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																			
	2 項	小学校費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		()																			
	1 目	学校管理費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()																			
実施計画掲載ページ		P 37	中 事 業		小学校管理費（学校教育課）																					
事業コード		002-003-001-00234	事 業 名		小学校外国語活動指導補助員活用事業																					
目的及び事業内容																										
<p>小学校学習指導要領の改訂により、小学校第5学年及び第6学年に外国語活動が新設され、平成23年度から全面実施されたことにより、小学校に外国語活動指導補助員を配置し、外国語活動の充実を図るとともに、教員の指導力の向上を図る。</p>																										
取組実績																										
<p>小学校外国語活動指導補助員による外国語活動の授業実践</p> <p>補助員の1クラスあたりの配置率は、中学年で平均30%、高学年で56%となっている。補助員とALTとを併用することにより、担任を補助する人材をすべての授業に配置することができている。補助員は、担任とのチームティーチングや教材の提示、児童への個別支援等を行った。</p>																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置を希望する学校数</td> <td>28校</td> <td>26校</td> <td>27校</td> <td>26校</td> <td>28校</td> </tr> <tr> <td>配置した補助員数</td> <td>9人</td> <td>10人</td> <td>10人</td> <td>9人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>									主な指標項目	H26	H27	H28	H29	H30	配置を希望する学校数	28校	26校	27校	26校	28校	配置した補助員数	9人	10人	10人	9人	12人
主な指標項目	H26	H27	H28	H29	H30																					
配置を希望する学校数	28校	26校	27校	26校	28校																					
配置した補助員数	9人	10人	10人	9人	12人																					
成 果																										
<p>1 児童の興味・関心の向上</p> <p>(1) 外国語が堪能な補助員による英語での指示を聞いて活動することや、一緒に会話をするにより、児童の外国語への興味・関心を高めることができた。 (外国語活動の授業が楽しいと感じる児童の割合…88.4%)</p> <p>(2) 担任と補助員が英語でデモンストレーションを行うことで、会話の場面のイメージを膨らませることができ、外国語活動に意欲的に取り組ませることができた。</p> <p>2 コミュニケーション能力の向上</p> <p>補助員の支援は、英語を聞くことや話すことを中心としたコミュニケーション能力を高める手段として有効であった。</p> <p>3 担任の指導力の向上</p> <p>指導補助員が適切に補助を行うことにより、外国語活動を指導する担任等が安心して指導に当たることができると同時に、担任が指導法を学ぶことができ、指導力の向上につながった。</p>																										
成果に係る評価																										
<p>毎年、30校近くの小学校から配置要請がある。ハローワークに求人を出すなどして人材確保に努めた結果、すべての小学校に補助員を配置することができた。配置校では、補助員の英語力を生かしながら担任をサポートすることで楽しい授業を展開することができた。</p> <p>令和2年度実施の次期学習指導要領から3・4学年での外国語活動、5・6学年での外国語が新設される。ALTと補助員を併用し、英語が堪能な人材が担任の外国語指導をサポートできる環境を今後も継続することができるよう、人材確保や研修に努めたい。</p>																										
(単位：円)																										
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
		6,133,000	5,058,420				5,058,420																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																															
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																															
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																															
実施計画掲載ページ		P 21	中 事 業		小学校保健費																																	
事業コード		002-001-002-00219 002-001-002-00221	事 業 名		健康診断・検査等実施事業（小学校） 学校医・薬剤師配置事業（小学校）																																	
目的及び事業内容																																						
<p>学校保健安全法に基づき、各学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、児童の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置 ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施 																																						
取組実績																																						
<p>1 学校医の配置</p> <p>小学校33校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や就学時健康診断の健診業務を実施した。</p> <p>・委嘱した学校医の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>28 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>5 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>28 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置</p> <p>小学校33校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。</p> <p>・委嘱した学校薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>26 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全学年</td> <td>結核検診</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全学年</td> <td>心臓病検診</td> <td>1・4年生</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>2・4・6年生</td> <td>尿検査</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全学年</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施</p> <p>学校の水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。</p>									内 科 医	28 人	耳 鼻 科 医	5 人	眼 科 医	5 人	歯 科 医	28 人	薬 剤 師	26 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全学年	結核検診	全学年	眼科健診	全学年	心臓病検診	1・4年生	耳鼻科健診	2・4・6年生	尿検査	全学年	歯科健診	全学年		
内 科 医	28 人	耳 鼻 科 医	5 人																																			
眼 科 医	5 人	歯 科 医	28 人																																			
薬 剤 師	26 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全学年	結核検診	全学年																																			
眼科健診	全学年	心臓病検診	1・4年生																																			
耳鼻科健診	2・4・6年生	尿検査	全学年																																			
歯科健診	全学年																																					
成 果																																						
<p>各健康診断・検査を行い、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、児童の健全な育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <p>1 定期健康診断</p> <table border="1"> <tr> <td>小学生</td> <td>6,516人</td> <td>4年生</td> <td>1,117人</td> </tr> <tr> <td>心臓病検診</td> <td>1年生</td> <td>1,021人</td> <td></td> </tr> </table> <p>2 飲料水水質検査</p> <table border="1"> <tr> <td>小学校</td> <td>33校</td> </tr> </table>									小学生	6,516人	4年生	1,117人	心臓病検診	1年生	1,021人		小学校	33校																				
小学生	6,516人	4年生	1,117人																																			
心臓病検診	1年生	1,021人																																				
小学校	33校																																					
成果に係る評価																																						
<p>学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検を実施することは、児童に対して的確な疾病等の予防指導を行っていく上で重要である。今後も学校医、学校、保護者等相互の連携を密にし、児童の健全育成のため発達段階に応じた健康教育を推進していくことが大切であり、事業を引き続き実施する必要がある。</p>																																						
(単位：円)																																						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
		36,597,960	35,385,632	449,000			34,936,632																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()	
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力はぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業	小学校保健費				
事業コード		002-001-002-00220	事 業 名	就学時健康診断実施事業				
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、就学予定児に対して、あらかじめ健康診断を行うことにより、健康状況を把握し、必要な助言・指導を行うことを目的としている。</p> <p>・就学時健康診断の実施</p>						
取組実績		<p>1 就学時健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、視力検査、聴力検査</p> <p>2 就学時健康診断の合同開催について 平成29年度に引き続き、万石浦・荻浜・牡鹿地区については、万石浦小学校を会場に5校合同により就学時健康診断を実施した。 【万石浦小、東浜小、大原小、鮎川小、寄磯小】</p>						
成 果		<p>就学予定児の保護者に対し、必要な助言・指導を行うことにより、小学校等への円滑な就学が図られた。</p> <p>また、万石浦・荻浜・牡鹿地区による合同開催を実施したことにより、学校医の負担軽減及び経費削減が図られた。</p> <p>1 就学時健康診断 1,036人</p>						
成果に係る評価		<p>就学予定児の健康状態を把握し、保護者に対して必要な助言・指導を行い、次年度の小学校入学に備えるため、今後も継続して実施する必要がある。</p> <p>また、学校医の負担軽減及び経費削減を図るため、今後も各校の状況を考慮しながら、合同開催の実施について検討していく必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	3,814,000		3,443,440					3,443,440

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																								
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																								
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																								
実施計画掲載ページ		P27	中 事 業	小学校教育用コンピューター関係費																																											
事業コード		002-001-003-00240	事 業 名	情報教育環境整備事業（小学校）																																											
目的及び事業内容		<p>国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内小学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を図る。</p>																																													
取組実績		<p>小学校教育用コンピューター整備状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">整備年度</th> <th colspan="3">整備内容</th> </tr> <tr> <th>教育用コンピューター</th> <th>電子黒板</th> <th>タブレット（学習者用）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H25</td> <td>河北地区 1校： 9台</td> <td>河北地区 1校： 1台</td> <td>河北地区 1校： 6台</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区 2校： 10台</td> <td>雄勝地区 2校： 3台</td> <td>雄勝地区 2校： 12台</td> </tr> <tr> <td>北上地区 1校： 17台</td> <td>北上地区 1校： 1台</td> <td>北上地区 1校： 6台</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>石巻地区 8校： 185台</td> <td>石巻地区 8校： 25台</td> <td>石巻地区 8校： 52台</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>石巻地区 8校： 232台</td> <td>石巻地区 8校： 40台</td> <td>石巻地区 8校： 56台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H28</td> <td>河北地区 3校： 66台</td> <td>河北地区 3校： 9台</td> <td>河北地区 3校： 21台</td> </tr> <tr> <td>桃生地区 3校： 61台</td> <td>桃生地区 3校： 9台</td> <td>桃生地区 3校： 21台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>河南地区 6校： 127台</td> <td>河南地区 6校： 21台</td> <td>河南地区 6校： 42台</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区 3校： 32台</td> <td>牡鹿地区 3校： 6台</td> <td>牡鹿地区 3校： 13台</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成30年度は以前に更新したリース料金等の支払いのみ。 ※ 教育用コンピューター…P C 室用 P C、教材作成用 P C、普通教室/特別教室用 P C ※ 上記数量には、寄附等で整備した機器は含まない。</p>							整備年度	整備内容			教育用コンピューター	電子黒板	タブレット（学習者用）	H25	河北地区 1校： 9台	河北地区 1校： 1台	河北地区 1校： 6台	雄勝地区 2校： 10台	雄勝地区 2校： 3台	雄勝地区 2校： 12台	北上地区 1校： 17台	北上地区 1校： 1台	北上地区 1校： 6台	H26	石巻地区 8校： 185台	石巻地区 8校： 25台	石巻地区 8校： 52台	H27	石巻地区 8校： 232台	石巻地区 8校： 40台	石巻地区 8校： 56台	H28	河北地区 3校： 66台	河北地区 3校： 9台	河北地区 3校： 21台	桃生地区 3校： 61台	桃生地区 3校： 9台	桃生地区 3校： 21台	H29	河南地区 6校： 127台	河南地区 6校： 21台	河南地区 6校： 42台	牡鹿地区 3校： 32台	牡鹿地区 3校： 6台	牡鹿地区 3校： 13台
整備年度	整備内容																																														
	教育用コンピューター	電子黒板	タブレット（学習者用）																																												
H25	河北地区 1校： 9台	河北地区 1校： 1台	河北地区 1校： 6台																																												
	雄勝地区 2校： 10台	雄勝地区 2校： 3台	雄勝地区 2校： 12台																																												
	北上地区 1校： 17台	北上地区 1校： 1台	北上地区 1校： 6台																																												
H26	石巻地区 8校： 185台	石巻地区 8校： 25台	石巻地区 8校： 52台																																												
H27	石巻地区 8校： 232台	石巻地区 8校： 40台	石巻地区 8校： 56台																																												
H28	河北地区 3校： 66台	河北地区 3校： 9台	河北地区 3校： 21台																																												
	桃生地区 3校： 61台	桃生地区 3校： 9台	桃生地区 3校： 21台																																												
H29	河南地区 6校： 127台	河南地区 6校： 21台	河南地区 6校： 42台																																												
	牡鹿地区 3校： 32台	牡鹿地区 3校： 6台	牡鹿地区 3校： 13台																																												
成 果		<ul style="list-style-type: none"> 児童が I C T の活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 平成25年度より教育用コンピューターの更新に合わせ、タブレットを整備している。 石巻市内の小学校は1クラス分の学習用コンピュータ配備は完了した。 																																													
成果に係る評価		<ul style="list-style-type: none"> 情報社会に必要な知識を習得するため、これからの学習活動を支える I C T 機器等[大型提示装置（電子黒板等）、学習者用コンピュータ（タブレット）等]や無線 LAN 環境の整備を進めてきたが、文部科学省が新たに策定した「教育の I C T 化に向けた環境整備5か年計画（平成30年度～令和4年度）」に基づき、タブレットの整備台数を増やす等、より一層整備を進める必要がある。 デジタル教科書の活用や電子黒板等の整備台数を増やしたことにより、多くの教員が I C T 機器を活用する機会が増え、I C T 活用能力向上が図られた。 教育の I C T 化に向けた環境整備5か年計画の目標項目内にある「学習者用コンピュータ：3クラスに1クラス分程度の整備」の水準に達していないので、学習者用コンピュータの整備を充実させていく。 																																													
(単位：円)																																															
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																										
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																							
	92,000,000		91,542,437					91,542,437																																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																					
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																					
実施計画掲載ページ		P 26	中 事 業	小学校教育振興助費																								
事業コード	002-001-003-00222	事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（小学校）																									
目的及び事業内容	<p>経済的な事情により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者の経済的な負担を軽減し、児童の就学の機会を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成 																											
取組実績	<p>1 就学援助費 小学校：認定者数 696名 / 児童数 6,518名 (10.68%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>8,994,445 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>2,197,963 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>396,879 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>21,660 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>974,400 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>4,301,000 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>2,120,954 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>29,204,106 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>464,430 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>48,675,837 円</td></tr> </table>								学用品費	8,994,445 円	校外活動費（宿泊なし）	2,197,963 円	校外活動費（宿泊あり）	396,879 円	通学費	21,660 円	新入学学用品費	974,400 円	新入学準備金	4,301,000 円	修学旅行費	2,120,954 円	給食費	29,204,106 円	医療費	464,430 円	計	48,675,837 円
	学用品費	8,994,445 円																										
校外活動費（宿泊なし）	2,197,963 円																											
校外活動費（宿泊あり）	396,879 円																											
通学費	21,660 円																											
新入学学用品費	974,400 円																											
新入学準備金	4,301,000 円																											
修学旅行費	2,120,954 円																											
給食費	29,204,106 円																											
医療費	464,430 円																											
計	48,675,837 円																											
	<p>2 特別支援教育就学奨励費 小学校：認定者数 106名 / 児童数 6,518名 (1.63%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>357,830 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>43,426 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>24,939 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>378,013 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>182,700 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>131,723 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>1,319,611 円</td></tr> <tr><td>交流学习交通費</td><td>8,996 円</td></tr> <tr><td>通級指導教室通学費</td><td>112,000 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,559,238 円</td></tr> </table>								学用品費	357,830 円	校外活動費（宿泊なし）	43,426 円	校外活動費（宿泊あり）	24,939 円	通学費	378,013 円	新入学学用品費	182,700 円	修学旅行費	131,723 円	給食費	1,319,611 円	交流学习交通費	8,996 円	通級指導教室通学費	112,000 円	計	2,559,238 円
学用品費	357,830 円																											
校外活動費（宿泊なし）	43,426 円																											
校外活動費（宿泊あり）	24,939 円																											
通学費	378,013 円																											
新入学学用品費	182,700 円																											
修学旅行費	131,723 円																											
給食費	1,319,611 円																											
交流学习交通費	8,996 円																											
通級指導教室通学費	112,000 円																											
計	2,559,238 円																											
成 果	<p>経済的な事情により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。 なお、平成29年度から実施した新入学準備金については、85名の児童の保護者に助成を行い、就学前の経済的不安や負担軽減を図ることができた。</p>																											
成果に係る評価	<p>経済的な事情により就学が困難な児童や特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し、経済的な援助を行うことは、すべての児童の就学の機会を確保するために重要なことであり、今後も法令に則り必要な支援を継続していく必要がある。</p>																											
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	51,235,075	51,235,075	1,565,000				49,670,075																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																																		
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																																		
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																																		
実施計画掲載ページ		P 26	中 事 業	小学校図書整備事業費																																																					
事業コード	002-001-003-00239	事 業 名	学校図書整備事業（小学校）																																																						
目的及び事業内容	<p>文部科学省は更なる学校図書館の整備充実のため平成29年度から令和3年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備等5か年計画」として策定、蔵書の計画的な更新を図る。学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小中学校の学校図書を整備するもの。</p>																																																								
取組実績	<p>市内全ての小学校において、平成29年度末に学校図書館図書標準に対する充足率が100%となることを目標として整備してきたが、平成30年度は充足率達成校には更新のための予算を、未達成となった学校には不足分購入のための予算を加算配分し充足率の向上に努めた。 平成30年度においては前年度と比較して整備冊数が減ったが、読書活動や学習活動を支援する図書を購入するなど質の向上を図ることができた。</p> <p><小学校図書の整備冊数></p> <table border="1"> <tr> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>24,512冊</td> <td>25,027冊</td> <td>19,974冊</td> <td>15,692冊</td> <td>24,499冊</td> <td>22,154冊</td> </tr> </table> <p>※ 寄贈含む。</p> <p>◎学校図書館図書標準に対する充足率について 平成5年に文科省で定めた公立の義務教育諸学校において学校図書館の図書整備を図る際の目標として定められた学校図書館図書標準（学級数に応じて積算）に対する学校保有冊数の割合である。</p>								H25	H26	H27	H28	H29	H30	24,512冊	25,027冊	19,974冊	15,692冊	24,499冊	22,154冊																																					
	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																																			
24,512冊	25,027冊	19,974冊	15,692冊	24,499冊	22,154冊																																																				
成 果	<p>学校図書の整備充実に努めたことにより、充足率の向上と児童の発達段階に応じた図書が整備でき、読書活動や学習活動に積極的に活用され、児童が読書に親しみ楽しむことで感受性や考える力が育成された。</p> <p><小学校図書充足率達成状況></p> <table border="1"> <tr> <td>達成率</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>100%以上（A）</td> <td>12校</td> <td>11校</td> <td>13校</td> <td>16校</td> <td>26校</td> <td>28校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>14校</td> <td>18校</td> <td>17校</td> <td>17校</td> <td>6校</td> <td>5校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>11校</td> <td>8校</td> <td>5校</td> <td>2校</td> <td>2校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>2校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>合計(B)</td> <td>39校</td> <td>37校</td> <td>35校</td> <td>35校</td> <td>34校</td> <td>33校</td> </tr> <tr> <td>100%以上達成校の割合（A/B）</td> <td>30.77%</td> <td>29.73%</td> <td>37.14%</td> <td>45.71%</td> <td>76.47%</td> <td>84.84%</td> </tr> </table> <p>※各年度末時点</p>								達成率	H25	H26	H27	H28	H29	H30	100%以上（A）	12校	11校	13校	16校	26校	28校	75%以上-100%未満	14校	18校	17校	17校	6校	5校	50%以上-75%未満	11校	8校	5校	2校	2校	0校	50%未満	2校	0校	0校	0校	0校	0校	合計(B)	39校	37校	35校	35校	34校	33校	100%以上達成校の割合（A/B）	30.77%	29.73%	37.14%	45.71%	76.47%	84.84%
達成率	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																																			
100%以上（A）	12校	11校	13校	16校	26校	28校																																																			
75%以上-100%未満	14校	18校	17校	17校	6校	5校																																																			
50%以上-75%未満	11校	8校	5校	2校	2校	0校																																																			
50%未満	2校	0校	0校	0校	0校	0校																																																			
合計(B)	39校	37校	35校	35校	34校	33校																																																			
100%以上達成校の割合（A/B）	30.77%	29.73%	37.14%	45.71%	76.47%	84.84%																																																			
成果に係る評価	<p>平成29年度は全ての小学校において充足率100%達成する目標年度であったが、3校が2年続けて未達成となった。 充足率を達成した学校も、長期間廃棄を行っていない学校が多く、蔵書のうち3~4割が更新が必要な図書（平成29年度石巻市立小中学校調査結果）であることから、今後は老朽化した図書や古い内容の図書を継続的・計画的に更新し、学校図書館の充実を図っていきたい。</p>																																																								
(単位：円)																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																			
	27,000,000	26,980,417				20,000,000	6,980,417																																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																									
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																									
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																									
実施計画掲載ページ		P 27	中 事 業	小学校施設老朽化対策事業費																												
事業コード		002-001-003-01027	事 業 名	小学校校舎老朽化対策事業																												
目的及び事業内容		老朽化が著しく進行している学校施設について屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施し、施設の延命化を図り、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。																														
取組実績		<p>老朽化が著しく進行している小学校2校について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施した。また、令和元年度の工事着手を予定している小学校2校の設計業務を実施した。</p> <p>1 実施校 (1) 工事（繰越事業） 中里小学校、大街道小学校 (2) 設計（令和元年度工事着手予定） 稲井小学校、鹿妻小学校</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>H30予算額</th> <th>H30事業費</th> <th>R1繰越</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>22,770,000</td> <td>22,768,560</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>15,900,000</td> <td>0</td> <td>15,900,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>517,800,000</td> <td>226,630,000</td> <td>291,170,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>556,520,000</td> <td>249,448,560</td> <td>307,070,000</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	H30予算額	H30事業費	R1繰越	消耗品費	50,000	50,000	0	設計	22,770,000	22,768,560	0	監理	15,900,000	0	15,900,000	工事	517,800,000	226,630,000	291,170,000	計	556,520,000	249,448,560	307,070,000
内訳	H30予算額	H30事業費	R1繰越																													
消耗品費	50,000	50,000	0																													
設計	22,770,000	22,768,560	0																													
監理	15,900,000	0	15,900,000																													
工事	517,800,000	226,630,000	291,170,000																													
計	556,520,000	249,448,560	307,070,000																													
成 果		老朽化が著しく進行している小学校2校について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施した。中里小学校及び大街道小学校については、補修作業に時間を要したこと等により、工期がやむを得ず延長となったが、令和元年度の早い時期に完成し、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備が図られた。																														
成果に係る評価		平成30年度は小学校2校の工事を実施したことで、施設の延命化を図るとともに児童の教育環境の改善が図られた。しかしながら、市内には同様の工事が必要とする小学校があることから、設計が完了している稲井小学校、鹿妻小学校を含めて引き続き事業を継続する必要がある。 また、現状では主に屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施しているが、整備手法や費用について定期的に見直しを図りながら、適切な改修方法を検討する。																														
予算の執行状況		(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	249,450,000	249,448,560		236,900,000		12,548,560																										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																																																														
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																																																														
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																																																														
実施計画掲載ページ		P 29	中 事 業	鹿又小学校屋内運動場改築事業費																																																																																	
事業コード		002-001-003-00246	事 業 名	鹿又小学校屋内運動場改築事業																																																																																	
目的及び事業内容		鹿又小学校の屋内運動場は、経年劣化により老朽化が著しく、施設が狭小なため、改築工事を実施し児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。 平成28年度に地質調査、造成設計、造成工事、改築設計を実施し、平成29年度より改築工事に着手した。																																																																																			
取組実績		<p>平成30年度は、改築工事を実施した。</p> <p>1 全体事業 (1) 平成26年度 耐力度調査 (2) 平成27年度 登記事務（所有権保存） (3) 平成28年度 地質調査、造成設計、造成工事（H28→H29繰越明許・完了）、改築設計 (4) 平成29年度から平成30年度まで 改築工事</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">費目</th> <th colspan="2">H30予算額</th> <th colspan="2">繰越分</th> <th colspan="2">現年度分</th> <th colspan="2">H30事業費</th> <th colspan="2">繰越分</th> <th colspan="2">現年度分</th> </tr> <tr> <th>予算額</th> <th>繰越分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改築監理</td> <td>6,000,000</td> <td>6,000,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5,281,200</td> <td>5,281,200</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改築工事</td> <td>326,562,000</td> <td>137,080,000</td> <td>189,482,000</td> <td>326,561,320</td> <td>137,080,000</td> <td>189,481,320</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入</td> <td>9,980,000</td> <td></td> <td></td> <td>9,980,000</td> <td>9,968,920</td> <td>9,968,920</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>342,542,000</td> <td>143,080,000</td> <td>199,462,000</td> <td>341,811,440</td> <td>142,361,200</td> <td>199,450,240</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							費目	H30予算額		繰越分		現年度分		H30事業費		繰越分		現年度分		予算額	繰越分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	改築監理	6,000,000	6,000,000	0	0	5,281,200	5,281,200							改築工事	326,562,000	137,080,000	189,482,000	326,561,320	137,080,000	189,481,320							備品購入	9,980,000			9,980,000	9,968,920	9,968,920							計	342,542,000	143,080,000	199,462,000	341,811,440	142,361,200	199,450,240						
費目	H30予算額		繰越分		現年度分		H30事業費			繰越分		現年度分																																																																									
	予算額	繰越分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分																																																																									
改築監理	6,000,000	6,000,000	0	0	5,281,200	5,281,200																																																																															
改築工事	326,562,000	137,080,000	189,482,000	326,561,320	137,080,000	189,481,320																																																																															
備品購入	9,980,000			9,980,000	9,968,920	9,968,920																																																																															
計	342,542,000	143,080,000	199,462,000	341,811,440	142,361,200	199,450,240																																																																															
成 果		屋内運動場建設工事、屋内運動場電気設備工事、屋内運動場建設機械設備工事を実施した。 おおむねスケジュール通りに工事を完了し、児童及び地域住民が安心して安全に屋内運動場を使用できる環境を整備することができた。																																																																																			
成果に係る評価		本事業についてはスケジュール通りに工事を完了することができたが、市内には老朽化した屋内運動場が多数あり、学校の統廃合の進捗を見ながら、整備を進めていく必要がある。																																																																																			
予算の執行状況		(単位：円)																																																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																															
	342,542,000	341,811,440	74,122,000	244,700,000		22,989,440																																																																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																					
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																					
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																					
実施計画掲載ページ		P31	中 事 業		二俣小学校水泳プール改築事業費																							
事業コード		002-001-003-00256	事 業 名		二俣小学校水泳プール改築事業																							
目的及び事業内容		二俣小学校の水泳プールは、施設の老朽化や給排水設備の腐食が著しく、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況であり、早急な改築が必要なことから、平成30年度から令和元年度にかけて改築工事を実施し、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。																										
取組実績		<p>平成30年度、令和元年度にかけて改築工事をを行い、令和元年7月に完成した。</p> <p>1 全体事業 (1) 平成29年度 地質調査、実施設計 (2) 平成30年度、令和元年度 改築工事</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>H30予算額</th> <th>H30事業費</th> <th>R1繰越</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>3,150,000</td> <td>830,000</td> <td>2,320,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>85,300,000</td> <td>38,250,000</td> <td>47,050,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>88,500,000</td> <td>39,130,000</td> <td>49,370,000</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	H30予算額	H30事業費	R1繰越	消耗品費	50,000	50,000	0	監理	3,150,000	830,000	2,320,000	工事	85,300,000	38,250,000	47,050,000	計	88,500,000	39,130,000	49,370,000
内訳	H30予算額	H30事業費	R1繰越																									
消耗品費	50,000	50,000	0																									
監理	3,150,000	830,000	2,320,000																									
工事	85,300,000	38,250,000	47,050,000																									
計	88,500,000	39,130,000	49,370,000																									
成 果		老朽化の進んだ二俣小学校プールについて、平成30年度末で3割の出来高となっており、スケジュールどおりに工事が進行し、令和元年7月に完成し、供用を開始した。																										
成果に係る評価		石巻市内の水泳プールは整備後30年以上が経過しているものも多く、設備機器の老朽化も進行していることから、児童の教育環境の改善を図るため、引き続き事業の継続が必要となる。また、事業の継続に際し、老朽化の進行具合だけでなく、将来的な人口動態等を考慮しながら、適切な整備方針の検討を続ける。																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	39,130,000	39,130,000		39,000,000			130,000																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																														
	2 項	小学校費		第 節			(1)	未来の人を育てる																														
	4 目	東日本大震災関係費		()			(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																														
実施計画掲載ページ		P203	中 事 業		被災児童通学支援事業費																																	
事業コード		004-101-001-00480	事 業 名		被災児童通学支援事業（小学校）																																	
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 代替え校スクールバスの運行 仮設住宅スクールバス等の運行 通学路安全対策スクールバス等の運行 																																				
取組実績		<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施した。</p> <p>(支援実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>延べ学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替え校スクールバス</td> <td>1 校</td> <td>37 人</td> <td>24,957,240 円</td> </tr> <tr> <td>仮設住宅スクールバス等</td> <td>4 校</td> <td>12 人</td> <td>7,151,885 円</td> </tr> <tr> <td>通学路安全対策バス等</td> <td>2 校</td> <td>47 人</td> <td>18,380,620 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7 校</td> <td>96 人</td> <td>50,489,745 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(支援状況)</p> <p>代替え校スクールバス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北上小学校</td> <td>旧相川・吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行</td> </tr> </tbody> </table> <p>通学路安全対策バス等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湊小学校</td> <td>通学路安全対策のためスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>万石浦小学校</td> <td>通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行</td> </tr> </tbody> </table> <p>※仮設住宅スクールバス等利用児童在籍校（H30） 中里小学校、二俣小学校、雄勝小学校、北上小学校</p>							区分	延べ学校数	対象人数	金額	代替え校スクールバス	1 校	37 人	24,957,240 円	仮設住宅スクールバス等	4 校	12 人	7,151,885 円	通学路安全対策バス等	2 校	47 人	18,380,620 円	計	7 校	96 人	50,489,745 円	学校名	状 況	北上小学校	旧相川・吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行	学校名	状 況	湊小学校	通学路安全対策のためスクールバス運行	万石浦小学校	通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行
区分	延べ学校数	対象人数	金額																																			
代替え校スクールバス	1 校	37 人	24,957,240 円																																			
仮設住宅スクールバス等	4 校	12 人	7,151,885 円																																			
通学路安全対策バス等	2 校	47 人	18,380,620 円																																			
計	7 校	96 人	50,489,745 円																																			
学校名	状 況																																					
北上小学校	旧相川・吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行																																					
学校名	状 況																																					
湊小学校	通学路安全対策のためスクールバス運行																																					
万石浦小学校	通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行																																					
成 果		東日本大震災により学校が被災したため、代替え校への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、利用状況に応じたスクールバス等の運行による通学支援を実施したことにより、安全かつ安心して通学できる環境を提供することができた。																																				
成果に係る評価		東日本大震災により通学支援が必要となった生徒の安全・安心を図るために、継続が求められる事業である。引き続き、学校施設の復旧や被災者の再建状況等を踏まえながら、事業を実施する必要がある。																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	52,887,065	50,489,745	41,769,737				8,720,008																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																			
	2 項	小学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる																			
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																			
実施計画掲載ページ	P203		中 事 業	被災児童就学支援事業費																						
事業コード	004-101-001-00481		事 業 名	被災児童就学支援事業（小学校）																						
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災し、就学困難となった児童の保護者に対し、就学援助費の助成を行うことにより、児童の就学の機会を確保する。（支給対象者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯 ・世帯収入が著しく減少した世帯 ・原子力発電所の事故により避難してきた世帯 																									
取組実績	1 就学援助費 小学校：認定者数 1,636名 / 児童数 6,518名 (25.10%)																									
	<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>21,611,295 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>5,270,500 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>1,003,652 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>2,720,200 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>10,170,600 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>6,167,894 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>70,002,204 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>37,590 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>116,983,935 円</td></tr> </table>							学用品費	21,611,295 円	校外活動費(宿泊なし)	5,270,500 円	校外活動費(宿泊あり)	1,003,652 円	通学費	0 円	新入学学用品費	2,720,200 円	新入学準備金	10,170,600 円	修学旅行費	6,167,894 円	給食費	70,002,204 円	医療費	37,590 円	計
学用品費	21,611,295 円																									
校外活動費(宿泊なし)	5,270,500 円																									
校外活動費(宿泊あり)	1,003,652 円																									
通学費	0 円																									
新入学学用品費	2,720,200 円																									
新入学準備金	10,170,600 円																									
修学旅行費	6,167,894 円																									
給食費	70,002,204 円																									
医療費	37,590 円																									
計	116,983,935 円																									
成 果	<p>東日本大震災により被災し、就学が困難となった児童の保護者に対して就学援助費を支給することにより、経済的な負担を軽減することができた。</p> <p>平成29年度から実施した新入学準備金については、201名の児童の保護者に助成を行い、就学前の経済的不安や負担軽減を図ることができた。</p> <p>被災者の再建状況を踏まえ、被災児童就学援助費の認定基準について検討し、平成30年度より認定基準に所得要件を加え、均等な教育機会の提供ができるよう見直しを行った。</p>																									
成果に係る評価	<p>東日本大震災により被災し、就学が困難な児童の就学機会を確保するために、事業終了予定である令和2年度まで支援が必要である。</p>																									
予算の執行状況	(単位：円)																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
116,983,935	116,983,935	116,983,935																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																													
	2 3 項	小学校費 中学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる																																													
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																													
実施計画掲載ページ	P205		中 事 業	小学校太陽光発電設備整備事業費 中学校太陽光発電設備整備事業費																																																
事業コード	004-101-001-00478		事 業 名	学校施設太陽光発電設備整備事業																																																
目的及び事業内容	<p>災害時に避難所となる学校施設について、自立的な電力供給を確保するため太陽光発電設備を導入し施設の防災機能を強化する。</p>																																																			
取組実績	平成30年度実績																																																			
	<table border="1"> <tr> <td>設置工事</td> <td>設計業務</td> <td>構造検討業務</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>・大谷地小学校</td> <td>・広瀬小学校</td> <td>・中津山第一小学校</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>・前谷地小学校</td> <td>・和瀬小学校</td> <td>・石巻中学校</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>・二俣小学校</td> <td>・中津山第一小学校</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>・中津山第二小学校</td> <td>・石巻中学校</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・飯野川中学校</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>							設置工事	設計業務	構造検討業務					・大谷地小学校	・広瀬小学校	・中津山第一小学校					・前谷地小学校	・和瀬小学校	・石巻中学校					・二俣小学校	・中津山第一小学校					・中津山第二小学校	・石巻中学校						・飯野川中学校										
設置工事	設計業務	構造検討業務																																																		
・大谷地小学校	・広瀬小学校	・中津山第一小学校																																																		
・前谷地小学校	・和瀬小学校	・石巻中学校																																																		
・二俣小学校	・中津山第一小学校																																																			
・中津山第二小学校	・石巻中学校																																																			
	・飯野川中学校																																																			
成 果	<p>平成30年度において、小学校4校に太陽光発電設備を整備した。</p> <p>これまでの整備状況 (単位：校)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>16</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>40</td> </tr> </table>								H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計	小学校	1	3	4	9	0	4	4	25	中学校	0	1	3	7	2	1	0	14	高等学校	0	0	1	0	0	0	0	1	合計	1	4	8	16	2	5	4	40
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計																																												
小学校	1	3	4	9	0	4	4	25																																												
中学校	0	1	3	7	2	1	0	14																																												
高等学校	0	0	1	0	0	0	0	1																																												
合計	1	4	8	16	2	5	4	40																																												
成果に係る評価	<p>災害時における自立的な電力供給を確保するため太陽光発電設備（発電パネル10kW、蓄電池15kWh、非常用照明、非常用コンセント）を導入し、施設の防災機能を強化した。</p> <p>このことにより、停電時においても防災行政無線の送受信、テレビの視聴、携帯電話の充電及び照明器具の使用等に一定の電力を確保することが可能となり、施設機能面から避難所運営を支援することができた。</p> <p>市内すべての避難所となる学校施設の防災機能を強化するため、今後も事業を継続する必要がある。</p>																																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																																			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																														
172,330,000	172,329,120		162,800,000	9,529,120		0																																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	2 項	小学校費				(1)	未来の人を育てる
	4 目	東日本大震災関係費				(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P205	中 事 業		北上小学校移転新築事業費		
事業コード		004-101-001-00896	事 業 名		北上小学校移転新築事業〔復興交付金〕		
目的及び事業内容		<p>北上小学校は指定避難所となることから、災害時における自立的な電源の確保を図るため、次の設備を整備し、学校施設の防災機能強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネル10kW、蓄電池15kW設置 ・非常用照明、非常用コンセント設備 					
取 組 実 績		<p>平成26年度実績 ・北上小学校建設基本構想検討委員会を設置し、建設基本構想・基本計画を策定。</p> <p>平成29年度実績 ・北上小学校移転新築工事設計業務プロポーザル選定委員会を設置し、設計者を選定。 ・設計業務（太陽光発電設備 平成29年9月29日～平成30年9月30日）</p> <p>平成30年度実績 ・設計業務（太陽光発電設備 平成29年9月29日～平成30年9月30日）</p>					
成 果		平成30年9月に設計業務が完了し、12月に建設工事の本契約を行った。太陽光発電設備設置工事は、校舎・体育館の工事進捗に合わせて施工を行うこととなるため、令和元年度に設置工事を行う。					
成果に係る評価		設計業務を発注するに当たり、より優れた設計者を選定するためプロポーザル方式を採用したことにより、計画どおり設計業務を遂行することができた。 今後も関係各所と調整を図りながら、令和2年4月供用開始に向け、計画的に事業を推進していく。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,538,000	15,023			11,000	4,023	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	復興計画	()	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち														
	3 項	中学校費				第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する	()													
	1 目	学校管理費				(3)	充実した教育を行える環境をつくる	()													
実施計画掲載ページ		P25	中 事 業		中学校管理費（教育総務課）																
事業コード		002-001-003-00217	事 業 名		遠距離通学支援事業（中学校）																
目的及び事業内容		<p>中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等を運行することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス等の運行 																			
取 組 実 績		<p>中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等の運行を実施した。</p> <p>スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス等</td> <td>H29</td> <td>4校</td> <td>73人</td> <td>51,388,039 円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>6校</td> <td>68人</td> <td>57,202,443 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スクールバス等対象校（H30） 茨浜中学校、北上中学校、牡鹿中学校、雄勝中学校、河北中学校、万石浦中学校</p>						区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	H29	4校	73人	51,388,039 円	H30	6校	68人	57,202,443 円
区分	年度	学校数	対象人数	事業費																	
スクールバス等	H29	4校	73人	51,388,039 円																	
	H30	6校	68人	57,202,443 円																	
成 果		平成30年3月の茨浜小学校の閉校による万石浦中学校区の拡大により、新たに路線を追加するなど、学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった生徒のため、スクールバス等の運行を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保が図られた。																			
成果に係る評価		通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる生徒の安全・安心の確保を図るため、地域の実情に配慮しながら、引き続き適正な通学支援を実施することが必要がある。																			
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	60,361,000	57,202,443	21,605,052			35,597,391															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																															
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																															
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力はぐくむ		()																															
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業	中学校保健費																																		
事業コード	002-001-002-00219 002-001-002-00221	事業名	健康診断・検査等実施事業（中学校） 学校医・薬剤師配置事業（中学校）																																			
目的及び事業内容	<p>学校保健安全法に基づき、各学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置 ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施 																																					
取組実績	<p>1 学校医の配置 中学校19校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱した学校医の人数 <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>18 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>5 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>19 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 中学校19校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱した学校薬剤師の人数 <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>17 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全学年</td> <td>結核検診</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全学年</td> <td>心臓病検診</td> <td>1年生</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>1年生</td> <td>尿検査</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全学年</td> <td>貧血・脂質検査</td> <td>2年生</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施 学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。</p>								内 科 医	18 人	耳 鼻 科 医	5 人	眼 科 医	5 人	歯 科 医	19 人	薬 剤 師	17 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全学年	結核検診	全学年	眼科健診	全学年	心臓病検診	1年生	耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年	歯科健診	全学年	貧血・脂質検査	2年生
内 科 医	18 人	耳 鼻 科 医	5 人																																			
眼 科 医	5 人	歯 科 医	19 人																																			
薬 剤 師	17 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全学年	結核検診	全学年																																			
眼科健診	全学年	心臓病検診	1年生																																			
耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年																																			
歯科健診	全学年	貧血・脂質検査	2年生																																			
成 果	<p>各健康診断・検査を行い、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全な育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <table border="1"> <tr> <td>1 定期健康診断</td> <td>中学生</td> <td>3,518人</td> </tr> <tr> <td>心臓病検診</td> <td>1年生</td> <td>1,084人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>2 飲料水水質検査</td> <td>中学校</td> <td>19校</td> </tr> </table>								1 定期健康診断	中学生	3,518人	心臓病検診	1年生	1,084人	2 飲料水水質検査	中学校	19校																					
1 定期健康診断	中学生	3,518人																																				
心臓病検診	1年生	1,084人																																				
2 飲料水水質検査	中学校	19校																																				
成果に係る評価	<p>学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検を実施することは、生徒に対して的確な疾病等の予防指導を行っていく上で重要である。今後も学校医、学校、保護者等相互の連携を密にし、生徒の健全育成のため発達段階に応じた健康教育を推進していくことが大切であり、事業を引き続き実施する必要がある。</p>																																					
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	22,510,920	21,667,105	326,000			21,341,105																																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()													
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()													
	1 目	学校管理費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()													
実施計画掲載ページ		P32	中 事 業	中学校施設維持整備費																
事業コード	002-001-003-01200	事業名	中学校電気設備更新事業																	
目的及び事業内容	<p>老朽化が進んでいる学校施設の電気設備機器等の更新を実施し、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。</p>																			
取組実績	<p>老朽化が進んでいる中学校施設の電気設備機器等の更新を実施した。</p> <p>1 実施校・内容</p> <p>(1) 住吉中学校 高圧気中開閉器交換修繕、点検扉取付修繕</p> <p>(2) 万石浦中学校 高圧気中開閉器交換修繕、高圧ケーブル交換修繕、キュービクル修繕、PCB分析</p> <p>2 施設別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>H30予算額</th> <th>H30事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住吉中学校</td> <td>1,300,000</td> <td>1,015,200</td> </tr> <tr> <td>万石浦中学校</td> <td>2,500,000</td> <td>2,386,800</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,800,000</td> <td>3,402,000</td> </tr> </tbody> </table>								施設名	H30予算額	H30事業費	住吉中学校	1,300,000	1,015,200	万石浦中学校	2,500,000	2,386,800	計	3,800,000	3,402,000
施設名	H30予算額	H30事業費																		
住吉中学校	1,300,000	1,015,200																		
万石浦中学校	2,500,000	2,386,800																		
計	3,800,000	3,402,000																		
成 果	<p>老朽化が進んでいる住吉中学校、万石浦中学校の電気設備機器等の更新を実施し、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備が図られた。</p>																			
成果に係る評価	<p>生徒の安全を守り、安心な教育環境の整備を図るため、電気設備機器の更新を実施した。電気設備機器は適切な改修を行わなければ漏電や停電等の事故や故障が発生しうる危険性があり、事故等を防ぐため定期的な設備更新が求められることから、引き続き事業を継続する必要がある。</p> <p>併せて、給排水設備など他の設備機器についても老朽化が進行しており、改修の必要性があることから、費用や工期を考慮した上で、適切な改修手法の検討を進めていく。</p>																			
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	3,800,000	3,402,000				3,402,000														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()	
実施計画掲載ページ	P 27		中 事 業	中学校教育用コンピューター関係費				
事業コード	002-001-003-00240		事 業 名	情報教育環境整備事業（中学校）				
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内中学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を図る。							
取 組 実 績	中学校教育用コンピューター整備状況							
	整備年度	整備内容						
		教育用コンピューター	電子黒板（大型モニタ）	タブレット（指導者用）				
H25	石巻地区 3校： 130台 雄勝地区 2校： 15台 北上地区 1校： 41台	石巻地区 3校： 9台 雄勝地区 2校： 4台 北上地区 1校： 2台	—					
H26	石巻地区 2校： 55台	石巻地区 2校： 6台	—					
H28	河北地区 2校： 71台 桃生地区 1校： 39台	河北地区 2校： 9台 桃生地区 1校： 6台	河北地区 2校： 9台	河北地区 2校： 9台 桃生地区 1校： 6台				
H29	河南地区 2校： 82台 牡鹿地区 1校： 19台	河南地区 2校： 15台 牡鹿地区 1校： 3台	河南地区 2校： 15台	河南地区 2校： 15台 牡鹿地区 1校： 3台				
H30	石巻地区 7校： 278台	石巻地区 7校： 68台	石巻地区 7校： 68台	石巻地区 7校： 68台				
※ 平成27年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。 ※ 平成28年度から安価で整備できる大型モニタに変更し、全普通教室へ設置できるようにした。 ※ 教育用コンピューター…PC室用PC、教材作成用PC、普通教室/特別教室用PC ※ 上記数量には、寄附等で整備した機器は含まない。								
成 果	・生徒がICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 ・平成28年度より教育用コンピューターの更新に合わせ、タブレットを整備している。 平成30年度は68台整備した。 ・タブレットの整備を充実された事により、普通教室でもICT機器の充実を図れるようになってきた。							
成果に係る評価	・情報化社会に必要な知識を習得するため、これからの学習活動を支えるICT機器等[大型提示装置（電子黒板等）、学習者用コンピュータ（タブレット）等]や無線LAN環境の整備を進めてきたが、文部科学省が新たに策定した「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（平成30年度～令和4年度）」に基づき、タブレットの整備台数を増やす等、より一層整備を進める必要がある。 ・デジタル教科書の活用や電子黒板等の整備台数を増やしたことにより、多くの教員がICT機器を活用する機会が増え、ICT活用能力向上が図られた。 ・平成30年度より現在の最新OSの割合が高くなり、より高度な授業を行う事ができた。 ・教育のICT化に向けた環境整備5か年計画の目標項目内にある「学習者用コンピュータ：3クラスに1クラス分程度の整備」の水準に達していないので、学習者用コンピュータの整備を充実させていく。							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	58,453,000	58,110,823				58,110,823		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()	
実施計画掲載ページ	P 26		中 事 業	中学校教育振興援助費				
事業コード	002-001-003-00222		事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（中学校）				
目的及び事業内容	経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者の経済的な負担を軽減し、生徒の就学の機会を確保する。 ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成							
取 組 実 績	1 就学援助費 中学校：認定者数 442名 / 生徒数 3,520名 (12.56%)							
		学用品費	10,461,120 円					
	校外活動費（宿泊なし）	166,728 円						
	校外活動費（宿泊あり）	641,764 円						
	通学費	0 円						
	新入学学用品費	1,374,600 円						
	新入学準備金	5,969,600 円						
	修学旅行費	10,774,663 円						
	給食費	20,777,802 円						
	医療費	168,260 円						
	計	50,334,537 円						
成 果	2 特別支援教育就学奨励費 中学校：認定者数 44名 / 生徒数 3,520名 (1.25%)							
		学用品費	295,740 円					
	校外活動費（宿泊なし）	6,352 円						
	校外活動費（宿泊あり）	17,940 円						
	通学費	209,890 円						
	新入学学用品費	165,900 円						
	修学旅行費	250,959 円						
	給食費	630,370 円						
	交流学習交通費	11,910 円						
	職場実習交通費	4,458,301 円						
	計	6,047,362 円						
成 果	経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。 なお、平成29年度から実施した新入学準備金については、104名の生徒の保護者に助成を行い、就学前の経済的不安や負担軽減を図ることができた。							
成果に係る評価	経済的な事情により就学が困難な生徒や特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し、経済的な援助を行うことは、すべての生徒の就学の機会を確保するために重要なことであり、今後も法令に則り必要な支援を継続していく必要がある。							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	57,736,000	56,381,899	3,405,000			52,976,899		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																																		
	3 項	中学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																																		
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																																		
実施計画掲載ページ		P 26	中 事 業		中学校図書整備事業費																																																				
事業コード		002-001-003-00239	事 業 名		学校図書整備事業（中学校）																																																				
目的及び事業内容		<p>文部科学省は更なる学校図書館の整備充実のため平成29年度から令和3年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備等5か年計画」として策定、蔵書の計画的な更新を図る。学校教育の中で、学校図書積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小中学校の学校図書を整備するもの。</p>																																																							
取組実績		<p>市内全ての中学校において、令和元年度末に学校図書館図書標準に対する充足率が100%となることを目標とし、充足率の低い学校に予算を重点配分し充足率の向上に努めた。平成30年度においては、前年度と比較して整備冊数は増え、生徒の読書活動や学習活動に役立つ充実した図書を購入することができた。</p> <p>＜中学校図書の整備冊数＞</p> <table border="1"> <tr> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>17,497冊</td> <td>12,477冊</td> <td>12,314冊</td> <td>9,523冊</td> <td>9,056冊</td> <td>11,950冊</td> </tr> </table> <p>※ 寄贈含む。</p> <p>◎学校図書館図書標準に対する充足率について 平成5年に文科省で定めた公立の義務教育諸学校において学校図書館の図書整備を図る際の目標として定められた学校図書館図書標準（学級数に応じて積算）に対する学校保有冊数の割合である。</p>							H25	H26	H27	H28	H29	H30	17,497冊	12,477冊	12,314冊	9,523冊	9,056冊	11,950冊																																					
H25	H26	H27	H28	H29	H30																																																				
17,497冊	12,477冊	12,314冊	9,523冊	9,056冊	11,950冊																																																				
成 果		<p>充足率の低い学校へ予算を重点配分した結果、充足率の向上と学習活動を支援する図書が整備でき、充足率達成校は着実に増えた。読書活動や学習活動に積極的に活用され、確かな学力と人間性が育まれた。</p> <p>＜中学校図書充足率達成状況＞</p> <table border="1"> <tr> <td>達成率</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>100%以上（A）</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>2校</td> <td>6校</td> <td>7校</td> <td>11校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>5校</td> <td>7校</td> <td>11校</td> <td>7校</td> <td>7校</td> <td>8校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>9校</td> <td>6校</td> <td>5校</td> <td>6校</td> <td>5校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>3校</td> <td>4校</td> <td>2校</td> <td>1校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>合計(B)</td> <td>20校</td> <td>20校</td> <td>20校</td> <td>20校</td> <td>19校</td> <td>19校</td> </tr> <tr> <td>100%以上達成校の割合（A/B）</td> <td>15.00%</td> <td>15.00%</td> <td>10.00%</td> <td>30.00%</td> <td>36.84%</td> <td>57.89%</td> </tr> </table> <p>※各年度末時点</p>							達成率	H25	H26	H27	H28	H29	H30	100%以上（A）	3校	3校	2校	6校	7校	11校	75%以上-100%未満	5校	7校	11校	7校	7校	8校	50%以上-75%未満	9校	6校	5校	6校	5校	0校	50%未満	3校	4校	2校	1校	0校	0校	合計(B)	20校	20校	20校	20校	19校	19校	100%以上達成校の割合（A/B）	15.00%	15.00%	10.00%	30.00%	36.84%	57.89%
達成率	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																																			
100%以上（A）	3校	3校	2校	6校	7校	11校																																																			
75%以上-100%未満	5校	7校	11校	7校	7校	8校																																																			
50%以上-75%未満	9校	6校	5校	6校	5校	0校																																																			
50%未満	3校	4校	2校	1校	0校	0校																																																			
合計(B)	20校	20校	20校	20校	19校	19校																																																			
100%以上達成校の割合（A/B）	15.00%	15.00%	10.00%	30.00%	36.84%	57.89%																																																			
成果に係る評価		<p>令和元年度に充足率100%を達成を目標に整備を進めており着実に達成校は増えている。中学校全体の充足率達成を目指しながら、読書環境の整備と最新の情報や正しい情報を提供し学習環境を整え、質、量とも充実した学校図書館の整備を図るため、新しい図書を整備するとともに計画的な図書の更新を図っていきたい。</p>																																																							
（単位：円）																																																									
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
		23,600,000	23,516,958			10,000,000	13,516,958																																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																																																																															
	3 項	中学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																																																																															
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																																																																															
実施計画掲載ページ		P 28	中 事 業		中学校施設老朽化対策事業費																																																																																																	
事業コード		002-001-003-01028	事 業 名		中学校校舎老朽化対策事業																																																																																																	
目的及び事業内容		<p>老朽化が著しく進行している学校施設について屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施し、施設の延命化を図り、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。</p>																																																																																																				
取組実績		<p>老朽化が著しく進行している中学校2校について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施した。また、令和元年度の工事着手を予定している北上中学校の設計業務を実施した。</p> <p>1 実施校 (1) 工事 桃生中学校（平成29年度からの繰越事業）、河北中学校（令和元年度へ繰越） ※河北中学校は、屋上防水施工時の音が大きく、学校から休日のみの施工を希望され、施工時間帯の調整を行ったこと等から工期を延長した。 （令和元年5月完了） (2) 設計（令和元年度工事着手予定） 北上中学校</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 （単位：円）</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">費目</th> <th colspan="2">H30予算額</th> <th colspan="2">繰越分</th> <th colspan="2">現年度分</th> <th colspan="2">H30事業費</th> <th colspan="2">繰越分</th> <th colspan="2">現年度分</th> <th rowspan="2">R1繰越</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>7,679,500</td> <td>0</td> <td>7,679,500</td> <td>0</td> <td>7,670,160</td> <td>0</td> <td>7,670,160</td> <td>0</td> <td>7,670,160</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>10,130,600</td> <td>4,530,600</td> <td>5,600,000</td> <td>4,530,600</td> <td>4,530,600</td> <td>4,530,600</td> <td>4,530,600</td> <td>0</td> <td>5,600,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5,600,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>324,143,040</td> <td>149,143,040</td> <td>175,000,000</td> <td>235,673,040</td> <td>149,143,040</td> <td>86,530,000</td> <td>88,470,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>342,003,140</td> <td>153,673,640</td> <td>188,329,500</td> <td>247,923,800</td> <td>153,673,640</td> <td>94,250,160</td> <td>94,070,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>							費目	H30予算額		繰越分		現年度分		H30事業費		繰越分		現年度分		R1繰越	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	消耗品費	50,000	0	50,000	0	50,000	0	50,000	0	50,000	0	0	0	0	設計	7,679,500	0	7,679,500	0	7,670,160	0	7,670,160	0	7,670,160	0	0	0	0	監理	10,130,600	4,530,600	5,600,000	4,530,600	4,530,600	4,530,600	4,530,600	0	5,600,000	0	0	5,600,000	0	工事	324,143,040	149,143,040	175,000,000	235,673,040	149,143,040	86,530,000	88,470,000	0	0	0	0	0	0	計	342,003,140	153,673,640	188,329,500	247,923,800	153,673,640	94,250,160	94,070,000	0	0	0	0	0	0
費目	H30予算額		繰越分		現年度分		H30事業費			繰越分		現年度分		R1繰越																																																																																								
	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分																																																																																												
消耗品費	50,000	0	50,000	0	50,000	0	50,000	0	50,000	0	0	0	0																																																																																									
設計	7,679,500	0	7,679,500	0	7,670,160	0	7,670,160	0	7,670,160	0	0	0	0																																																																																									
監理	10,130,600	4,530,600	5,600,000	4,530,600	4,530,600	4,530,600	4,530,600	0	5,600,000	0	0	5,600,000	0																																																																																									
工事	324,143,040	149,143,040	175,000,000	235,673,040	149,143,040	86,530,000	88,470,000	0	0	0	0	0	0																																																																																									
計	342,003,140	153,673,640	188,329,500	247,923,800	153,673,640	94,250,160	94,070,000	0	0	0	0	0	0																																																																																									
成 果		<p>老朽化が著しく進行している中学校2校について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施したことにより、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備が図られた。</p>																																																																																																				
成果に係る評価		<p>平成30年度は中学校2校の工事を実施したことで、施設の延命化を図るとともに生徒の教育環境の改善が図られた。しかしながら、市内には同様の工事を必要とする中学校があることから、設計が完了している北上中学校を含めて引き続き事業を継続する必要がある。 また、現状では主に屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施しているが、整備手法や費用について定期的に見直しを図りながら、適切な改修方法を検討する。</p>																																																																																																				
（単位：円）																																																																																																						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																		
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																															
		247,933,140	247,923,800	29,037,000	180,600,000		38,286,800																																																																																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()	
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()	
実施計画掲載ページ		P 32	中 事 業	河南西中学校水泳プール改築事業費				
事業コード	002-001-003-01080	事 業 名	河南西中学校水泳プール改築事業					
目的及び事業内容	河南西中学校の水泳プールは、施設の老朽化や給排水設備の腐食が進んでいるほか、震災以降地盤沈下も進行しているため、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況であり、早急な改築が必要なことから、令和元年度に改築工事を実施し、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。							
取組実績	平成30年度は、地質調査、実施設計を行った。							
	1 全体事業 (1) 平成30年度 地質調査、実施設計 (2) 令和元年度 改築工事							
	2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)							
	内訳	H30予算額	H30事業費					
	地質調査	4,571,000	4,570,560					
	実施設計	7,344,000	7,344,000					
	計	11,915,000	11,914,560					
成 果	老朽化の進んだ河南西中学校プールについて、平成30年度は地質調査と設計業務を実施し、令和元年度に実施する改築工事に向けた準備が図られた。							
成果に係る評価	石巻市内の水泳プールは整備後30年以上が経過しているものも多く、設備機器の老朽化も進行していることから、生徒の教育環境の改善を図るため、引き続き事業の継続が必要となる。また、事業の継続に際し、老朽化の進行具合だけでなく、将来的な人口動態等を考慮しながら、適切な整備方針の検討を続ける。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	11,915,000	11,914,560				11,914,560		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	3 項	中学校費		第 節			(1)	未来の人を育てる
	4 目	東日本大震災関係費		()			(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P 203	中 事 業	被災生徒通学支援事業費				
事業コード	004-101-001-00480	事 業 名	被災生徒通学支援事業（中学校）					
目的及び事業内容	東日本大震災により学校が被災したため、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・仮設住宅スクールバス等の運行 ・通学路安全対策スクールバスの運行							
取組実績	東日本大震災により学校が被災したため、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施した。							
	(支援実績)							
		区 分	延べ学校数	対象人数	金 額			
	通学路安全対策バス	1 校	32 人	21,861,028 円				
	仮設住宅スクールバス等	3 校	11 人	7,151,885 円				
	計	4 校	43 人	29,012,913 円				
	通学路安全対策バス							
	学校名	状 況						
	湊中学校	通学路安全対策のためスクールバス運行						
	※仮設住宅スクールバス等利用生徒在籍校（H30） 湊中学校、雄勝中学校、北上中学校							
成 果	東日本大震災により学校が被災したため、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、利用状況に応じたスクールバス等の運行による通学支援を実施したことにより、安全かつ安心して通学できる環境を提供することができた。							
成果に係る評価	東日本大震災により通学支援が必要となった生徒の安全・安心を図るために継続が求められる事業である。 引き続き、学校施設の復旧や被災者の再建状況等を踏まえながら事業を実施する必要がある。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	30,324,738	29,012,913	26,480,313			2,532,600		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																				
	3 項	中学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる																				
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																				
実施計画掲載ページ		P203	中 事 業	被災生徒就学支援事業費																							
事業コード		004-101-001-00481	事 業 名	被災生徒就学支援事業（中学校）																							
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により被災し、就学困難となった生徒の保護者に対し、就学援助費の助成を行うことにより、生徒の就学の機会を確保する。（支給対象者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯 ・世帯収入が著しく減少した世帯 ・原子力発電所の事故により避難してきた世帯 																									
取組実績		<p>1 就学援助費 中学校：認定者数 917名 / 生徒数 3,520名 (26.05%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>21,826,590 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>284,705 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>1,700,222 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>4,076,400 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>12,628,000 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>20,232,546 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>44,635,489 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>3,310 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>105,387,262 円</td></tr> </table>						学用品費	21,826,590 円	校外活動費(宿泊なし)	284,705 円	校外活動費(宿泊あり)	1,700,222 円	通学費	0 円	新入学学用品費	4,076,400 円	新入学準備金	12,628,000 円	修学旅行費	20,232,546 円	給食費	44,635,489 円	医療費	3,310 円	計	105,387,262 円
学用品費	21,826,590 円																										
校外活動費(宿泊なし)	284,705 円																										
校外活動費(宿泊あり)	1,700,222 円																										
通学費	0 円																										
新入学学用品費	4,076,400 円																										
新入学準備金	12,628,000 円																										
修学旅行費	20,232,546 円																										
給食費	44,635,489 円																										
医療費	3,310 円																										
計	105,387,262 円																										
成 果		<p>東日本大震災により被災し、就学が困難となった生徒の保護者に対して就学援助費を支給することにより、経済的な負担を軽減することができた。 平成29年度から実施した新入学準備金については、220名の生徒の保護者に助成を行い、就学前の経済的不安や負担軽減を図ることができた。 被災者の再建状況を踏まえ、被災生徒就学援助費の認定基準について検討し、平成30年度より認定基準に所得要件を加え、均等な教育機会の提供ができるよう見直しを行った。</p>																									
成果に係る評価		<p>東日本大震災により被災し、就学が困難な生徒の就学機会を確保するために、事業終了予定である令和2年度まで支援が必要である。</p>																									
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	105,387,262	105,387,262	105,387,262																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																																													
	3 項	中学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる																																																													
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																																													
実施計画掲載ページ		P204	中 事 業	中学校防災機能強化事業費																																																																
事業コード		004-101-001-00989	事 業 名	中学校防災機能強化事業																																																																
目的及び事業内容		<p>屋内運動場等の吊り天井、照明器具等の落下防止のため、天井撤去、補強、落下防止策等の改修工事を実施し、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。</p>																																																																		
取組実績		<p>屋内運動場等の天井等の落下防止対策が必要な中学校3校3棟について、改修工事を実施した。また、令和元年度の工事着手を予定している中学校1校1棟の設計業務を実施した。</p> <p>1 実施校 (1) 工事（繰越事業） 門脇中学校（武道場）、青葉中学校（講堂）、住吉中学校（講堂） (2) 設計 湊中学校（武道場（1F部分）、講堂（2F部分））</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">費目</th> <th colspan="3">H30予算額</th> <th colspan="3">H30事業費</th> <th rowspan="2">R1繰越</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>100,000</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>3,000,000</td> <td>2,000,000</td> <td>1,000,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,000,000</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>8,804,000</td> <td>0</td> <td>8,804,000</td> <td>8,803,080</td> <td>0</td> <td>8,803,080</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>23,600,000</td> <td>15,600,000</td> <td>8,000,000</td> <td>11,216,880</td> <td>11,216,880</td> <td>0</td> <td>8,000,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>536,200,000</td> <td>303,200,000</td> <td>233,000,000</td> <td>275,626,800</td> <td>275,626,800</td> <td>0</td> <td>233,000,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>571,704,000</td> <td>320,850,000</td> <td>250,854,000</td> <td>295,696,760</td> <td>286,893,680</td> <td>8,803,080</td> <td>242,050,000</td> </tr> </tbody> </table>						費目	H30予算額			H30事業費			R1繰越	繰越分	現年度分	繰越分	繰越分	現年度分	消耗品費	100,000	50,000	50,000	50,000	50,000	0	50,000	手数料	3,000,000	2,000,000	1,000,000	0	0	0	1,000,000	設計	8,804,000	0	8,804,000	8,803,080	0	8,803,080	0	監理	23,600,000	15,600,000	8,000,000	11,216,880	11,216,880	0	8,000,000	工事	536,200,000	303,200,000	233,000,000	275,626,800	275,626,800	0	233,000,000	計	571,704,000	320,850,000	250,854,000	295,696,760	286,893,680	8,803,080	242,050,000
費目	H30予算額			H30事業費			R1繰越																																																													
	繰越分	現年度分	繰越分	繰越分	現年度分																																																															
消耗品費	100,000	50,000	50,000	50,000	50,000	0	50,000																																																													
手数料	3,000,000	2,000,000	1,000,000	0	0	0	1,000,000																																																													
設計	8,804,000	0	8,804,000	8,803,080	0	8,803,080	0																																																													
監理	23,600,000	15,600,000	8,000,000	11,216,880	11,216,880	0	8,000,000																																																													
工事	536,200,000	303,200,000	233,000,000	275,626,800	275,626,800	0	233,000,000																																																													
計	571,704,000	320,850,000	250,854,000	295,696,760	286,893,680	8,803,080	242,050,000																																																													
成 果		<p>屋内運動場等の天井等の落下防止対策が必要な中学校3校について改修工事を実施し、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備が図られた。 なお、設計が完了した湊中学校については、令和元年度に工事着工する。</p>																																																																		
成果に係る評価		<p>日常時の学校生活において生徒の安全を守るため、さらには災害発生時において避難所としての機能を維持するため、学校施設の防災機能強化を継続していく必要がある。</p>																																																																		
(単位：円)																																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																														
	329,654,000	295,696,760	85,160,000	199,800,000			10,736,760																																																													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																															
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																															
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																															
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業		高等学校保健費																																	
事業コード		002-001-002-00219 002-001-002-00221	事 業 名		健康診断・検査等実施事業（高等学校） 学校医・薬剤師配置事業（高等学校）																																	
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、桜坂高等学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置 ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施 																																				
取組実績		<p>1 学校医の配置 桜坂高等学校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱した学校医の人数 <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>1 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>1 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>2 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 桜坂高等学校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱した学校薬剤師の人数 <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>1 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全学年</td> <td>結核健診</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全学年</td> <td>心臓病健診</td> <td>1年生</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>1年生</td> <td>尿検査</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全学年</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施 桜坂高等学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。</p>							内 科 医	1 人	耳 鼻 科 医	1 人	眼 科 医	1 人	歯 科 医	2 人	薬 剤 師	1 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全学年	結核健診	全学年	眼科健診	全学年	心臓病健診	1年生	耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年	歯科健診	全学年		
内 科 医	1 人	耳 鼻 科 医	1 人																																			
眼 科 医	1 人	歯 科 医	2 人																																			
薬 剤 師	1 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全学年	結核健診	全学年																																			
眼科健診	全学年	心臓病健診	1年生																																			
耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年																																			
歯科健診	全学年																																					
成 果		<p>各健康診断・検査を行い、保護者、桜坂高等学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全な育成や健康の保持増進が図られた。 また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <p>1 定期健康診断 高校生 486人 心臓病健診 1年生 170人</p> <p>2 飲料水水質検査 高等学校 1校</p>																																				
成果に係る評価		<p>学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検を実施することは、生徒に対して的確な疾病等の予防指導を行っていく上で重要である。今後も学校医、学校、保護者等相互の連携を密にし、生徒の健全育成のため発達段階に応じた健康教育を推進していくことが大切であり、事業を引き続き実施する必要がある。</p>																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
		2,504,728	2,241,274				2,241,274																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画		復興計画	()																																											
	4 項	高等学校費				()																																											
	1 目	学校管理費				()																																											
実施計画掲載ページ			中 事 業		魅力ある学校づくり事業費																																												
事業コード			事 業 名		桜坂高等学校の魅力ある学校づくり事業																																												
目的及び事業内容		<p>【事業内容】 生徒の人間力を高め、一人一人の夢を実現させるために、桜坂高校が掲げる「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」を実践し、必要な事業を実施する。</p> <p>【事業目的】 県内唯一の公立女子高等学校として、特色ある教育活動に取り組むことで、石巻市の未来を担う人材の育成・輩出を目指すとともに、桜坂高校の魅力内外に強くPRすることで募集定員を確保する。</p>																																															
取組実績		<p>1 各種講座等</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) 小笠原流礼法指導</td> <td>全学年</td> <td>各1回実施</td> </tr> <tr> <td>(2) 公務員試験講座</td> <td></td> <td>9回実施</td> </tr> <tr> <td>(3) 進学就職のための各種講座</td> <td>年間</td> <td>12回実施</td> </tr> <tr> <td>イ 模擬面接</td> <td>就職模擬面接</td> <td>5回実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td>進学模擬面接</td> <td>5回実施</td> </tr> <tr> <td>ロ 法律講座</td> <td></td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>ハ メイクアップ講座</td> <td></td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(5) 先輩の話を聞く会</td> <td>1、2年生</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(6) 親教育講話</td> <td>3年生</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(7) 桜坂タイム関連講座</td> <td>各学年</td> <td>年間 40回実施</td> </tr> <tr> <td>イ まちなかポスタープロジェクト</td> <td></td> <td>1学年13回</td> </tr> <tr> <td>ロ さくらプロジェクト</td> <td></td> <td>2学年19回</td> </tr> <tr> <td>ハ 市役所プロジェクト</td> <td></td> <td>3学年 8回</td> </tr> <tr> <td>(8) 学力保証に係る事業</td> <td></td> <td>年間 4回実施</td> </tr> </table> <p>2 開校記念講話 講師 日本紛争予防センター理事長 瀬谷 ルミ子</p> <p>3 進路ガイダンス参加 オープンキャンパス、夢ナビライブ、就職説明会等</p>						(1) 小笠原流礼法指導	全学年	各1回実施	(2) 公務員試験講座		9回実施	(3) 進学就職のための各種講座	年間	12回実施	イ 模擬面接	就職模擬面接	5回実施		進学模擬面接	5回実施	ロ 法律講座		1回実施	ハ メイクアップ講座		1回実施	(5) 先輩の話を聞く会	1、2年生	1回実施	(6) 親教育講話	3年生	1回実施	(7) 桜坂タイム関連講座	各学年	年間 40回実施	イ まちなかポスタープロジェクト		1学年13回	ロ さくらプロジェクト		2学年19回	ハ 市役所プロジェクト		3学年 8回	(8) 学力保証に係る事業		年間 4回実施
(1) 小笠原流礼法指導	全学年	各1回実施																																															
(2) 公務員試験講座		9回実施																																															
(3) 進学就職のための各種講座	年間	12回実施																																															
イ 模擬面接	就職模擬面接	5回実施																																															
	進学模擬面接	5回実施																																															
ロ 法律講座		1回実施																																															
ハ メイクアップ講座		1回実施																																															
(5) 先輩の話を聞く会	1、2年生	1回実施																																															
(6) 親教育講話	3年生	1回実施																																															
(7) 桜坂タイム関連講座	各学年	年間 40回実施																																															
イ まちなかポスタープロジェクト		1学年13回																																															
ロ さくらプロジェクト		2学年19回																																															
ハ 市役所プロジェクト		3学年 8回																																															
(8) 学力保証に係る事業		年間 4回実施																																															
成 果		<p>1 各種講座等について 生徒の将来の夢の実現のため、各方面から講師を招いて講座等を実施した。 特に、礼法指導の基礎を学び、品格教育の充実が図られたことや、公務員を志望する生徒のための公務員試験講座や、コミュニケーション能力を高めるための講座などに加え、地域に貢献できる人材の育成を図るための事業として、総合的な学習の時間において「桜坂タイム」を全学年で実施し、成果をまとめたことは、魅力ある学校づくり事業の推進につながったと言える。</p> <p>2 開校記念講話について 日本紛争予防センターで理事長として活躍する講師が「女子高生時代に自分が志した夢」に向けて試みた人生の切り開き方についての実践的な話しを聴き、未来の実現に向けて明るい希望を開くことができた。</p> <p>3 進路ガイダンス参加について 大学のオープンキャンパスや進学、就職合同説明会等に参加することで、進路目標を具体的に考える良い機会となった。</p>																																															
成果に係る評価		<p>本事業を実施し、「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」を実践することにより、「魅力ある学校づくり」を推進することができた。 今後も本事業の推進を図るとともに、桜坂高等学校の魅力のPRの機会を増やし、定員を確保していく必要がある。</p>																																															
(単位：円)																																																	
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
		4,192,000	3,811,866				3,811,866																																										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()	
実施計画掲載ページ	P 27		中 事 業	高等学校教育用コンピューター関係費				
事業コード	002-001-003-00240		事 業 名	情報教育環境整備事業（高等学校）				
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内高等学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を図る。							
取組実績	高等学校教育用コンピューター整備状況							
	整備年度	整備内容						
		教育用コンピューター	電子黒板	タブレット				
	H26	市立女子高：86台	市立女子高（桜坂高）：17台	—				
	H27	桜坂高：3台	桜坂高：2台	桜坂高：123台				
	※ 平成26年度に市立女子高へ整備したPC室用コンピューター86台は、平成27年3月に市立女子高（現桜坂高）へ移設。 ※ 電子黒板17台については、高等学校統合整備事業費（備品購入費）で整備。 ※ 平成28～30年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。							
成 果	・生徒がICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 ・タブレット、PC機器を充実させることで生徒へのより高度なICTにおける教育が実現できた。							
成果に係る評価	・高等学校の教育用コンピューターについては、学校の教育課程に則した機器を考察・選定し、計画的に整備している。 ・多くの教員がICT機器に触れる機会が増え、活用能力の向上が図られた。 ・整備後4年が経過し、故障頻度が増加してくことから、授業に支障が生じないように機器の保守に努めていきたい。 ・ICT機器の充実を図るため次期導入時には、より多くの人が簡易に理解できる機器の導入を図りたい。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	13,833,000	13,699,901				13,699,901		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																
	1 目	幼稚園費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																
実施計画掲載ページ	P 21		中 事 業	幼稚園保健費																			
事業コード	002-001-002-00219 002-001-002-00221		事 業 名	健康診断・検査等実施事業（幼稚園） 学校医・薬剤師配置事業（幼稚園）																			
目的及び事業内容	学校保健安全法に基づき、市立幼稚園及び湊こども園に幼稚園医等を配置し定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、幼児の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。 ・幼稚園医の配置 ・幼稚園薬剤師の配置 ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施																						
取組実績	1 幼稚園医の配置																						
	市立幼稚園及び湊こども園に幼稚園医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施した。 ・委嘱した幼稚園医の人数 <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>5 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>3 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>4 人</td> </tr> </table>								内 科 医	5 人	耳 鼻 科 医	3 人	眼 科 医	3 人	歯 科 医	4 人							
内 科 医	5 人	耳 鼻 科 医	3 人																				
眼 科 医	3 人	歯 科 医	4 人																				
取組実績	2 幼稚園薬剤師の配置																						
	市立幼稚園及び湊こども園に薬剤師を委嘱し、飲料水の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。 ・委嘱した幼稚園薬剤師の人数 <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>5 人</td> </tr> </table>								薬 剤 師	5 人													
薬 剤 師	5 人																						
取組実績	3 定期健康診断検査項目及び対象学年																						
	<table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全幼児</td> </tr> </tbody> </table>				項目	学年	内科健診	全幼児	眼科健診	全幼児	耳鼻科健診	全幼児	歯科健診	全幼児	<table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核検診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>尿検査</td> <td>全幼児</td> </tr> </tbody> </table>				項目	学年	結核検診	全幼児	尿検査
項目	学年																						
内科健診	全幼児																						
眼科健診	全幼児																						
耳鼻科健診	全幼児																						
歯科健診	全幼児																						
項目	学年																						
結核検診	全幼児																						
尿検査	全幼児																						
取組実績	4 飲料水水質検査の実施																						
	市立幼稚園及び湊こども園の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。																						
成 果	各健康診断・検査を行い、保護者、市立幼稚園及び湊こども園に対して的確な指導と助言が行われ、幼児の健全な育成や健康の保持増進が図られた。 また、施設内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された施設環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。																						
成 果	1 定期健康診断	園児						217人															
	2 飲料水水質検査	幼稚園、こども園						5園															
成果に係る評価	市立幼稚園及び湊こども園に幼稚園医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検を実施することは、幼児に対して的確な疾病等の予防指導を行っていく上で重要である。今後も幼稚園医、市立幼稚園及び湊こども園、保護者等相互の連携を密にし、幼児の健全育成のため発達段階に応じた健康教育を推進していくことが大切であり、事業を引き続き実施する必要がある。																						
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	3,207,032	2,986,780				2,986,780																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																		
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																		
	1 目	幼稚園費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																																		
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業	私立幼稚園就園奨励費																																					
事業コード		002-001-002-00223	事 業 名	私立幼稚園就園奨励費助成事業																																					
目的及び事業内容		私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の中で、所得が低い世帯、多子世帯及びひとり親等世帯の保護者を対象に、私立幼稚園が行う入園料、保育料の減免措置に対して助成を行うことにより、義務教育就学前における幼児教育の振興を図る。 ・私立幼稚園就園奨励費の助成																																							
取組実績		市内に居住している園児の入園料、保育料の減免措置を行っている私立幼稚園に対し、一部国の補助を受け補助金を交付した。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>生活保護世帯</td><td>2人</td><td>421,750円</td></tr> <tr><td>市民税非課税世帯（ひとり親世帯等除く）</td><td>39人</td><td>9,380,400円</td></tr> <tr><td>市民税非課税世帯（ひとり親世帯等）</td><td>22人</td><td>4,957,400円</td></tr> <tr><td>市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等除く）</td><td>28人</td><td>6,584,000円</td></tr> <tr><td>市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等）</td><td>0人</td><td>0円</td></tr> <tr><td>市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等除く）</td><td>226人</td><td>46,722,500円</td></tr> <tr><td>市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等）</td><td>26人</td><td>5,858,200円</td></tr> <tr><td>市民税所得割額211,200円以下の世帯</td><td>532人</td><td>58,674,400円</td></tr> <tr><td>上記以外の世帯</td><td>69人</td><td>10,577,000円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>944人</td><td>143,175,650円</td></tr> </tbody> </table>							区分	対象人数	補助金額	生活保護世帯	2人	421,750円	市民税非課税世帯（ひとり親世帯等除く）	39人	9,380,400円	市民税非課税世帯（ひとり親世帯等）	22人	4,957,400円	市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等除く）	28人	6,584,000円	市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等）	0人	0円	市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等除く）	226人	46,722,500円	市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等）	26人	5,858,200円	市民税所得割額211,200円以下の世帯	532人	58,674,400円	上記以外の世帯	69人	10,577,000円	合計	944人	143,175,650円
区分	対象人数	補助金額																																							
生活保護世帯	2人	421,750円																																							
市民税非課税世帯（ひとり親世帯等除く）	39人	9,380,400円																																							
市民税非課税世帯（ひとり親世帯等）	22人	4,957,400円																																							
市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等除く）	28人	6,584,000円																																							
市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等）	0人	0円																																							
市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等除く）	226人	46,722,500円																																							
市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等）	26人	5,858,200円																																							
市民税所得割額211,200円以下の世帯	532人	58,674,400円																																							
上記以外の世帯	69人	10,577,000円																																							
合計	944人	143,175,650円																																							
成 果		私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の中で、所得が低い世帯、多子世帯及びひとり親等世帯の保護者を対象に、私立幼稚園が行う入園料、保育料の減免措置に対して助成を行うことにより、就園する幼児の保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学前における幼児教育の振興に資することができた。 （補助内訳） 就園奨励費補助金 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>950人</td><td>134,264,100円</td></tr> <tr><td>H29</td><td>970人</td><td>139,723,500円</td></tr> <tr><td>H30</td><td>944人</td><td>143,175,650円</td></tr> </tbody> </table>							区分	対象人数	補助金額	H28	950人	134,264,100円	H29	970人	139,723,500円	H30	944人	143,175,650円																					
区分	対象人数	補助金額																																							
H28	950人	134,264,100円																																							
H29	970人	139,723,500円																																							
H30	944人	143,175,650円																																							
成果に係る評価		本市の幼児教育の普及充実と保護者の経済的負担を軽減するため、本事業は継続して実施する必要があるが、令和元年10月から実施される幼児教育の無償化に伴い、本事業は終了となる。																																							
（単位：円）																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	143,176,000	143,175,650	75,867,000				67,308,650																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																	
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																	
	1 目	幼稚園費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																	
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業	私立幼稚園運営費助成費																				
事業コード		002-001-002-00224	事 業 名	私立幼稚園運営費助成事業																				
目的及び事業内容		市内で開園している私立幼稚園の設置者に対し、運営費の一部を助成することにより、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な経営及び保護者の負担軽減を図る。 ・私立幼稚園運営費の助成 幼稚園割 1園 160,000円 職員割 1人 30,000円 園児割 1人 1,200円																						
取組実績		市内で開園している私立幼稚園設置者に対し、運営費の一部の助成を行った。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>穀町幼稚園</td><td>880,000円</td></tr> <tr><td>法山寺幼稚園</td><td>647,200円</td></tr> <tr><td>石巻カトリック幼稚園</td><td>797,200円</td></tr> <tr><td>石巻みづほ幼稚園</td><td>997,600円</td></tr> <tr><td>ひばり幼稚園</td><td>1,170,400円</td></tr> <tr><td>長浜幼稚園</td><td>739,600円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>5,232,000円</td></tr> </tbody> </table>							区分	運営費補助金	穀町幼稚園	880,000円	法山寺幼稚園	647,200円	石巻カトリック幼稚園	797,200円	石巻みづほ幼稚園	997,600円	ひばり幼稚園	1,170,400円	長浜幼稚園	739,600円	合計	5,232,000円
区分	運営費補助金																							
穀町幼稚園	880,000円																							
法山寺幼稚園	647,200円																							
石巻カトリック幼稚園	797,200円																							
石巻みづほ幼稚園	997,600円																							
ひばり幼稚園	1,170,400円																							
長浜幼稚園	739,600円																							
合計	5,232,000円																							
成 果		義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減に資することができた。 （助成内訳） 運営費補助金 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> <th>園数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>6,200,400円</td><td>9園</td></tr> <tr><td>H29</td><td>5,453,200円</td><td>7園</td></tr> <tr><td>H30</td><td>5,232,000円</td><td>6園</td></tr> </tbody> </table>							区分	運営費補助金	園数	H28	6,200,400円	9園	H29	5,453,200円	7園	H30	5,232,000円	6園				
区分	運営費補助金	園数																						
H28	6,200,400円	9園																						
H29	5,453,200円	7園																						
H30	5,232,000円	6園																						
成果に係る評価		私立幼稚園の健全な運営と施設の充実を図るとともに、幼児教育の質の向上を図るため、今後も継続して本事業を実施し、本市の義務教育就学前における幼児教育を推進する必要がある。																						
（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	5,358,000	5,232,000					5,232,000																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()	
	1 目	社会教育総務費		(2)	青少年を健全に育成する		()	

実施計画掲載ページ	P 33	中 事 業	社会教育事務費
-----------	------	-------	---------

事業コード	002-002-002-01255	事 業 名	家庭教育支援事業
-------	-------------------	-------	----------

目的及び事業内容
子育てサポーター及び子育てサポーターリーダーなどの身近な人々による「家庭教育支援チーム」を組織し、孤立しがちな保護者や仕事で忙しい保護者など、地域とのコミュニケーションや学習の機会等になかなか参加できない保護者や家庭に対する支援を行う。

取組実績

1 親子参加型の活動（子育てサロン）			
年 度	実施期間	実施回数	参加人数
H28	H28.4～H29.3	21回	延べ 317組 730人
H29	H29.4～H30.3	21回	延べ 315組 751人
H30	H30.4～H31.3	22回	延べ 336組 771人
2 親の学び講座（親対象）			
年 度	実施期間	実施回数	参加人数
H28	H28.5～H29.3	32回	延べ 248人
H29	H29.5～H30.3	24回	延べ 152人
H30	H30.6～H30.11	16回	延べ 80人
3 「親のみちしるべ」講座（平成27年度より開始）			
年 度	実施期間	実施回数	参加人数
H28	H28.7～H29.1	3回	延べ 41人
H29	H29.7～H29.10	3回	延べ 31人
H30	H30.9～H30.10	2回	延べ 26人
4 子育てサポーター養成講座（平成26年度より開始）			
年 度	実施期間	実施回数	参加人数
H28	H28.5～H28.6	4回	延べ 29人
H29	H29.5～H29.6	4回	延べ 13人
H30	H30.5～H30.6	4回	延べ 24人

成 果
「子育てサロン」は、実施から8年が経過し、親子の交流及び心のケア、育児相談の場として定着している。家庭教育支援チーム員は研修等により知識を深め、自主的に企画・運営に関わろうとしており、内容が充実してきている。
「親の学び講座」は、2講座（1講座につき8回実施）開催しており、受講者が意欲的に参加しており子育てのスキルアップや親同士のコミュニティ形成に成果が見られる。
「親のみちしるべ講座」は、平成27年度より東部教育事務所からの協力依頼を受けて開催しており、小学校就学前における講座開催は、主にワークショップにより親同士のコミュニティ形成に役立っている。
「子育てサポーター養成講座」は、県教育委員会、東部教育事務所、石巻市教育委員会が共催で地元開催している。内容は、子育て支援の専門家の講話等になっており、参加者が子育ての喜びを改めて感じたり悩みの解決方法に気付くことが出来ている。

成果に係る評価
家庭教育支援事業は、子育て世帯の孤立化解消や親子の心のケア、親同士のコミュニティ形成、次世代の子育て支援・家庭教育支援を担う人材の育成が図られており、家庭教育支援チーム員として、活動を始めるなどの成果が見られることから、市民にとって意義のある事業であるため今後も継続が必要である。
□

（単位：円）

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	318,070	158,549	158,549			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()	
	1 目	社会教育総務費		(2)	青少年を健全に育成する		()	

実施計画掲載ページ	P 34	中 事 業	少年指導者育成費
-----------	------	-------	----------

事業コード	002-002-002-00261	事 業 名	少年指導者育成事業
-------	-------------------	-------	-----------

目的及び事業内容
子ども会活動等地域における望ましい体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアとしてのジュニア・リーダー及びインリーダーの育成を通して、青少年の健全育成を図る。
宮城県教育委員会が定める「ジュニア・リーダー初級研修内容」に準拠した研修会を開催し、ジュニア・リーダー（中高生）を養成する。受講修了者には宮城県教育委員会が発行するジュニア・リーダー手帳を授与する。
研修を修了したジュニア・リーダーは、各地区のサークルに所属し、市内子ども会育成会等から要請を受けボランティアとして派遣され、子どもたちの指導等を行っている。

取組実績

1 ジュニア・リーダー育成のための研修会の実施、支援

(1) ジュニア・リーダー初級研修会の主催

No.	事業名	開催日	実施場所	修了者
1	初級研修会	7月25日～27日	花山青少年自然の家	21人

(2) ジュニア・リーダー中級研修会及び上級研修会への参加支援

No.	事業名	開催日	実施場所	修了者
1	中級研修会	8月17日～18日	志津川自然の家	13人
2	上級研修会	12月25日～27日	志津川自然の家	5人

(3) ジュニア・リーダーのスキルアップのための研修事業参加支援及び研修機会の創出

No.	事業名	開催日	実施場所	参加者
1	初級研修会事前説明	7月 8日	石巻中央公民館	20人
2	初級研修会	7月25日～27日	花山青少年自然の家	30人
3	中級研修会	8月17日～18日	志津川自然の家	15人
4	防災研修会	8月22日	石巻市中里 北上運河	2人
5	秋季研修会	10月13日	旭山農業体験実習館	16人
6	上級研修会	12月25日～27日	志津川自然の家	5人

2 ジュニア・リーダーのボランティア活動支援
市内子ども会育成会等から要請を受けボランティアとして派遣、子どもたちの指導等を行った。
団体による申請数：55回 派遣したジュニア・リーダー数（延べ）：272人 会員数：67人

成 果
昨年度と比較すると、初級研修会の受講者が3人減少、中級研修会の受講者が6人増加、上級研修会の受講者が3人増加した。平成30年度は、新規で石巻市ジュニア・リーダー秋季研修会を実施し、参加者がジュニア・リーダーの果たす役割の重要性や楽しさを再確認することができた。また、各種研修会では、子ども会やその他の地域活動を主体的に盛り上げていこうとする態度も養うことができた。

成果に係る評価
活動を休止していた北上地区の子ども達が初級研修会に参加するなど、ジュニア・リーダーの育成に地域の広がりがでてきた。今後も活動休止中の地区のジュニア・リーダーの活動を継続的に支援していく、ジュニア・リーダーサークルに入会し会員になるように、地区担当者との連携を強化していく必要がある。

（単位：円）

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	700,000	422,064				422,064

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()	
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		()	
	1 目	社会教育総務費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりや交流を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P112		中 事 業	芸術文化振興費			
事業コード		005-003-001-00272		事 業 名	青少年文化芸術鑑賞事業			
目的及び事業内容		<p>芸術鑑賞の機会に恵まれない地域の児童・生徒に対し、優れた芸術を鑑賞、体験してもらうことにより、豊かな情操を養う。</p> <p>学校の総合的学習時間等を利用して、優秀な舞台芸術を鑑賞したり、体験したりする機会を提供することで芸術文化についての関心を高め、鑑賞する楽しさや表現する喜びを感じさせるとともに感性を磨き、児童・生徒の豊かな人間形成を図る。</p>						
取組実績	1 巡回小劇場							
	開催日	場所	公演内容			鑑賞学校・鑑賞人数		
	9月5日	桃生公民館	音楽劇「イソップランドの動物たち」			桃生地区小学校（児童169名）		
	9月6日	大谷地小学校	音楽劇「イソップランドの動物たち」			大谷地小学校（児童126人）		
	9月7日	貞山小学校	音楽劇「イソップランドの動物たち」			貞山小学校（児童179人）		
	2 青少年劇場小公演							
	開催日	場所	公演内容			鑑賞学校・鑑賞人数		
	9月13日	社鹿中学校	「となりの国の打楽器と踊り」			社鹿中学校（生徒28人）		
	10月2日	北上中学校	「しゃみせんいろいろ」			北上中学校（生徒51人）		
	12月7日	東浜小学校	「しゃみせんいろいろ」			東浜小学校（児童14人）		
	12月7日	河南西中学校	「しゃみせんいろいろ」			河南西中学校（生徒155人）		
	3 文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）							
	開催日	場所	公演内容			鑑賞学校・鑑賞人数		
	7月5日	門脇中学校	琉球舞踊「四つ竹」と組踊「万歳敵討」			門脇中学校（生徒139人）		
	9月14日	石巻小学校	ミュージカル公演「ルドルフとイッパイヤテナ」			石巻小学校（児童209人）		
11月22日	開北小学校	日本音楽集団『ごんぎつね』～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～			開北小学校（児童304人）			
4 文化芸術による子供の育成事業（芸術家派遣事業）								
開催日	場所	公演内容			鑑賞学校・鑑賞人数			
6月26日 9月14日 11月2日	須江小学校	茂木寿哉「陶芸」			須江小学校（児童51人）			
成 果		<p>児童・生徒に対し、優れた文化芸術を生で鑑賞する機会を提供することにより、鑑賞する楽しさや表現することの喜びを味わわせることができた。優れた文化芸術に触れることで、児童・生徒は楽しみながら、その面白さや凄さを知り、豊かな情操を育むことができた。</p>						
成果に係る評価		<p>関係団体と連携を図りながら、巡回小劇場、青少年劇場小公演、文化芸術による子供の育成事業において、質の高い文化・芸術を児童・生徒に提供することができた。今後も関係団体等と連携し、質の高い文化芸術に触れる機会を児童・生徒に提供していきたい。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,480,000		1,107,000				1,000,000	107,000

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()	
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		()	
	1 目	社会教育総務費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりや交流を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P111		中 事 業	芸術文化振興費			
事業コード		005-003-001-00271		事 業 名	市美術展実施事業			
目的及び事業内容		<p>美術を通して、芸術文化の向上と市民の教養を高めるため、県内外から作品を公募する美術展を開催する。</p>						
取組実績	1 石巻市美術展再開に向けて							
	<p>震災により石巻市文化センターが滅失したため、平成23、24年度は開催しなかったが、平成25年度、河北総合センター「ビッグバン」で石巻市美術展プレ・リオープン展を開催し、平成26年度から公募展を再開している。また、平成29年度からは友好都市である山形県河北町の美術展と相互に出品している。</p>							
	2 第34回石巻市美術展の開催							
	(1) 開催期間 平成30年9月30日～10月8日							
	(2) 開催場所 河北総合センター「ビッグバン」							
	(3) 出品点数 273点（一般151点 高校生51点 無鑑査29点 招待3点 実行委員31点 審査員4点 賛助出品 4点）							
	(4) 観覧者数 1,271人							
	(5) 受賞者 48人							
	(6) 授賞式 平成30年9月30日							
	3 過去5年間の推移							
	H26	H27	H28	H29	H30			
出品点数	262点	246点	239点	252点	273点			
観覧者数	1,148人	1,150人	1,113人	1,472人	1,271人			
開催日数	9日	9日	9日	9日	9日			
一日平均	128人	128人	124人	163人	141人			
成 果		<p>石巻市美術展は、日本画、洋画、書、彫刻、陶芸の5部門からなる石巻圏最大規模の公募展である。市美展を開催することにより、市民の作品発表の場及び芸術鑑賞の機会を提供でき、芸術文化の向上と文化振興に寄与することができた。震災後に再開してから出品点数は徐々に増加し、現在では出品点数はほぼ震災前の水準に達している。また観覧者数についても、平成29年度に友好都市の山形県河北町との共同企画を実施したことや、積極的な広報活動により、市美展が周知されたことなどの理由により増加傾向にある。</p>						
成果に係る評価		<p>出品点数については、震災前の水準にあるものの、若年層の出品が少ないことから、高等学校の書道部、美術部に出品を呼びかけるなど、出品者数を増やす方法を実行委員会にて検討している。また、観覧者数については増加傾向にあるが、まだ震災前の水準には達していない。またアンケート結果からも、観覧者も若年層が少ないことがわかる。若年層の出品数の増加が、若年層の観覧者数の増加につながると考えられることから、学校や商業施設を重点的に広報活動を行い、特に若年層の観覧者増に努める必要がある。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	360,000		360,000					360,000

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																					
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()																																					
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する		()																																					
実施計画掲載ページ		P 34	中 事 業	家庭教育学級開設費																																								
事業コード	002-002-001-00278	事 業 名	家庭教育学級開設事業																																									
目的及び事業内容	<p>保護者等を対象に家庭や親のあり方、子育て、子どもの心身の成長、家庭環境等に関する学習機会を提供し、家庭における教育力の向上を図るとともに、参加者相互の交流を通して連帯意識の高揚を図る。</p> <p>実施機関（幼稚園、保育所・学校単位）ごとに、中学校は1回以上、他の実施機関は複数回の開催とする。講話、講演、討議、実技など多様な学習方法により、親のあり方や発達段階に応じて正しい指導ができるようにするなどの学習内容とするとともに、受講生の学習ニーズに配慮し開設する。</p>																																											
取組実績	<p>実施機関のPTA等と協力しながら、地域性や親のニーズに合わせた様々な学習内容により開催されており、また、多くの保護者が集まる効果的な機会を活用して学習の場を提供した。</p> <p>1 開設機関 各地区（石巻、河北、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿）の公民館等 2 実施機関 各地区の幼稚園（私立含む）、保育所（私立含む）、小学校、中学校 3 開設状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開設機関区分</th> <th>実施機関数</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>39 機関</td> <td>76 回</td> <td>5,278 人</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>9 機関</td> <td>20 回</td> <td>1,327 人</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>3 機関</td> <td>7 回</td> <td>220 人</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>16 機関</td> <td>27 回</td> <td>1,736 人</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>6 機関</td> <td>12 回</td> <td>968 人</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>3 機関</td> <td>6 回</td> <td>290 人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>5 機関</td> <td>12 回</td> <td>420 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>81 機関</td> <td>160 回</td> <td>10,239 人</td> </tr> </tbody> </table>								開設機関区分	実施機関数	実施回数	参加者数	石巻地区	39 機関	76 回	5,278 人	河北地区	9 機関	20 回	1,327 人	雄勝地区	3 機関	7 回	220 人	河南地区	16 機関	27 回	1,736 人	桃生地区	6 機関	12 回	968 人	北上地区	3 機関	6 回	290 人	牡鹿地区	5 機関	12 回	420 人	計	81 機関	160 回	10,239 人
	開設機関区分	実施機関数	実施回数	参加者数																																								
石巻地区	39 機関	76 回	5,278 人																																									
河北地区	9 機関	20 回	1,327 人																																									
雄勝地区	3 機関	7 回	220 人																																									
河南地区	16 機関	27 回	1,736 人																																									
桃生地区	6 機関	12 回	968 人																																									
北上地区	3 機関	6 回	290 人																																									
牡鹿地区	5 機関	12 回	420 人																																									
計	81 機関	160 回	10,239 人																																									
成 果	<p>家庭教育の必要性について啓発を行った結果、実施機関数が昨年度より2機関増加した。実施機関では年間行事を踏まえ、それぞれ工夫しながら学習会を開催し、本事業の目的のひとつである身近な地域における家庭教育支援の基盤が確立された。</p> <p>受講生からの評価においては、受講した保護者から「今までの子育てを見直してみよう」などの感想が多く見られることから、学習会を通して、子育て・家庭教育のあり方についての理解が広がっており、受講した保護者の満足度は概ね良好である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">活動指標（実施機関数）</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>80機関</td> <td>79機関</td> <td>98.7%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>80機関</td> <td>81機関</td> <td>101.2%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標（受講生評価ポイント）</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>87ポイント</td> <td>93ポイント</td> <td>106.8%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>94ポイント</td> <td>92ポイント</td> <td>97.8%</td> </tr> </tbody> </table>								区分	活動指標（実施機関数）		達成率等	目標値	実績等	H29	80機関	79機関	98.7%	H30	80機関	81機関	101.2%	区分	成果指標（受講生評価ポイント）		達成率等	目標値	実績等	H29	87ポイント	93ポイント	106.8%	H30	94ポイント	92ポイント	97.8%								
区分	活動指標（実施機関数）		達成率等																																									
	目標値	実績等																																										
H29	80機関	79機関	98.7%																																									
H30	80機関	81機関	101.2%																																									
区分	成果指標（受講生評価ポイント）		達成率等																																									
	目標値	実績等																																										
H29	87ポイント	93ポイント	106.8%																																									
H30	94ポイント	92ポイント	97.8%																																									
成果に係る評価	<p>より多くの保護者に学ぶ機会を広げていくためには、保護者の一層の参加を期待できる学習会の持ち方等について支援していき、また、開設されていない公立保育所及び私立幼稚園・保育所（園）に家庭教育学級の開設の働きかけも継続していく必要がある。</p> <p>学習会を通して、子育て・家庭教育のあり方についての理解が広がっているが、子育てに直接関わる学習内容とは必ずしも言えない学習会も見受けられることから、家庭教育学級開設の趣旨を理解した上で、実施機関が主体的に学習会等に反映させることが必要である。</p>																																											
（単位：円）																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	980,000	980,000	980,000																																									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																						
	6 項	社会教育費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																						
	1 目	社会教育総務費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																						
実施計画掲載ページ		P 25	中 事 業	子ども読書活動推進費																									
事業コード	002-001-002-00259	事 業 名	ブックスタート事業																										
目的及び事業内容	<p>乳幼児期からの家庭における読書活動の推進方策の一環として、乳幼児期に絵本との出会いの機会を創出し、さらには絵本の選び方や読み聞かせの方法について保護者へ啓発を行う。</p>																												
取組実績	<p>健康推進課で行っている3・4か月児健診の場において、乳児と保護者に対し、公募によるボランティアが読み聞かせを行いながら、ブックスタートパックを配付した。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>3・4か月児健診</td> <td>対象者数</td> <td>880人</td> </tr> <tr> <td>”</td> <td>受診者数</td> <td>810人</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付者数</td> <td></td> <td>810人</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付率（対対象者）</td> <td></td> <td>92%</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付率（対受診者）</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア会員数</td> <td></td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア延べ参加者数</td> <td></td> <td>125人</td> </tr> </tbody> </table>								3・4か月児健診	対象者数	880人	”	受診者数	810人	ブックスタートパック配付者数		810人	ブックスタートパック配付率（対対象者）		92%	ブックスタートパック配付率（対受診者）		100%	読み聞かせボランティア会員数		21人	読み聞かせボランティア延べ参加者数		125人
	3・4か月児健診	対象者数	880人																										
”	受診者数	810人																											
ブックスタートパック配付者数		810人																											
ブックスタートパック配付率（対対象者）		92%																											
ブックスタートパック配付率（対受診者）		100%																											
読み聞かせボランティア会員数		21人																											
読み聞かせボランティア延べ参加者数		125人																											
成 果	<p>ボランティアのネットワークが広がり、円滑に事業を推進することができている。保護者も、快くボランティアの説明や読み聞かせを受け入れている。乳児に絵本を読み聞かせると、絵本を目で追い反応を示したり、笑顔で反応したりする子どもの様子に、保護者も読み聞かせの効果を実感していた。また、絵本を通して保護者とコミュニケーションがとれ、読書活動推進の一助となっている。</p>																												
成果に係る評価	<p>ブックスタート事業は平成22年度から実施し、経験のある母親から伝え聞いて、少しずつその認知も広がっている。また、ボランティアのネットワークも広がり、円滑に事業が展開している。</p> <p>今後も読み聞かせボランティアに対する研修会を行い、ボランティアのスキルアップを図り事業の充実に努めていきたい。</p>																												
（単位：円）																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	2,200,000	1,890,825	56,057		1,000,000	834,768																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																										
	6 項	社会教育費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()																																										
	1 目	社会教育総務費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる		()																																										
実施計画掲載ページ		P 38	中 事 業	協働教育推進事業費																																													
事業コード	002-003-002-00262	事 業 名	ふるさと子どもカレッジ事業																																														
目的及び事業内容	市内小学校の5・6年生を対象に、石巻の自然・文化・職場等の素材を資源として様々な体験活動を通じて、地域の自然や伝統文化などの学習機会を創出するために、郷土の自然・文化・企業等を活用した体験活動を実施し、豊かな心を育む教育活動を推進する。																																																
取組実績	1 ふるさと子どもカレッジ 活動実績																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">活動内容</th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>開校式、雄勝ローズファクトリーガーデン見学、硯石クラフト製作</td> <td>6月16日</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>石巻青果花き地方卸売市場見学、航空自衛隊松島基地見学</td> <td>7月23日</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>川遊び体験（北上川川下り・流しソーメン）</td> <td>8月4日</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>陶芸教室（三輪田窯）</td> <td>9月8日</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ジュニアリーダーと遊ぼう・星空観察（コロボックルハウス）</td> <td>10月27日</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>かき剥き見学、御番所公園展望台見学、ほっとまる（牡鹿交流センター）見学</td> <td>11月17日</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>北上川の歴史について、北上川下流河川事務所分施設見学</td> <td>12月15日</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>神割崎自然公園・釣石神社見学、石巻・川のピジターセンター見学、開校式</td> <td>1月26日</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>延べ</td> <td>221人</td> </tr> </tbody> </table>								活動内容		開催日	参加者数	1	開校式、雄勝ローズファクトリーガーデン見学、硯石クラフト製作	6月16日	32人	2	石巻青果花き地方卸売市場見学、航空自衛隊松島基地見学	7月23日	33人	3	川遊び体験（北上川川下り・流しソーメン）	8月4日	32人	4	陶芸教室（三輪田窯）	9月8日	27人	5	ジュニアリーダーと遊ぼう・星空観察（コロボックルハウス）	10月27日	31人	6	かき剥き見学、御番所公園展望台見学、ほっとまる（牡鹿交流センター）見学	11月17日	23人	7	北上川の歴史について、北上川下流河川事務所分施設見学	12月15日	23人	8	神割崎自然公園・釣石神社見学、石巻・川のピジターセンター見学、開校式	1月26日	20人				延べ	221人
	活動内容		開催日	参加者数																																													
1	開校式、雄勝ローズファクトリーガーデン見学、硯石クラフト製作	6月16日	32人																																														
2	石巻青果花き地方卸売市場見学、航空自衛隊松島基地見学	7月23日	33人																																														
3	川遊び体験（北上川川下り・流しソーメン）	8月4日	32人																																														
4	陶芸教室（三輪田窯）	9月8日	27人																																														
5	ジュニアリーダーと遊ぼう・星空観察（コロボックルハウス）	10月27日	31人																																														
6	かき剥き見学、御番所公園展望台見学、ほっとまる（牡鹿交流センター）見学	11月17日	23人																																														
7	北上川の歴史について、北上川下流河川事務所分施設見学	12月15日	23人																																														
8	神割崎自然公園・釣石神社見学、石巻・川のピジターセンター見学、開校式	1月26日	20人																																														
			延べ	221人																																													
2 地区別参加者数（実）																																																	
地区名		石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿																																									
人数		26人	1人	0人	4人	4人	0人	0人																																									
成 果	平成30年度は、参加者の増員を図るため、募集チラシにイラストを加えたり用紙の色を変えることにより、親しみやすさ、目のひきやすさといった点を工夫した。また、これまではチラシのみの配布をしていたところ、学校の掲示用にポスターを作成し一緒に配布したことで目にする機会の増加を図ることができた。活動内容も参加者自身が動きながら参加できる体験型のメニューを増やした。その結果、前年度よりも13人参加者が増加し、各回20名以上の参加がみられたと考えられる。																																																
成果に係る評価	ふるさと子どもカレッジは、短い時間ではあるが、親元を離れ、普段交流する機会の少ない他の地区の子どもたちとの交流を図りながら、石巻のことについて実際に見て、触れて、楽しみながら学ぶことのできる貴重な機会の提供の場であるため、今後も事業を継続していく必要があると考える。 なお、今後は集合時間や開催地域、実施内容を工夫し、現在参加者の少ない地域からも参加しやすい状況を確保していくことが必要である。																																																
（単位：円）																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																											
	126,713	92,913	92,913																																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																																															
	6 項	社会教育費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()																																																															
	1 目	社会教育総務費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる		()																																																															
実施計画掲載ページ		P 38	中 事 業	まちなか実験室事業費																																																																		
事業コード	002-003-002-00264	事 業 名	まちなか実験室事業																																																																			
目的及び事業内容	子ども達を対象に、科学実験や自然観察、模擬発明、工作等の「遊びや体験の場」として参加型学習教室を開催し、「学ぶ楽しさ・知る喜び」を実感させ、科学に対する興味・関心を高めることにより、創造性と思いやりのある心豊かな子ども達を育成することを目的とする。																																																																					
取組実績	講師、指導者となる団体又は企業への委託事業とし、全7地区で実験室を開催した。																																																																					
	1 まちなか実験室実施内容																																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催場所</th> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河南地区－広瀬小学校</td> <td>10月17日</td> <td>もしも原子が見えたなら</td> <td>28人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">桃生地区－中津山第一小学校</td> <td>10月24日</td> <td rowspan="2">もしも原子が見えたなら</td> <td>23人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>10月25日</td> <td>18人</td> <td>94.4%</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区－雄勝小・中学校</td> <td>11月2日</td> <td>楽しい理科遊び（シャボン玉、水ロケット、プーメラン）、ファラデーの実験、熱気球をつくろう</td> <td>21人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>河北地区－二俣小学校</td> <td>11月20日</td> <td>もしも原子が見えたなら</td> <td>21人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">北上地区－北上小学校</td> <td>12月19日</td> <td rowspan="2">楽しい理科遊び（シャボン玉、水ロケット、プーメラン）、ファラデーの実験、熱気球をつくろう</td> <td>32人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>12月20日</td> <td>30人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区－一寄磯小学校</td> <td>1月10日</td> <td>楽しい理科遊び（シャボン玉、水ロケット、プーメラン）、ファラデーの実験、熱気球をつくろう</td> <td>9人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">牡鹿地区－鮎川小学校</td> <td>1月15日</td> <td rowspan="2">楽しい理科遊び（シャボン玉、水ロケット、プーメラン）、ファラデーの実験、熱気球をつくろう</td> <td>18人</td> <td>94.4%</td> </tr> <tr> <td>2月12日</td> <td>31人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">石巻地区－稲井小学校</td> <td>2月12日</td> <td rowspan="2">もしも原子が見えたなら</td> <td>27人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>2月14日</td> <td>27人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>延べ</td> <td>258人</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>								開催場所	開催日	内容	参加人数	満足度	河南地区－広瀬小学校	10月17日	もしも原子が見えたなら	28人	100.0%	桃生地区－中津山第一小学校	10月24日	もしも原子が見えたなら	23人	100.0%	10月25日	18人	94.4%	雄勝地区－雄勝小・中学校	11月2日	楽しい理科遊び（シャボン玉、水ロケット、プーメラン）、ファラデーの実験、熱気球をつくろう	21人	100.0%	河北地区－二俣小学校	11月20日	もしも原子が見えたなら	21人	100.0%	北上地区－北上小学校	12月19日	楽しい理科遊び（シャボン玉、水ロケット、プーメラン）、ファラデーの実験、熱気球をつくろう	32人	100.0%	12月20日	30人	100.0%	牡鹿地区－一寄磯小学校	1月10日	楽しい理科遊び（シャボン玉、水ロケット、プーメラン）、ファラデーの実験、熱気球をつくろう	9人	100.0%	牡鹿地区－鮎川小学校	1月15日	楽しい理科遊び（シャボン玉、水ロケット、プーメラン）、ファラデーの実験、熱気球をつくろう	18人	94.4%	2月12日	31人	100.0%	石巻地区－稲井小学校	2月12日	もしも原子が見えたなら	27人	100.0%	2月14日	27人	100.0%				延べ	258人
開催場所	開催日	内容	参加人数	満足度																																																																		
河南地区－広瀬小学校	10月17日	もしも原子が見えたなら	28人	100.0%																																																																		
桃生地区－中津山第一小学校	10月24日	もしも原子が見えたなら	23人	100.0%																																																																		
	10月25日		18人	94.4%																																																																		
雄勝地区－雄勝小・中学校	11月2日	楽しい理科遊び（シャボン玉、水ロケット、プーメラン）、ファラデーの実験、熱気球をつくろう	21人	100.0%																																																																		
河北地区－二俣小学校	11月20日	もしも原子が見えたなら	21人	100.0%																																																																		
北上地区－北上小学校	12月19日	楽しい理科遊び（シャボン玉、水ロケット、プーメラン）、ファラデーの実験、熱気球をつくろう	32人	100.0%																																																																		
	12月20日		30人	100.0%																																																																		
牡鹿地区－一寄磯小学校	1月10日	楽しい理科遊び（シャボン玉、水ロケット、プーメラン）、ファラデーの実験、熱気球をつくろう	9人	100.0%																																																																		
牡鹿地区－鮎川小学校	1月15日	楽しい理科遊び（シャボン玉、水ロケット、プーメラン）、ファラデーの実験、熱気球をつくろう	18人	94.4%																																																																		
	2月12日		31人	100.0%																																																																		
石巻地区－稲井小学校	2月12日	もしも原子が見えたなら	27人	100.0%																																																																		
	2月14日		27人	100.0%																																																																		
			延べ	258人	100.0%																																																																	
成 果	シャボン玉や水ロケットなど遊びをとおした実験で、より身近なものに潜む科学のおもしろさを実感することができる教室を開催することができた。また、原子の模型を作成したり、コイルや磁石を使って電磁誘導の実験を行うなど、自らの手で科学を目に見えるものにするすることで、しくみがわかる喜びを得る体験ができたと感じる。																																																																					
成果に係る評価	まちなか実験室は、授業としてではなく、遊びとして気軽に科学の世界に触れる機会を提供できる事業であるためぜひ継続していきたい。 今後は、「まちなか」開催を主旨としていることから、イベント会場や空き店舗等の場所を活用するなど、多くの子ども達に興味や関心を持ってもらえるよう工夫が必要である。																																																																					
（単位：円）																																																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																			
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																
	600,000	472,568				472,568																																																																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																					
	6 項	社会教育費		第2節	地域全体で子どもたちを育成する		()																					
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する		()																					
実施計画掲載ページ		P 33	中 事 業	放課後子ども教室推進事業費																								
事業コード	002-002-001-00617	事 業 名	放課後子ども教室推進事業																									
目的及び事業内容																												
市内小学校区において、公共施設等を活用し、子ども達の安全・安心な活動拠点（居場所）を設ける。地域の方々の参画を得て、子ども達とともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動の取組を実施することにより、子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。																												
取組実績																												
1 放課後子ども教室推進事業																												
①「和 کوچکクラブ」（河南地域住民自治協議会和瀬地区部会へ運営を依頼） ・登録児童数：50人 ・登録ボランティア数：25人																												
②「上釜子ども教室」（上釜町内会、NPO法人にじいろクレヨンへ運営を依頼） ・対象児童：上釜子ども会（自由参加） ・登録ボランティア数：15人																												
③「放課後子ども教室Bremen」（放課後児童クラブBremenへ運営を依頼） ・対象児童：石巻小学校区児童（自由参加） ・登録ボランティア数：14人																												
2 放課後子ども教室の活動実績																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>日数</th> <th>参加児童延べ人数</th> <th>参加ボランティア延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①和 کوچکクラブ（伝統遊び、農作業、創作活動など）</td> <td>34日</td> <td>1,417人</td> <td>416人</td> </tr> <tr> <td>②上釜子ども教室（植栽活動、創作活動など）</td> <td>9日</td> <td>102人</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>③放課後子ども教室Bremen（創作活動、体験活動など）</td> <td>19日</td> <td>153人</td> <td>92人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1,672人</td> <td>572人</td> </tr> </tbody> </table>									活動内容	日数	参加児童延べ人数	参加ボランティア延べ人数	①和 کوچکクラブ（伝統遊び、農作業、創作活動など）	34日	1,417人	416人	②上釜子ども教室（植栽活動、創作活動など）	9日	102人	64人	③放課後子ども教室Bremen（創作活動、体験活動など）	19日	153人	92人	計		1,672人	572人
活動内容	日数	参加児童延べ人数	参加ボランティア延べ人数																									
①和 کوچکクラブ（伝統遊び、農作業、創作活動など）	34日	1,417人	416人																									
②上釜子ども教室（植栽活動、創作活動など）	9日	102人	64人																									
③放課後子ども教室Bremen（創作活動、体験活動など）	19日	153人	92人																									
計		1,672人	572人																									
成 果																												
和 کوچکクラブは、毎週木曜日の放課後に活動している。地域にも定着し、和瀬小学校児童の約半数が参加している。多くのボランティアとともに様々なプログラムを体験し、楽しく活動に取り組むことができた。また、縦割り班でグループを編成して活動することで、上級生が下級生の面倒を見るようになり、思いやりの心が育っている。地域ボランティアの方は活動を楽しみにし、子ども達とのふれあいを喜んでいる。 上釜子ども教室は、地域の子どもは地域で育てるという考えのもと、ボランティアの方々が、地域の行事などに向けて熱心に指導した。プログラムは地域素材を活用し地域に密着した活動を多く取り入れ、地域を愛する子ども達の育成につながっている。 放課後子ども教室Bremenは、放課後児童クラブBremenのスタッフを中心に子ども達の安全、安心な居場所作りを行っている。様々なジャンルの方を講師として招き、多彩な活動を子ども達に提供している。																												
成果に係る評価																												
地域の人々の参画を得て、放課後や休日を活用した学習活動や体験活動、異年齢交流などを行いながら、子ども達が安心して過ごせる居場所を確保することができた。地域の方々が提供する様々な活動に子ども達が意欲をもって取り組み、異年齢交流をとおして思いやりの気持ちが育つなど子ども達の姿に窺いが見られる。 地域の人々も、子ども達の教育に協力を惜まず、子ども達とともに放課後子ども教室に参画することにより、生きがいを見出し、地域の教育力の向上にもつながっている。 今後は、他の地域での子ども教室の開設について検討し、子ども達の安全・安心な居場所を広げていきたい。																												
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳																									
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	1,500,000	1,133,273	1,133,273																									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																																																	
	6 項	社会教育費		第2節	地域全体で子どもたちを育成する		()																																																																	
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する		()																																																																	
実施計画掲載ページ		P 33	中 事 業	協働教育推進事業費																																																																				
事業コード	002-002-001-00260	事 業 名	協働教育推進事業																																																																					
目的及び事業内容																																																																								
学校・家庭・地域が協働して、子ども達の生きる力を育む教育活動の充実・改善を目指し、社会の中でたくましく生きる子ども達を地域全体で育むことを目的とする。また、実施校における成果と課題を広く市内の小学校等に情報提供することで、市内における協働教育推進気運の醸成と協働教育の充実・改善につなげるものとする。																																																																								
取組実績																																																																								
協働教育推進事業 活動実績（市内14小中学校区推進協議会で実施）																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区名</th> <th>事業内容</th> <th>事業回数</th> <th>参加ボランティア延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 蛇田小学校区</td> <td>本の読み聞かせ活動ほか</td> <td>104回</td> <td>836人</td> </tr> <tr> <td>2 貞山小学校区</td> <td>子育て支援活動（子供食堂）ほか</td> <td>99回</td> <td>725人</td> </tr> <tr> <td>3 万石浦小学校区</td> <td>海苔養殖体験ほか</td> <td>45回</td> <td>1,017人</td> </tr> <tr> <td>4 渡波中学校区</td> <td>相撲の歴史、渡波の歴史ほか</td> <td>212回</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td>5 東浜小学校区</td> <td>祖父母、地域のお年寄りとの交流ほか</td> <td>5回</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>6 大谷地小学校区</td> <td>大豆集荷場の見学ほか</td> <td>31回</td> <td>147人</td> </tr> <tr> <td>7 北上小学校区</td> <td>ふるさと北上探訪ほか</td> <td>10回</td> <td>109人</td> </tr> <tr> <td>8 青葉中学校区</td> <td>障害のある方々のマラソン大会の手伝い</td> <td>33回</td> <td>653人</td> </tr> <tr> <td>9 牡鹿中学校区</td> <td>調査捕鯨見学ほか</td> <td>9回</td> <td>809人</td> </tr> <tr> <td>10 開北小学校区</td> <td>絶滅危惧種シナイモツゴの里親活動ほか</td> <td>66回</td> <td>737人</td> </tr> <tr> <td>11 大街道小学校区</td> <td>大街道音頭の学習ほか</td> <td>62回</td> <td>489人</td> </tr> <tr> <td>12 雄勝小学校区</td> <td>モリウミアスとの協働体験活動ほか</td> <td>35回</td> <td>427人</td> </tr> <tr> <td>13 中津山第一小学校区</td> <td>隘谷閘門、隘谷洗堰見学ほか</td> <td>71回</td> <td>386人</td> </tr> <tr> <td>14 石巻中学校区</td> <td>川開き祭り翌日の早朝清掃ほか</td> <td>13回</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>795回</td> <td>7,018人</td> </tr> </tbody> </table>									学校区名	事業内容	事業回数	参加ボランティア延べ人数	1 蛇田小学校区	本の読み聞かせ活動ほか	104回	836人	2 貞山小学校区	子育て支援活動（子供食堂）ほか	99回	725人	3 万石浦小学校区	海苔養殖体験ほか	45回	1,017人	4 渡波中学校区	相撲の歴史、渡波の歴史ほか	212回	600人	5 東浜小学校区	祖父母、地域のお年寄りとの交流ほか	5回	39人	6 大谷地小学校区	大豆集荷場の見学ほか	31回	147人	7 北上小学校区	ふるさと北上探訪ほか	10回	109人	8 青葉中学校区	障害のある方々のマラソン大会の手伝い	33回	653人	9 牡鹿中学校区	調査捕鯨見学ほか	9回	809人	10 開北小学校区	絶滅危惧種シナイモツゴの里親活動ほか	66回	737人	11 大街道小学校区	大街道音頭の学習ほか	62回	489人	12 雄勝小学校区	モリウミアスとの協働体験活動ほか	35回	427人	13 中津山第一小学校区	隘谷閘門、隘谷洗堰見学ほか	71回	386人	14 石巻中学校区	川開き祭り翌日の早朝清掃ほか	13回	44人	合計		795回	7,018人
学校区名	事業内容	事業回数	参加ボランティア延べ人数																																																																					
1 蛇田小学校区	本の読み聞かせ活動ほか	104回	836人																																																																					
2 貞山小学校区	子育て支援活動（子供食堂）ほか	99回	725人																																																																					
3 万石浦小学校区	海苔養殖体験ほか	45回	1,017人																																																																					
4 渡波中学校区	相撲の歴史、渡波の歴史ほか	212回	600人																																																																					
5 東浜小学校区	祖父母、地域のお年寄りとの交流ほか	5回	39人																																																																					
6 大谷地小学校区	大豆集荷場の見学ほか	31回	147人																																																																					
7 北上小学校区	ふるさと北上探訪ほか	10回	109人																																																																					
8 青葉中学校区	障害のある方々のマラソン大会の手伝い	33回	653人																																																																					
9 牡鹿中学校区	調査捕鯨見学ほか	9回	809人																																																																					
10 開北小学校区	絶滅危惧種シナイモツゴの里親活動ほか	66回	737人																																																																					
11 大街道小学校区	大街道音頭の学習ほか	62回	489人																																																																					
12 雄勝小学校区	モリウミアスとの協働体験活動ほか	35回	427人																																																																					
13 中津山第一小学校区	隘谷閘門、隘谷洗堰見学ほか	71回	386人																																																																					
14 石巻中学校区	川開き祭り翌日の早朝清掃ほか	13回	44人																																																																					
合計		795回	7,018人																																																																					
成 果																																																																								
平成30年度は、継続校9校に新規5校が追加され、計14校の小・中学校区で協働教育推進事業が実施された。平成30年度も子ども達を地域全体で育み、地域防災や郷土芸能、地場産業などの理解を深めることができた。また、地元企業やNPO団体等の協力を得ながら事業を推進したことで、児童・生徒にとつて有意義な活動も実施することができた。地域コーディネーターは、昨年度よりも6人増加し、計15人で活動を行った。主な活動内容は下記のとおりである。 ・石巻信用金庫と開北小をコーディネートして実施したマナースクール ・青葉中とISHINOMAKI2.0をコーディネートして実施した出前講座 ・蛇田小と手話教室の講師をコーディネートして実施した手話教室 ・渡波中と地域の有識者をコーディネートして実施した水産学習 ・北上中で実施したふるさと学習 ・牡鹿中の生徒（希望者）に実施した学習サポート																																																																								
成果に係る評価																																																																								
各学校の事業回数と延べ参加ボランティア人数の増加から協働教育が推進されていることが考察できる。また、各学校が協働教育を通して、地域のことやまちのこと、郷土芸能や地場産業などの理解を更に深めることができた。今後は、各学校の協働教育の取組みを発信し、事業実施校以外の学校も協働教育に取り組む際の有益な情報になるようにしていく。地域コーディネーターについては、人数の増加により、協働教育の活動内容を更に充実させることにつながった。今後は、地域の人材発掘と活動推進の核となる人材育成を含め、各種情報の共有を図りながら事業を進めていく。																																																																								
(単位：円)																																																																								
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳																																																																					
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																		
	3,173,000	2,451,294	2,451,294																																																																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れる町	復興計画	()											
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		()											
	3 目	公民館費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する		()											
実施計画掲載ページ		P113	中 事 業		公民館管理費													
事業コード		005-003-001-01159	事 業 名		稲井公民館改修事業													
目的及び事業内容		市民の教養向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会教育の更なる充実及び利用者の安全のため、施設の修繕を実施。																
取組実績		<p>稲井公民館改修事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁改修工事 <p>平成29年度に実施した屋上防水その他工事の中で、外壁の一部塗装工事を予定していたが、外壁塗装の下地よりアスベストが検出され実施することができなかったため、平成30年度に外壁改修工事として実施した。</p>																
成果		<p>平成30年、外壁改修工事の実施により、利用者の安全が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指針</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>100%</td> <td>外壁改修工事</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指針		達成率等	目標値	実績等	H30	100%	外壁改修工事	100%
区分	成果指針		達成率等															
	目標値	実績等																
H30	100%	外壁改修工事	100%															
成果に係る評価		<p>外壁改修工事（アスベスト除去等）の施工により、施設利用者の安全を確保し、安心して利用することができた。</p> <p>今後は、老朽化が進むと思われることから、施設・備品等の修繕や改修を想定しながら、利用者の利便性や危険防止のための計画的な維持管理が必要となる。</p>																
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳													
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	115,200,000		111,831,840			106,200,000		5,631,840										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()																									
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を生かして輝ける機会をつくる		()																									
	4 目	図書館費		(1)	市民の主体的な学習活動を支援する		()																									
実施計画掲載ページ		P109	中 事 業		図書館活動費																											
事業コード		005-004-001-00276	事 業 名		読書環境整備事業																											
目的及び事業内容		<p>図書館法第3条に基づき、必要な資料を収集し市民の利用に供する。公立図書館は「図書、記録その他必要な資料・情報を収集、整理、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するとともに、市民の教育と文化の発展に寄与する」ことを目的としている。これらを踏まえ、市民の要望に応えるため、魅力ある図書資料や情報の収集・提供に努め、図書館サービスを推進する。</p>																														
取組実績		<ol style="list-style-type: none"> 1 図書の整備 新刊書・児童書・郷土関係資料を中心に、図書館で選定した図書を購入するとともに、市民からのリクエストに基づいた図書資料を購入し、利用に供した。自館の資料で対応できないリクエストには、宮城県図書館等他館から借受けて対応した。また、古くなり利用の無くなった図書を除籍して、譲渡会を実施した。 2 調査相談（レファレンス） 利用者の相談や調査研究を援助する業務を行い、関連資料の貸出を行った。 3 子どもの読書推進事業 本館・河北分館・桃生分館において、ボランティアとの協働により「おはなし会」を実施した。また、子育て支援センター等各施設において読み聞かせをするとともに、保護者に対して絵本の選び方や読み方を指導し、読書習慣の重要性を周知した。 4 学校支援事業 学級貸出、学習支援貸出を実施し、また、学校図書室との連携強化のため、学校訪問により学校図書室が抱える問題等の相談を受けた。一方で、学校図書室の充実に向け、学校司書の研修を行った。 5 講座・教室・企画展の実施 郷土史講座・手作り絵本教室・企画展等を行い、生涯学習機会の提供及び読書の推進を図った。 6 移動図書館サービス 仮設住宅団地の集約により巡回場所が減少したが、継続して実施した。 (平成29年度は17カ所→平成30年度は8カ所) 																														
成果		<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度には357,021冊を数えた貸出冊数は、震災の影響により平成23年度には167,048冊まで激減した。平成30年度は290,726冊となっている。 ・図書の購入については、新刊、話題の図書及び児童書を中心に購入するとともに、郷土資料の収集に努め、市民からのリクエスト図書は購入や他館からの借受けて対応した。 ・東日本大震災に関する郷土資料を収集し、市民へ提供するとともに、後世に伝えられるように整備を行った。 ・館内でのレファレンスサービス提供により、市民の利便性向上を図った。 ・移動図書館サービスは仮設住宅の集約化で巡回場所は減少したが、継続して被災者支援を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書購入冊数</td> <td>6,725冊</td> <td>6,761冊</td> <td>6,738冊</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>291,846冊</td> <td>280,433冊</td> <td>290,726冊</td> </tr> <tr> <td>(うち移動図書館車)</td> <td>(12,364冊)</td> <td>(7,762冊)</td> <td>(3,581冊)</td> </tr> <tr> <td>リクエスト処理件数</td> <td>10,336件</td> <td>10,844件</td> <td>14,071件</td> </tr> <tr> <td>調査相談サービス</td> <td>1,687件</td> <td>1,945件</td> <td>2,880件</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H28	H29	H30	図書購入冊数	6,725冊	6,761冊	6,738冊	貸出冊数	291,846冊	280,433冊	290,726冊	(うち移動図書館車)	(12,364冊)	(7,762冊)	(3,581冊)	リクエスト処理件数	10,336件	10,844件	14,071件	調査相談サービス	1,687件	1,945件	2,880件
主な指標項目	H28	H29	H30																													
図書購入冊数	6,725冊	6,761冊	6,738冊																													
貸出冊数	291,846冊	280,433冊	290,726冊																													
(うち移動図書館車)	(12,364冊)	(7,762冊)	(3,581冊)																													
リクエスト処理件数	10,336件	10,844件	14,071件																													
調査相談サービス	1,687件	1,945件	2,880件																													
成果に係る評価		<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度の貸出冊数については、前年度より増加したものの平成28年度より減少しており、一層の利用推進が必要である。 ・各種事業をとおして、読書習慣の重要性を周知することができた。 ・学校司書の配置（一部の小・中学校）により、学校図書室との連携を強化できた。 ・移動図書館サービスは、仮設住宅の供与期間の終了とともに、サービスを終了する予定である。 																														
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																											
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	12,000,000		12,000,000					12,000,000																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()																																											
	6 項	社会教育費		第 節			()																																											
	10 目	河北総合センター費		()			()																																											
実施計画掲載ページ			中 事 業	河北総合センター管理費																																														
事業コード			事 業 名	河北総合センター管理運営事業																																														
目的及び事業内容		スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興並びに市民の心身の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、利便性の向上に資するため指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																
取 組 実 績		<p>指定管理者による管理運営を実施した。</p> <p>1 施設管理者による施設運営事業 (1) 指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 (2) 指定管理料 87,899,000円(平成30年度) (3) 指定期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで</p> <p>2 施設管理運営事業 (1) 利用者のサービス向上 ア F A X等を利用した申請受付や利用料の振り込み納入、Eメールによるデータ送信等を行い、遠隔地による利用者への配慮を図った。 (2) 快適な施設環境の提供 ア 施設の改修による利用者の安全確保を図った。 イ 河北警察署等との協力体制を構築し、敷地内、施設内における巡回確認、防犯カメラの設置・記録により、防犯の向上を図った。 ウ 関係設備の整備に加え、マニュアル等による定期的な確認を行うとともに、河北消防署等との協力体制を構築し、避難訓練を実施するなど、防災の向上を図った。</p> <p>3 指定管理開始以降の利用者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール(楽屋含む)</td> <td>33,312人</td> <td>23,149人</td> <td>30,598人</td> <td>27,685人</td> <td>25,101人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>29,082人</td> <td>39,207人</td> <td>35,578人</td> <td>35,062人</td> <td>30,161人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>4,430人</td> <td>4,171人</td> <td>3,780人</td> <td>5,390人</td> <td>4,695人</td> </tr> <tr> <td>柔剣道場</td> <td>8,770人</td> <td>8,985人</td> <td>8,619人</td> <td>8,446人</td> <td>6,898人</td> </tr> <tr> <td>会議室等その他の部屋</td> <td>40,143人</td> <td>53,140人</td> <td>48,698人</td> <td>49,330人</td> <td>50,391人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>115,737人</td> <td>128,652人</td> <td>127,273人</td> <td>125,913人</td> <td>117,246人</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	H26	H27	H28	H29	H30	ホール(楽屋含む)	33,312人	23,149人	30,598人	27,685人	25,101人	アリーナ	29,082人	39,207人	35,578人	35,062人	30,161人	トレーニング室	4,430人	4,171人	3,780人	5,390人	4,695人	柔剣道場	8,770人	8,985人	8,619人	8,446人	6,898人	会議室等その他の部屋	40,143人	53,140人	48,698人	49,330人	50,391人	合計	115,737人	128,652人	127,273人	125,913人	117,246人
区 分	H26	H27	H28	H29	H30																																													
ホール(楽屋含む)	33,312人	23,149人	30,598人	27,685人	25,101人																																													
アリーナ	29,082人	39,207人	35,578人	35,062人	30,161人																																													
トレーニング室	4,430人	4,171人	3,780人	5,390人	4,695人																																													
柔剣道場	8,770人	8,985人	8,619人	8,446人	6,898人																																													
会議室等その他の部屋	40,143人	53,140人	48,698人	49,330人	50,391人																																													
合計	115,737人	128,652人	127,273人	125,913人	117,246人																																													
成 果		指定管理者による施設管理運営を行い、スポーツ・文化等の交流活動や地域の各種イベントに対する施設の提供、人的協力により、地域に貢献できる施設として運営したことによって、12万人近くの利用があった。																																																
成果に係る評価		スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興、市民の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、指定管理者による施設管理及び運営が適正に行われ、市民が利用しやすい環境、雰囲気作りが心げ、利用者の満足度を高めていると考えている。																																																
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	87,899,000	87,899,000				87,899,000																																												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																				
	6 項	社会教育費		第 節			()																																																				
	11 目	遊楽館費		()			()																																																				
実施計画掲載ページ			中 事 業	遊楽館管理費																																																							
事業コード			事 業 名	遊楽館管理運営事業																																																							
目的及び事業内容		スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興並びに市民の心身の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、利便性の向上に資するため指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																									
取 組 実 績		<p>1 指定管理者による施設管理運営事業 (1) 遊楽館 指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 指定管理料 97,381,000円(平成30年度) 指定期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで</p> <p>(2) 河南室内プール 指定管理者 石巻市体育協会・ミズノグループ 指定管理料 16,374,000円(平成30年度) 指定期間 平成29年4月1日から令和4年3月31日まで</p> <p>2 施設管理運営事業 (1) 遊楽館 ア ホームページによる施設予約状況の確認、利用申請書類やホール平面図等の閲覧により、施設情報へのアクセスの利便性を向上させ、利用者のサービス向上を図った。 イ 施設利用報告書に要望等の記入欄を設け、市民のニーズを運営に反映させるよう努めた。 ウ 職員の緊急配備・連絡体制を確立することで、勤務時間内外を問わず即座に施設の状況を確認、及び関係機関へ連絡が取れるようになり、安心・安全な施設運営を図った。</p> <p>(2) 河南室内プール ア スクール事業の実施など自主事業の宣伝告知に努め、より良いサービスの提供を実施した。 イ 様々な運動プログラムを提供し、利用者のニーズに見合ったかたちで健康増進を図った。</p> <p>3 指定管理開始以降の利用者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>区 分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">遊楽館</td> <td>ホール(楽屋・リハ室含む)</td> <td>27,626人</td> <td>30,328人</td> <td>24,460人</td> <td>32,846人</td> <td>28,306人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>24,710人</td> <td>28,410人</td> <td>32,065人</td> <td>26,174人</td> <td>25,833人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>5,591人</td> <td>5,849人</td> <td>6,278人</td> <td>6,425人</td> <td>6,842人</td> </tr> <tr> <td>会議室・和室</td> <td>26,120人</td> <td>24,322人</td> <td>22,721人</td> <td>22,115人</td> <td>21,272人</td> </tr> <tr> <td>その他(調理室・多目的室等)</td> <td>7,441人</td> <td>9,374人</td> <td>10,514人</td> <td>8,007人</td> <td>11,354人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>91,488人</td> <td>98,283人</td> <td>96,038人</td> <td>95,567人</td> <td>93,607人</td> </tr> <tr> <td>河南室内プール</td> <td>プール</td> <td>28,176人</td> <td>30,358人</td> <td>33,427人</td> <td>33,819人</td> <td>31,027人</td> </tr> </tbody> </table>							施設名	区 分	H26	H27	H28	H29	H30	遊楽館	ホール(楽屋・リハ室含む)	27,626人	30,328人	24,460人	32,846人	28,306人	アリーナ	24,710人	28,410人	32,065人	26,174人	25,833人	トレーニング室	5,591人	5,849人	6,278人	6,425人	6,842人	会議室・和室	26,120人	24,322人	22,721人	22,115人	21,272人	その他(調理室・多目的室等)	7,441人	9,374人	10,514人	8,007人	11,354人	合計	91,488人	98,283人	96,038人	95,567人	93,607人	河南室内プール	プール	28,176人	30,358人	33,427人	33,819人	31,027人
施設名	区 分	H26	H27	H28	H29	H30																																																					
遊楽館	ホール(楽屋・リハ室含む)	27,626人	30,328人	24,460人	32,846人	28,306人																																																					
	アリーナ	24,710人	28,410人	32,065人	26,174人	25,833人																																																					
	トレーニング室	5,591人	5,849人	6,278人	6,425人	6,842人																																																					
	会議室・和室	26,120人	24,322人	22,721人	22,115人	21,272人																																																					
	その他(調理室・多目的室等)	7,441人	9,374人	10,514人	8,007人	11,354人																																																					
	合計	91,488人	98,283人	96,038人	95,567人	93,607人																																																					
河南室内プール	プール	28,176人	30,358人	33,427人	33,819人	31,027人																																																					
成 果		指定管理者による施設管理運営を行うことにより、市民のニーズを最大限に反映する柔軟な運営を心掛け、堅実な運営が維持できたこともあり、地域に不可欠な施設として位置づけられ、遊楽館で9万人超、河南室内プールでは3万人超の利用があった。																																																									
成果に係る評価		スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興、市民の健全な発達と福祉の増進を図るために、指定管理者による施設管理及び運営が適正に行われ、地域における各種団体や利用者の要望への柔軟な対応及び各行事への施設提供や運営等の協力を行い、地域に貢献するとともに利用者の拡大につなげている。																																																									
(単位：円)																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																					
	113,755,000	113,755,000				113,755,000																																																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()																						
	6 項	社会教育費		第 節			()																						
	11 目	遊楽館費		()			()																						
実施計画掲載ページ			中 事 業	かなんパークゴルフ場運営費																									
事業コード			事 業 名	かなんパークゴルフ場管理運営事業																									
目的及び事業内容		市民にパークゴルフを通してスポーツの楽しさとふれあいの場を提供し、体力向上や健康増進を図るとともに、利便性の向上に資するため指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																											
取組実績		<p>1 年間利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用人数</th> <th>開館日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>32,338人</td> <td>231日</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>44,227人</td> <td>271日</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>49,944人</td> <td>286日</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>52,970人</td> <td>287日</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>46,033人</td> <td>271日</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>44,140人</td> <td>292日</td> </tr> </tbody> </table> <p>※芝張替えのため約2か月休館</p> <p>2 指定管理者による管理運営 (1) 指定管理者 有限会社ふれあいパーク 代表取締役 齋藤 正敏 (2) 指定期間 平成27年4月1日～令和2年3月31日 (3) 指定管理料 11,895,000円（平成30年度） (4) 実施事業 ア 初心者への指導、講習会（随時） イ 各種大会の開催 ウ 快適なゴルフ場を目指すための施設整備（芝管理、立木の維持、施設の点検維持管理）</p> <p>3 公益社団法人日本パークゴルフ協会負担金 (1) 日本パークゴルフ協会年会費 13,000円</p>							年度	利用人数	開館日数	H25	32,338人	231日	H26	44,227人	271日	H27	49,944人	286日	H28	52,970人	287日	H29	46,033人	271日	H30	44,140人	292日
年度	利用人数	開館日数																											
H25	32,338人	231日																											
H26	44,227人	271日																											
H27	49,944人	286日																											
H28	52,970人	287日																											
H29	46,033人	271日																											
H30	44,140人	292日																											
成 果		平成30年度の利用者数は、自主事業の講習会及び各種大会の開催をしたものの、夏季の猛暑が長期間続いたことにより利用者数が伸び悩み、前年比1,893人減の44,140人となった。 猛暑のため利用者数は減少したが、利用者の生の声を聞き取るにより、そのニーズを把握しサービス向上への取組に反映させるとともに、運営全般について自己評価を行い、利用者へのサービス向上に積極的に取り組んだ。																											
成果に係る評価		指定管理者の自主事業として開催している初心者講習や各種大会などの競技者意識の高揚を図る事業を実施するとともに、利用者ニーズの変化に柔軟に対応し、隔々まで目の行き届いたサービスを行い利用者拡大を図っている。																											
（単位：円）																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																							
	11,908,000	11,908,000				11,908,000																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																										
	6 項	社会教育費		第 節			(1)	未来の人を育てる																										
	13 目	東日本大震災関係費		()			(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																										
実施計画掲載ページ		P208	中 事 業	震災復興芸術文化事業費																														
事業コード		004-101-004-00514	事 業 名	文化芸術事業																														
目的及び事業内容		市民の心の拠り所となる芸術文化の果たす役割が重要であることから、被災者の心の復興と、心豊かな生活を送ることを目的とした芸術文化事業を実施する。市民が鑑賞や参加できるコンサート、演劇鑑賞、楽器演奏体験のほか、小・中学校の児童・生徒を対象としたアウトリーチ事業のコンサートなどを提供する。																																
取組実績		<p>文化芸術事業に関するノウハウを有する、石巻市芸術文化振興財団に事業を委託して実施した。</p> <p>1 被災者を対象とした芸術鑑賞事業 (1) 仮設住宅集会所及び小ホールを利用した事業 3件 4回 378人参加</p> <p>2 被災者を対象とした文化芸術参加型事業 (1) 仮設住宅集会所及び市内の公民館等を利用した事業 5件 9回 370人参加</p> <p>3 被災児童生徒を対象とした文化芸術事業 (1) 被災した小・中学校及び幼稚園等を対象とした事業（アウトリーチ） 4件 11回 523人参加</p> <p>4 一般市民を対象とした復興をテーマとした文化芸術事業 (1) 市内の体育施設等を利用した大型事業 3件 3回 2,871人参加 (2) 市内の小ホール等を利用した事業 6件 7回 1,236人参加 (3) 市外への移動鑑賞ツアー 2件 2回 80人参加 (4) 小・中高等学校等でのアウトリーチ事業 5件 9回 599人参加 合計 28件 45回 6,057人参加</p>																																
成 果		<p>文化芸術に接する機会の提供実績は以下のとおり。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>50回</td> <td>50回</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>50回</td> <td>68回</td> <td>136.0%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>50回</td> <td>56回</td> <td>112.0%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>50回</td> <td>48回</td> <td>96.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>50回</td> <td>45回</td> <td>90.0%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標		達成率	目標値	実績等	H26	50回	50回	100.0%	H27	50回	68回	136.0%	H28	50回	56回	112.0%	H29	50回	48回	96.0%	H30	50回	45回	90.0%
区分	成果指標		達成率																															
	目標値	実績等																																
H26	50回	50回	100.0%																															
H27	50回	68回	136.0%																															
H28	50回	56回	112.0%																															
H29	50回	48回	96.0%																															
H30	50回	45回	90.0%																															
成果に係る評価		遊楽館や河北総合センター「ビッグバン」での公演のほか、復興住宅の集会所などにおいて事業を展開した。分散していた仮設住宅での開催から、復興住宅集会所へ集約されてきたことで、事業目標達成率は平成29年から減少しているが、質の高い芸術に触れることで心の復興の更なる支援が図られることから、今後も継続的な取組が必要である。																																
（単位：円）																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																												
	14,040,000	14,040,000				14,040,000																												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																						
	6 項	社会教育費				(1)	未来の人を育てる																																						
	13 目	東日本大震災関係費				(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																						
実施計画掲載ページ	P208		中 事 業	震災復興芸術文化事業費																																									
事業コード	004-101-004-00515		事 業 名	市民の文化芸術活動に対するサポート事業〔復興基金〕																																									
目的及び事業内容	<p>芸術文化は市民の心の拠り所であり、その振興、向上を目的に、市民の芸術文化活動をサポート・推進する文化協会の活動、運営を行政がバックアップする。</p>																																												
取 組 実 績	<p>1 石巻市文化協会の運営の支援 以下の目的により設立した石巻市文化協会の運営を支援した。 (1) 地域の芸術文化の発展を助長するとともに、活動を通じて地域文化の振興と向上に寄与する。 (2) 芸術文化団体相互の連絡調整を図る。 (3) 内外の優れた芸術団体の交流 (4) 歴史・伝統・文化を生かした街づくりの推進に寄与する。</p> <p>2 石巻市文化協会の概要</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>設立年月日</th> <th>加盟団体数</th> <th>会員数</th> </tr> <tr> <td>石巻市文化協会</td> <td>平成17年6月18日</td> <td>161団体</td> <td>3,631人</td> </tr> </table> <p>3 平成30年会員現況（平成30年4月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>団体数</th> <th>会員数</th> <th>地区</th> <th>団体数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻文化協会</td> <td>57団体</td> <td>1,591人</td> <td>河北文化協会</td> <td>29団体</td> <td>252人</td> </tr> <tr> <td>雄勝文化協会</td> <td>9団体</td> <td>93人</td> <td>河南文化協会</td> <td>89団体</td> <td>250人</td> </tr> <tr> <td>桃生文化協会</td> <td>22団体</td> <td>286人</td> <td>北上文化協会</td> <td>8団体</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿文化協会</td> <td>5団体</td> <td>78人</td> <td>計</td> <td>158団体</td> <td>2,591人</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 事業 第25回サン・ファン祭り（協賛） 平成30年5月27日 第34回石巻市美術展（協賛） 平成30年9月30日～10月8日 第11回石巻市合同文化祭 舞台の部（主管：石巻文化協会）平成30年10月21日 第24回石巻芸術文化際舞台公演と同時開催 第22回みやぎ県民文化祭（主管：登米市文化協会） 平成30年10月27日～28日 第39回宮城県文連運営研修会（主管：栗原市文化協会） 平成30年11月28日～29日 第11回石巻市合同文化祭（展示会）（主管：石巻文化協会）平成31年2月23日～24日 【その他】石巻市国際交流協会、石巻市観光協会、FMラジオ石巻「日高見レポート」石巻市複合文化施設関連団体、会員団体主催事業への後援 等の協力・協賛</p> <p>5 東日本大震災復興支援交流事業（支援／協賛：石巻市文化協会） 震災復興祈念 第8回「三陸風の盆」 平成30年8月11日 石巻市東日本大震災7周年追悼式典参加 平成31年3月11日 復興支援交流 豊中市合唱協会「記念合唱祭」式典参加 平成31年3月11日</p>							名称	設立年月日	加盟団体数	会員数	石巻市文化協会	平成17年6月18日	161団体	3,631人	地区	団体数	会員数	地区	団体数	会員数	石巻文化協会	57団体	1,591人	河北文化協会	29団体	252人	雄勝文化協会	9団体	93人	河南文化協会	89団体	250人	桃生文化協会	22団体	286人	北上文化協会	8団体	41人	牡鹿文化協会	5団体	78人	計	158団体	2,591人
	名称	設立年月日	加盟団体数	会員数																																									
	石巻市文化協会	平成17年6月18日	161団体	3,631人																																									
	地区	団体数	会員数	地区	団体数	会員数																																							
石巻文化協会	57団体	1,591人	河北文化協会	29団体	252人																																								
雄勝文化協会	9団体	93人	河南文化協会	89団体	250人																																								
桃生文化協会	22団体	286人	北上文化協会	8団体	41人																																								
牡鹿文化協会	5団体	78人	計	158団体	2,591人																																								
成 果	<p>石巻市文化協会の運営を支援することで、石巻市域芸術文化活動の、適正かつ円滑な実施が図られ、芸術文化の普及、振興と向上に寄与することができた。また関係団体との交流によって活動の幅が広がり、芸術文化を活かした街づくりを促進し、本市の芸術文化の推進を果たすことができた。</p>																																												
成果に係る評価	<p>定期的な活動のほかに、震災復興支援として、市域を超えた行事等への参加、被災地支援をいただくことでの交流活動が図られた。ただし、年々、団体数および会員数が減少し、会員の高齢化も進み、後継者不足という課題がある。文化団体の公演・催事等の活動を拡大し、また協会に属せず、独自に芸術文化活動を行っている団体、青年層が中心となって活動している団体との交流を通して文化協会の周知活動を図る必要があり、一層市民の芸術文化活動を推進していくことが求められるため、事業を継続的に支援していく必要がある。</p>																																												
予算の執行状況	（単位：円）																																												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																							
1,645,000	1,645,000			1,645,000																																									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	6 項	社会教育費				(1)	未来の人を育てる
	13 目	東日本大震災関係費				(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ	P206		中 事 業	齋藤氏庭園修復整備事業費			
事業コード	004-101-003-00510		事 業 名	国指定名勝齋藤氏庭園復旧事業			
目的及び事業内容	<p>国指定名勝として永く保存活用を図るために、宮城県北部連続地震及び東日本大震災によって損傷した庭園・建物の復旧事業を実施する。</p>						
取 組 実 績	<p>齋藤氏庭園保存修理工事を実施した。 1 前土蔵・後土蔵に関する工事 (1)半壊体修理（木工事、屋根工事、左官工事、雑工事） 2 住宅に関する工事 (1)補足瓦製作 (2)屋根瓦葺き替え 3 味噌蔵に関する工事 (1)補足瓦製作</p>						
	成 果	<p>平成30年度は前年度に引き続き、前土蔵・後土蔵の解体修復工事を実施した。今年度は工事の一環として土蔵の土壁塗り及び斑直し、屋根瓦葺きを実施した。 また、住宅及び味噌蔵に関しては、平成29年度に行った屋根瓦の状況確認調査を基に補足瓦の製作を実施し、住宅の屋根瓦葺き替えを完了した。味噌蔵については、補足瓦製作は完了したが、葺き替えについては、令和元年度に行う予定である。</p>					
成果に係る評価	<p>平成30年度は、前年度に引き続き前土蔵と後土蔵の保存修復工事として、外部土壁塗り及び斑直し、屋根瓦葺き等を実施。その他、住宅の補足瓦製作・屋根葺き及び味噌蔵の補足屋根瓦の製作を行っている。 前年度は、外部土壁塗りが天候不順により作業が遅れ、更に瓦製作においても、現在の規格品に類似品がなく、型枠製作から行ったため、時間を要し、事業期間の延長、予算の繰越を行ったが、平成30年度は、工程の管理を行い、年度内に工事を完了することが出来た。今後も工程の管理を行い、不足の事態がおきても、工事手順の調整等を行い、整備事業を計画どおり完了するよう務めたい。</p>						
予算の執行状況	（単位：円）						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
205,636,921	204,597,521	177,072,000			27,525,521		

予算科目	10 11 款	教育費 災害復旧費	総 計 画	第 章	復興 計 画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	6 3 項	社会教育費 文教施設災害復旧費		第 節		(1)	未来の人を育てる
	13 2 目	東日本大震災関係費 社会教育施設災害復旧費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画 掲載ページ		P207	中 事 業	複合文化施設整備事業費			
事業コード		004-101-002-00509	事 業 名	複合文化施設整備事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容		東日本大震災により被災し解体した石巻文化センターと石巻市民会館の再建に当たり、博物館機能と文化ホール機能を併せ持つ複合文化施設として建設し、石巻市の芸術文化活動の拠点整備を図る。					
取 組 実 績		<ul style="list-style-type: none"> ・建物本体の実施設設計終了後、本体工事に着工。 工事期間 平成30年9月8日～令和2年12月10日 敷地面積 22,323.89㎡ 延面積 13,315.13㎡ ・博物館の展示工事实施設設計が終了。 履行期間 平成29年10月4日～平成31年2月28日 業務内容 全体平面図・全体展開図の作成、造作図の作成ほか ・（仮称）石巻市複合文化施設管理運営計画策定支援業務を発注。 市民懇談会、市民ワークショップを各5回開催。 市民懇談会において、岩手県滝沢市ビッグルーフ、北上市さくらホールへの先進地視察を実施。 					
成 果		<p>本体工事の実施設設計が終了し、本体工事に着工することができた。また展示においても実施設計が終了した。</p> <p>（仮称）石巻市複合文化施設管理運営計画支援業務をコンサルタントへ発注し、市民懇談会、市民ワークショップを開催した。それにより市民からの意見を盛り込み、管理運営計画素案を市民懇談会に提出し、了承を得ることができた。</p> <p>市民懇談会の中で、岩手県滝沢市ビッグルーフ、岩手県北上市さくらホールへの先進地視察を実施し、施設の仕様、管理運営の実態、施設利用の方法等の理解が深められた。</p>					
成果に係る評価		<p>市民懇談会において先進地視察を実施し、施設の仕様、利用方法、管理運営について委員の理解を深めることができ、今後の開設準備に役立てることができた。</p> <p>市民ワークショップの意見を盛り込んだ管理運営計画の素案が、市民懇談会にて了承された。策定については次年度に行う。</p> <p>なお、予定通りの供用開始ができるよう、計画的な事業進行が必要となっている。</p>					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	548,170,000	546,545,874		241,400,000	113,400,250	191,745,624	

予算科目	10 款	教育費	総 計 画	第 5 章	復興 計 画	()																															
	7 項	保健体育費		第 4 節		市民が個性を活かして輝ける機会をつくる	()																														
	1 4 目	保健体育総務費 体育館費		(2)		市民の主体的なスポーツ活動を支援する	()																														
実施計画 掲載ページ		P114	中 事 業	体育奨励費、体育館管理費																																	
事業コード		005-004-002-00268	事 業 名	スポーツ振興事業																																	
目的及び事業内容		<p>市民の一体感の醸成・市民の健康づくりと交流促進・生涯スポーツ社会の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進・スポーツ少年団加入率の向上・総合型地域スポーツクラブの拠点づくりを目的とし、いしのまき復興マラソン、いしのまき市民スポーツフェスタ、いしのまきキッズ交流大会兼石巻市スポーツ少年団交流大会、キッズバラエティスポーツ教室、体育館スポーツ教室を実施している。</p> <p>以下の5事業を、石巻市とNPO法人石巻市体育協会が「協働体制」により実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> いしのまき復興マラソン 全国に向けて復興した石巻市の姿を発信するために、第4回いしのまき復興マラソンを開催した。石巻市総合運動公園を会場に、年齢、性別などに応じて、2km・3km・5km・10km・ハーフの18種目を実施した。 いしのまき市民スポーツフェスタ 気軽に参加できるスポーツを通じ、市民の健康づくりと交流、地域間の連携の強化を図りながら成人のスポーツ実施率の向上を目指した。平成24年度からNPO法人石巻市体育協会への委託事業として実施している。 いしのまきキッズ交流大会兼石巻市スポーツ少年団交流大会 石巻市スポーツ少年団交流大会は、スポーツを通じた青少年の健全育成、子ども達の体力・運動能力の向上を目指し、市内小学校及びスポーツ少年団対抗のリレーマラソン大会を実施している。平成24年度からはNPO法人石巻市体育協会への委託事業として、いしのまきキッズ交流大会と合体して実施しており、更なる市民スポーツ参加の一翼を担った。 キッズバラエティスポーツ教室 スポーツをしたいが、何をしたら良いかわからないという子どもたちに対して、多種目のスポーツ体験の場を提供するため、平成24年度からNPO法人石巻市体育協会への委託事業として実施している。子どもたちが自分に合った種目を見つけ出すことで、スポーツに取り組む機会の創出を図った。 体育館スポーツ教室 総合体育館で一般市民を対象にバドミントン・卓球教室を、平成25年度からNPO法人石巻市体育協会への委託事業として実施している。楽しみながら基本的な技術を習得するとともに、運動する喜びを感じながら心身ともに健康な体づくりを目指す受講生相互のコミュニティが形成された。 																																			
取 組 実 績		<ol style="list-style-type: none"> いしのまき復興マラソン 全国に向けて復興した石巻市の姿を発信するために、第4回いしのまき復興マラソンを開催した。石巻市総合運動公園を会場に、年齢、性別などに応じて、2km・3km・5km・10km・ハーフの18種目を実施した。 いしのまき市民スポーツフェスタ 気軽に参加できるスポーツを通じ、市民の健康づくりと交流、地域間の連携の強化を図りながら成人のスポーツ実施率の向上を目指した。平成24年度からNPO法人石巻市体育協会への委託事業として実施している。 いしのまきキッズ交流大会兼石巻市スポーツ少年団交流大会 石巻市スポーツ少年団交流大会は、スポーツを通じた青少年の健全育成、子ども達の体力・運動能力の向上を目指し、市内小学校及びスポーツ少年団対抗のリレーマラソン大会を実施している。平成24年度からはNPO法人石巻市体育協会への委託事業として、いしのまきキッズ交流大会と合体して実施しており、更なる市民スポーツ参加の一翼を担った。 キッズバラエティスポーツ教室 スポーツをしたいが、何をしたら良いかわからないという子どもたちに対して、多種目のスポーツ体験の場を提供するため、平成24年度からNPO法人石巻市体育協会への委託事業として実施している。子どもたちが自分に合った種目を見つけ出すことで、スポーツに取り組む機会の創出を図った。 体育館スポーツ教室 総合体育館で一般市民を対象にバドミントン・卓球教室を、平成25年度からNPO法人石巻市体育協会への委託事業として実施している。楽しみながら基本的な技術を習得するとともに、運動する喜びを感じながら心身ともに健康な体づくりを目指す受講生相互のコミュニティが形成された。 																																			
成 果		<ul style="list-style-type: none"> ・一大イベントであるいしのまき復興マラソンを継続して開催できた。 ・いしのまきキッズ交流大会兼石巻市スポーツ少年団交流大会を合同開催として実施した。 ・キッズバラエティスポーツ教室は昨年度同様、12種類のスポーツを2回ずつ行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指標項目</th> <th>復興マラソン</th> <th>スポーツフェスタ</th> <th>小学リレーマラソン・いしのまきキッズ交流</th> <th>キッズバラエティ</th> <th>体育館教室</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td rowspan="3">参加者数</td> <td>1,717人</td> <td>193人</td> <td>324人</td> <td>1,191人</td> <td>2,089人</td> <td>5,514人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,522人</td> <td>73人</td> <td>353人</td> <td>1,382人</td> <td>1,399人</td> <td>4,729人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,960人</td> <td>96人</td> <td>353人</td> <td>1,131人</td> <td>2,396人</td> <td>5,936人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	指標項目	復興マラソン	スポーツフェスタ	小学リレーマラソン・いしのまきキッズ交流	キッズバラエティ	体育館教室	計	H28	参加者数	1,717人	193人	324人	1,191人	2,089人	5,514人	H29	1,522人	73人	353人	1,382人	1,399人	4,729人	H30	1,960人	96人	353人	1,131人	2,396人	5,936人
年度	指標項目	復興マラソン	スポーツフェスタ	小学リレーマラソン・いしのまきキッズ交流	キッズバラエティ	体育館教室	計																														
H28	参加者数	1,717人	193人	324人	1,191人	2,089人	5,514人																														
H29		1,522人	73人	353人	1,382人	1,399人	4,729人																														
H30		1,960人	96人	353人	1,131人	2,396人	5,936人																														
成果に係る評価		<p>いしのまき復興マラソンは、スポーツ振興事業の目玉と位置付け、震災時に寄せられた多くの支援への感謝と復興状況を全国に伝えるべく実施している。平成30年度においては、レストランナーに谷川真理さんを迎え、開始式で炬火台（聖火台）点火イベントを行ったほか、復興パネル展などで県外参加者へPRを行った。今後も内容の充実化を図るため、実行委員会との協議を密にしながら一層の工夫に取り組んでいきたい。</p> <p>また、各種スポーツ事業については、公園等への仮設住宅の立地により、依然として運動を行える場所が限られており、環境整備が急務となっている。</p> <p>今後とも、NPO法人石巻市体育協会との協働体制を継続しつつ、行政主導から民間主導への移行を図るとともに、「成人のスポーツ実施率の向上」や「子どもたちの体力と運動能力の向上」を目標に掲げ、本市の復興状況と照らし合わせながら、多くの市民が参加しやすい環境の整備や参加意識の向上に努めたい。</p>																																			
（単位：円）																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	5,214,000	5,214,000					5,214,000																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																																														
	7 項	保健体育費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																																														
	3 目	学校給食費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																																																														
実施計画掲載ページ		P 25	中 事 業	学校給食センター運営費、賄材料費																																																																	
事業コード	002-001-002-00243	事 業 名	学校給食センター運営事業																																																																		
目的及び事業内容	<p>児童・生徒に豊かで栄養バランスのとれた学校給食を提供し、心身の健全な育成に資する。学校給食を通じて望ましい食生活食習慣の基盤形成を促すとともに、会食により豊かな人間関係を構築する機会を提供する。</p> <p>地場産物を使用し地域の特色を生かした学校給食を提供することにより、地域の産業や食文化に対する理解を深め、郷土を愛し尊重する心を育む。</p>																																																																				
取 組 実 績	<p>学校給食実施状況（平成31年3月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校・園数</th> <th>児童・生徒・園児数</th> <th>給食形態</th> <th>調理場方式</th> <th>給食実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>33校</td> <td>6,531人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>19校</td> <td>3,523人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td>2園</td> <td>116人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率	小学校	33校	6,531人	完全給食	共同調理場方式	100%	中学校	19校	3,523人	完全給食	共同調理場方式	100%	幼稚園	2園	116人	完全給食	共同調理場方式	100%																																					
	区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率																																																															
	小学校	33校	6,531人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																															
中学校	19校	3,523人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																
幼稚園	2園	116人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">センター名</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="2">幼稚園</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>対象校数</th> <th>児童数</th> <th>対象校数</th> <th>生徒数</th> <th>対象園数</th> <th>園児数</th> <th>対象校・園数</th> <th>児童・生徒・園児数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住吉学校給食センター</td> <td>3校</td> <td>850人</td> <td>3校</td> <td>726人</td> <td></td> <td></td> <td>6校</td> <td>1,576人</td> </tr> <tr> <td>東学校給食センター</td> <td>16校</td> <td>3,804人</td> <td>9校</td> <td>1,829人</td> <td></td> <td></td> <td>25校</td> <td>5,633人</td> </tr> <tr> <td>河北学校給食センター</td> <td>8校</td> <td>867人</td> <td>5校</td> <td>498人</td> <td>2園</td> <td>116人</td> <td>15校・園</td> <td>1,481人</td> </tr> <tr> <td>河南学校給食センター</td> <td>6校</td> <td>1,010人</td> <td>2校</td> <td>470人</td> <td></td> <td></td> <td>8校</td> <td>1,480人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>33校</td> <td>6,531人</td> <td>19校</td> <td>3,523人</td> <td>2園</td> <td>116人</td> <td>54校・園</td> <td>10,170人</td> </tr> </tbody> </table>								センター名	小学校		中学校		幼稚園		計		対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	対象校・園数	児童・生徒・園児数	住吉学校給食センター	3校	850人	3校	726人			6校	1,576人	東学校給食センター	16校	3,804人	9校	1,829人			25校	5,633人	河北学校給食センター	8校	867人	5校	498人	2園	116人	15校・園	1,481人	河南学校給食センター	6校	1,010人	2校	470人			8校	1,480人	計	33校	6,531人	19校	3,523人	2園	116人	54校・園	10,170人
センター名	小学校		中学校		幼稚園		計																																																														
	対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	対象校・園数	児童・生徒・園児数																																																													
住吉学校給食センター	3校	850人	3校	726人			6校	1,576人																																																													
東学校給食センター	16校	3,804人	9校	1,829人			25校	5,633人																																																													
河北学校給食センター	8校	867人	5校	498人	2園	116人	15校・園	1,481人																																																													
河南学校給食センター	6校	1,010人	2校	470人			8校	1,480人																																																													
計	33校	6,531人	19校	3,523人	2園	116人	54校・園	10,170人																																																													
<p>1 学校給食に鰯肉等の地場産物を取り入れ、郷土食や行事食を提供することができた。</p> <p>2 アレルギー対応給食について、対応品目拡大に向け検討を行った。</p> <p>3 滞納対策を強化するため、滞納者に対し市長と学校長連名による共同催告を実施した。</p>																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">現年度分</th> <th colspan="3">過年度分</th> </tr> <tr> <th>滞納学校数</th> <th>滞納者数</th> <th>滞納繰越額</th> <th>滞納学校数</th> <th>滞納者数</th> <th>滞納繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>20校</td> <td>53人</td> <td>1,723,384円</td> <td>37校</td> <td>324人</td> <td>28,115,902円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>16校</td> <td>60人</td> <td>2,338,141円</td> <td>35校</td> <td>323人</td> <td>28,026,652円</td> </tr> <tr> <td>比較増減</td> <td>△ 4校</td> <td>7人</td> <td>614,757円</td> <td>△ 2校</td> <td>△ 1人</td> <td>△ 89,250円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※滞納者数は保護者の人数</p>								年度	現年度分			過年度分			滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額	H29	20校	53人	1,723,384円	37校	324人	28,115,902円	H30	16校	60人	2,338,141円	35校	323人	28,026,652円	比較増減	△ 4校	7人	614,757円	△ 2校	△ 1人	△ 89,250円																												
年度	現年度分			過年度分																																																																	
	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額																																																															
H29	20校	53人	1,723,384円	37校	324人	28,115,902円																																																															
H30	16校	60人	2,338,141円	35校	323人	28,026,652円																																																															
比較増減	△ 4校	7人	614,757円	△ 2校	△ 1人	△ 89,250円																																																															
成 果	<p>1 地場産物や郷土食等を学校給食に取り入れることで、地域の産業や伝統、食文化に対する理解と関心を深めることができた。</p> <p>2 アレルギー対応給食については、対応品目を2品から15品に拡大し、令和元年度当初から提供することとした。</p> <p>3 給食費滞納者101人に対し市長と学校長連名による共同催告を実施したことにより、前年度に比べ過年度分収納率を2.3%増加させることができた。</p>																																																																				
成果に係る評価	<p>1 学校給食に地場産物や郷土食等を取り入れる取り組みは、児童生徒から好評であり、今後も継続したい。</p> <p>2 アレルギー対応給食の実施により、食物アレルギーのある児童生徒が、学校給食を通じて食事の楽しさや喜びを学ぶ環境を整えることができたことから、今後も継続したい。</p> <p>3 滞納整理は継続的な取り組みが重要であることから、継続可能な配置体制に向け、組織強化を図る必要がある。</p>																																																																				
(単位：円)																																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																															
	908,786,000	871,484,175			513,969,667	357,514,508																																																															